

習志野市市民意識調査 結果報告書

平成 22 年 11 月

習 志 野 市

目 次

第1章. 調査の概要	1
第2章. 調査票及び全体集計結果	7
第3章. 調査結果の分析	23
第1節 住みよさと定住意向について	25
第2節 市政全般について	47
第3節 経営改革について	76
第4節 行政情報について	87
第5節 仕事や家庭以外での活動について	91
第6節 都市イメージ（将来像）について	100
第4章. 調査結果のまとめ	105

第1章. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民生活の現状、市民の行政に対する要望、および市政に対する評価の実態、市民のまちづくりに対する意識等を的確に把握し、今後の行政運営等に反映させるための基礎資料とすることを目的とした。

2. 調査の方法

- (1) 調査地域……市内全域
- (2) 調査対象……市内在住の20歳以上の市民3,500人
- (3) 抽出方法……住民基本台帳より無作為抽出
- (4) 調査方法……郵送による配布、回収
- (5) 調査期間……平成22年7月10日～7月30日

3. 調査項目

項目	内 容
住みよさと定住意向について	居住年数（転入の主な理由、前居住地を含む）、住みよさ、住みよ／住みにくい理由、定住意向、定住／転出したい理由
市政全般について	取り組むべき施策、施策の満足度
経営改革について	行政サービス、費用負担、公共施設に対する考え方、取り組むべき施策
行政情報について	情報の入手方法、知りたい情報
仕事や家庭以外での活動について	市民活動への参加状況、活動する団体、関心のある内容、市民活動不参加の理由
都市のイメージ（将来像）について	希望する都市イメージ、習志野市のイメージ
基本属性	性別、年齢、職業（通勤・通学先を含む）、家族構成、地区、住居形態

4. 回収結果

- (1) 調査票送付数 3,500 票
- (2) 回収数 2,036 票
- (3) 回収率 58.2% ※) (2) ÷ (1)
- (4) 無効票数 2 票
- (5) 有効回収数 2,034 票
- (6) 有効回収率 58.1% ※) (5) ÷ (1)

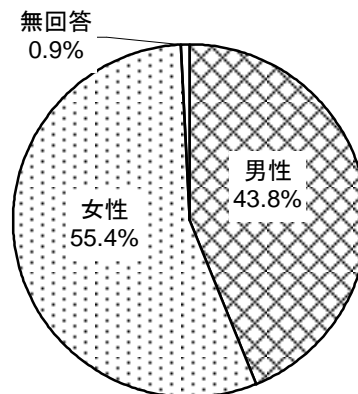
5. 集計・分析のための地域区分

地区名	該当行政区域
谷津	谷津1、5、6、7丁目
向山	谷津2、3、4丁目、谷津町1、4丁目
袖ヶ浦西	袖ヶ浦1、2、3丁目
袖ヶ浦東	袖ヶ浦4、5、6丁目
津田沼	津田沼全域
鷺沼・鷺沼台	鷺沼全域、鷺沼台全域
藤崎	藤崎全域
大久保・泉・本大久保	大久保全域、泉町全域、本大久保1、2丁目
本大久保・花咲・屋敷	本大久保3、4、5丁目、花咲全域、屋敷全域
実籾・新栄	実籾全域、新栄全域
実花	東習志野1、6、7、8丁目
東習志野	東習志野2、3、4、5丁目
秋津・茜浜	秋津・茜浜全域
香澄・芝園	香澄・芝園全域

6. 基本属性

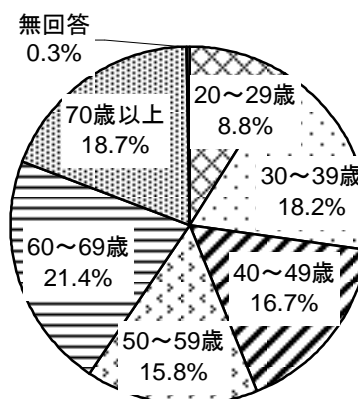
【性別】

	実数	構成比(%)
男性	890	43.8
女性	1,126	55.4
無回答	18	0.9
回答者総数	2,034	100.0



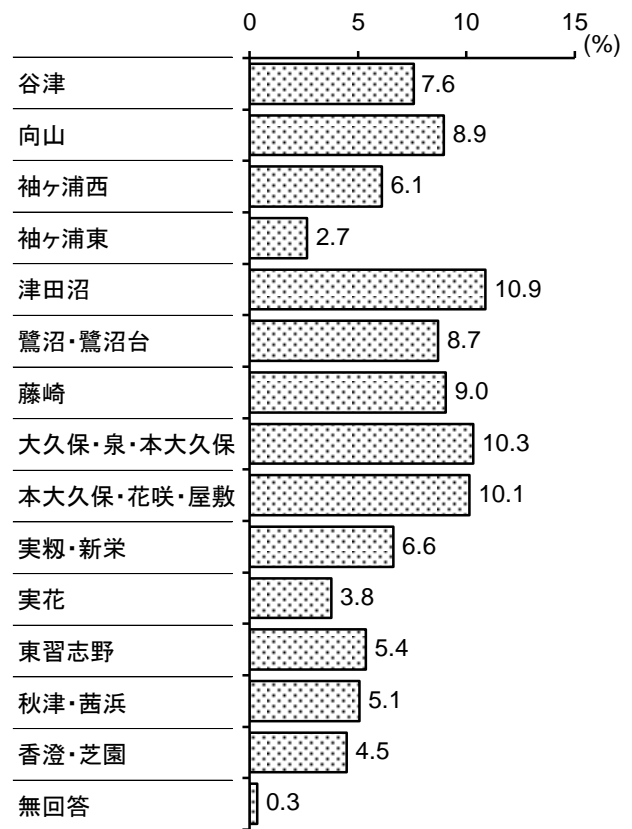
【年齢】

	実数	構成比(%)
20～29歳	180	8.8
30～39歳	371	18.2
40～49歳	339	16.7
50～59歳	321	15.8
60～69歳	435	21.4
70歳以上	381	18.7
無回答	7	0.3
回答者総数	2,034	100.0



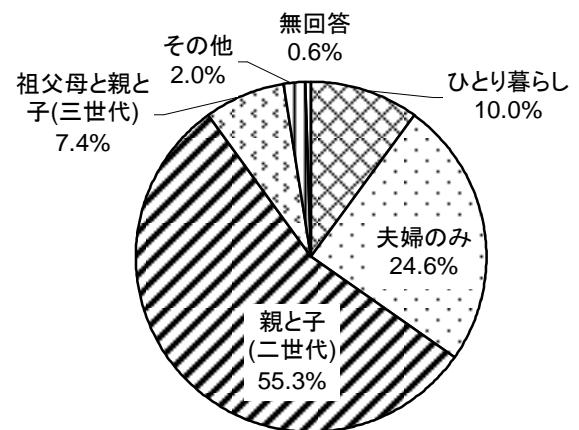
【地区】

	実数	構成比(%)
谷津	154	7.6
向山	182	8.9
袖ヶ浦西	124	6.1
袖ヶ浦東	54	2.7
津田沼	221	10.9
鷺沼・鷺沼台	177	8.7
藤崎	184	9.0
大久保・泉・本大久保	210	10.3
本大久保・花咲・屋敷	206	10.1
実籾・新栄	135	6.6
実花	77	3.8
東習志野	109	5.4
秋津・茜浜	103	5.1
香澄・芝園	91	4.5
無回答	7	0.3
回答者総数	2,034	100.0



【家族構成】

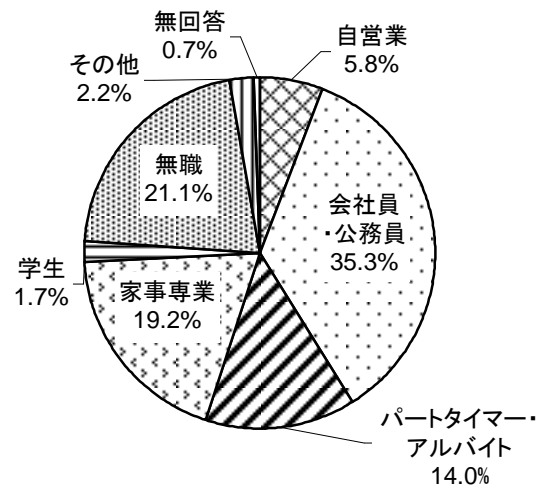
	実数	構成比(%)
ひとり暮らし	204	10.0
夫婦のみ	501	24.6
親と子(二世代)	1,125	55.3
祖父母と親と子(三世代)	151	7.4
その他	41	2.0
無回答	12	0.6
回答者総数	2,034	100.0



第1章. 調査概要

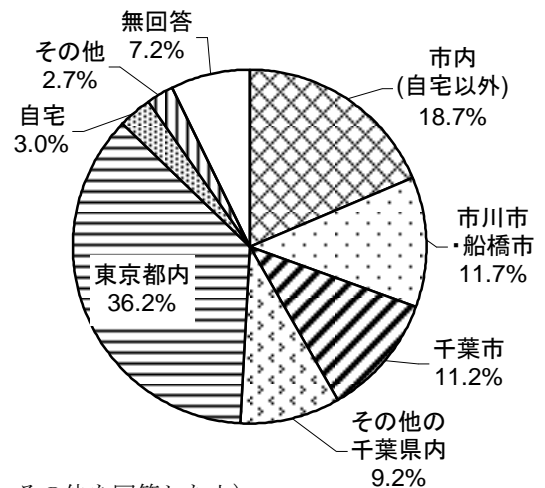
【職業】

	実数	構成比(%)
自営業	118	5.8
会社員・公務員	718	35.3
パートタイマー・アルバイト	285	14.0
家事専業	390	19.2
学生	35	1.7
無職	429	21.1
その他	45	2.2
無回答	14	0.7
回答者総数	2,034	100.0



【通勤・通学】

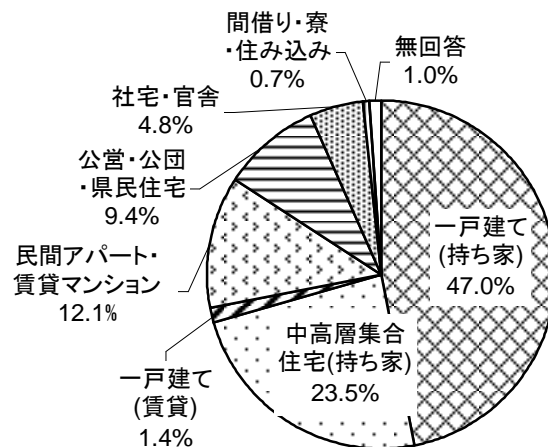
	実数	構成比(%)
市内（自宅以外）	225	18.7
市川市・船橋市	141	11.7
千葉市	135	11.2
その他の千葉県内	111	9.2
東京都内	435	36.2
自宅	36	3.0
その他	32	2.7
無回答	86	7.2
回答者総数	1,201	100.0



(職業で自営業、会社員・公務員、パートタイマー・アルバイト、学生、その他を回答した人)

【住居形態】

	実数	構成比(%)
一戸建て（持ち家）	956	47.0
中高層集合住宅（持ち家）	479	23.5
一戸建て（賃貸）	28	1.4
民間アパート・賃貸マンション	247	12.1
公営・市営・県営住宅	191	9.4
社宅・官舎	98	4.8
間借り・寮・住み込み	15	0.7
無回答	20	1.0
回答者総数	2,034	100.0



7. 集計にあたって

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%ちょうどにならず、1%の範囲で増減することがある。
- (2) n (Number of Cases の略) は比率算出の基数であり、100%が何人の回答者数に相当するかを示す。
- (3) 回答の比率 (%) は、その設問の回答者数を基数 n として算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると 100%を超えることがある。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化している。
- (5) クロス結果の帯グラフや表について、表側となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、表側のカテゴリーの件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。
- (6) クロス結果の表について、表頭となる設問の選択肢で最大回答数を網掛け、表側となる設問の選択肢で最大回答数を斜体字で示し、いずれもゴシックフォントにて示す。ただし、性別のクロス集計に関しては、これに類さない。
- (7) 集計は、①単純集計、②回答者の属性とのクロス結果、③設問間のクロス集計の3種類を行なった。

第2章. 調査票及び全体集計結果

あなたの声をお聞かせください

習志野市民意識調査

日ごろより、市行政にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
習志野市では少子高齢化、地方分権の進展、国及び地方財政の悪化など、地方自治体を取り巻く情勢が大きく変化しつつある現状を踏まえ、今後の市政の方向性を探るため**市民意識調査**を実施することといたしました。

この調査は、市内にお住まいの皆さまが、市政に対しどのようなご意見、ご要望を持ち、日ごろどのように暮らしておられるかを伺い、今後のまちづくりの貴重な資料として活用させていただくことを目的に行うものです。

調査にあたっては、20歳以上の市民から**3,500名**を無作為に選ばせていただきました。調査は無記名で行い、結果は全て統計的に処理いたしますので、個人のお名前などが出ることは一切ありません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成22年7月

習志野市長 荒木 勇

ご記入にあたってのお願い

- 1 最初から1問ずつ、該当する質問にお答えください。なお、お答えにくい質問にはご回答いただかなくても結構です。
- 2 設問には、できるだけ宛名のご本人がお答えくださいますようお願いいたします。ただし事情によっては、ご家族の方がお答えいただいても結構です。
- 3 お答えいただく方法（指示があるもの以外）は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 4 各設問において「その他」を選ばれた場合は、（ ）内にその内容を具体的に記入してください。
- 5 市政情報については、配布されました「市民ハンドブック」及び「習志野市ホームページ」等をご利用ください。

※ この調査票をご記入いただきましたら、恐縮ですが同封の返信用封筒で、7月30日（金）までにご投函ください。（切手不要）
住所・氏名はお書きにならないで結構です。

【お問合せ先】習志野市役所 企画政策部 企画政策課
電話 047（451）1151（内線）231・233

基本属性・居住形態等について

F1. 性別を教えてください。(1つだけに○) n=2,034

1. 男性	43.8	2. 女性	55.4	無回答	0.9
-------	------	-------	------	-----	-----

F2. 年齢を教えてください。(1つだけに○) n=2,034

1. 20~29歳	8.8	4. 50~59歳	15.8	7. 70~74歳	9.0
2. 30~39歳	18.2	5. 60~64歳	12.1	8. 75歳以上	9.7
3. 40~49歳	16.7	6. 65~69歳	9.3	無回答	0.3

F3. お住まいの住所を教えてください。(1つだけに○) n=2,034

1. 谷津1・5・6・7丁目	7.6	12. 本大久保1・2丁目	3.6
2. 谷津2・3・4丁目	8.6	13. 本大久保3・4・5丁目	3.7
3. 谷津町1・4丁目	0.4	14. 花咲	3.0
4. 袖ヶ浦1・2・3丁目	6.1	15. 屋敷	3.4
5. 袖ヶ浦4・5・6丁目	2.7	16. 実籾、実籾本郷	5.4
6. 津田沼	10.9	17. 新栄	1.3
7. 鷺沼	5.2	18. 東習志野1・6・7・8丁目	3.8
8. 鷺沼台	3.5	19. 東習志野2・3・4・5丁目	5.4
9. 藤崎	9.0	20. 秋津・茜浜	5.1
10. 大久保	5.0	21. 香澄・芝園	4.5
11. 泉町	1.7	無回答	0.3

F4. 家族構成を教えてください。(1つだけに○) n=2,034

1. ひとり暮らし	10.0	4. 祖父母と親と子(三世代)	7.4
2. 夫婦のみ	24.6	5. その他	2.0
3. 親と子(二世帯)	55.3	無回答	0.6

F5. 職業を教えてください。※兼業の方は、主なものを1つ選択してください。(1つだけに○) n=2,034

1. 自営業	5.8	5. 学生	1.7
2. 会社員・公務員	35.3	6. 無職	21.1
3. パートタイマー・アルバイト	14.0	7. その他	2.2
4. 家事専業	19.2	無回答	0.7

F6. 通勤・通学先を教えてください。※通勤・通学している方のみお答えください。
(1つだけに○) n=1,201

1. 市内（自宅以外）	18.7	5. 東京都内	36.2
2. 市川市・船橋市	11.7	6. 自宅	3.0
3. 千葉市	11.2	7. その他	2.7
4. その他の千葉県内	9.2	無回答	7.2

F7. お住まいの住居形態を教えてください。(1つだけに○) n=2,034

1. 一戸建て（持ち家）	47.0	5. 公団・市営・県営住宅等の公 営住宅	9.4
2. 中高層集合住宅（持ち家）	23.5	6. 社宅・官舎	4.8
3. 一戸建て（賃貸）	1.4	7. 間借り・寮・住み込み 等の集合住宅	0.7
4. 賃貸アパート・賃貸マンション 等の集合住宅	12.1	無回答	1.0

住みよさと定住意向について

問1. あなたは、習志野市に住んで何年になりますか。(1つだけに○) n=2,034

1. 1年未満	3.4	} 問1-1 問1-2 ^	4. 10~20年未満	17.9	} 問1-1 問1-2 ^
2. 1~5年未満	12.8		5. 20年以上	44.7	
3. 5~10年未満	10.4		16. 生まれてからずっと	10.0	
			無回答	0.7	

問1-1. 習志野市にお住まいになった主な理由は何ですか。(○は2つまで) n=1,815

1. 居住環境がよい	20.3	8. 結婚	15.3
2. 住宅の価格が手頃	16.4	9. 家族の都合	17.8
3. 仕事（職場）の都合	17.3	10. 親類や友人が近くにいる	10.0
4. 通勤・通学が便利	22.9	11. 行政サービスが充実している	0.5
5. 買い物が便利	4.4	12. 子育て支援が充実している	0.9
6. 教育水準が高い	0.4	13. その他	8.5
7. 各種施設が充実している	1.0	無回答	4.8

問1-2. 習志野市に住む前は、どちらにお住まいでしたか。(1つだけに○) n=1,815

1. 千葉市	13.9	4. その他の千葉県内	16.1	7. 海外	0.9
2. 船橋市	17.3	5. 東京都内	25.0	無回答	0.9
3. 八千代市	2.8	6. その他の道府県	23.0		

問2. あなたが現在お住まいの場所は、住みやすいと感じますか。(1つだけに○) n=2,034

1. 住みやすい	37.8	} 問2-1 ^	4. やや住みにくい	7.0	} 問2-1 ^
2. まあ住みやすい	41.4		5. 住みにくい	2.4	
3. どちらともいえない	7.7	→ 問3へ	無回答	3.7	

問2-1. 「住みやすい」「まあ住みやすい」と感じる理由は何ですか。(○は3つまで)

n=1,611

1. 交通が便利である	69.0	8. 人々が親切である	10.0
2. 住宅事情がよい	21.9	9. 落ちついていて清潔である	15.2
3. 教育環境に恵まれている	10.1	10. 福祉・医療が充実している	4.9
4. 子育て支援環境が充実している	3.7	11. 水がおいしい	7.4
5. 自然環境に恵まれている	24.5	12. 街並みが整備されている	12.0
6. 文化水準が高い	1.9	13. 治安がよい	15.8
7. 災害が少ない	31.2	14. その他	4.8
		無回答	0.4

問2-2. 「やや住みにくい」「住みにくい」と感じる理由は何ですか。(○は3つまで)

n=191

1. 交通が不便である	37.2	9. 騒々しく雑然としている	12.6
2. 住宅事情が悪い	14.1	10. 福祉・医療が充実していない	19.9
3. 教育環境に恵まれていない	5.8	11. 生活基盤整備が遅れている	19.9
4. 子育て支援環境が充実していない	6.8	12. 街に活気が乏しい	22.0
5. 自然環境に恵まれていない	9.9	13. 街並みが整備されていない	18.8
6. 文化水準が低い	7.3	14. 治安が悪い	8.4
7. 災害の不安がある	10.5	15. その他	24.1
8. 人々が不親切である	5.2	無回答	2.1

問3. あなたは、今後も現在お住まいの場所に住み続けたいと思いますか。(1つだけに○)

n=2,034

1. 住み続けたい	54.8	→ 問3-1へ
2. 将来転出すると思う	15.2	→ 問3-2へ
3. すぐにでも転出したい	1.9	→ 問3-2へ
4. わからない	20.5	→ 問4へ
無回答	7.6	

問3-1. 「住み続けたい」と思う理由は何ですか。(1つだけに○) n=1,114

1. 愛着がある	31.8	6. 仕事の都合	3.3
2. 昔から住んでいる	14.3	7. 自然環境がよい	8.7
3. 通勤・通学が便利	10.3	8. 行政サービスの充実	0.4
4. 買い物・遊びに便利	13.6	9. その他	9.7
5. 地域の人との結びつきが強い	6.8	無回答	1.1

問3-2. 「将来転出すると思う」「すぐにでも転出したい」と思う理由は何ですか。

(1つだけに○) n=348

1. 周辺環境や風紀の悪化	6.0	6. 家族の都合	23.9
2. 住宅の都合	16.1	7. 仕事の都合	21.0
3. 通勤・通学が不便	4.9	8. 行政サービスが不十分	3.4
4. 買い物が不便	5.7	9. その他	14.9
5. 各種施設の整備不足	2.9	無回答	1.1

市政全般について

習志野市として取り組むべき施策や現在取り組んでいる施策について、あなたはどれに力を入れるべきだと思いますか。

問4. 次の11の施策の中で特に重要だと思うものは何ですか。(○は5つまで) n=2,034

1. 高齢者施策	66.9	8. 環境の施策	35.0
2. 障害者(児)施策	17.1	9. 都市整備(交通関係の施策を含む)	35.1
3. 子育て支援施策	41.2	10. 安心して安全なまちづくり	58.5
4. 健康づくりの施策	23.6	11. 産業振興の施策	20.0
5. 学校教育の施策	26.6	12. その他	3.2
6. 生涯学習・生涯スポーツの施策	19.5	無回答	1.1
7. 市民協働※の施策	18.7		

※「市民協働」とは、市民、市民活動団体、企業・学校などと市が互いの特性を理解し、対等な立場で共通の目標を達成するために協力・協調することをいいます。

問5. 高齢者施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

n=2,034

1. 高齢者住宅の確保	13.2	8. 福祉・介護施設等の整備	35.5
2. 働く場の確保	20.6	9. 高齢者医療など経済的支援の充実	34.4
3. 趣味等の活動機会の創出	8.5	10. 介護教室など介護者支援の充実	6.4
4. ボランティア等の活動の場の創出	7.1	11. ひとり暮らし高齢者等に対する相談体制の充実	19.0
5. 寝たきり予防に向けた検診の充実	8.8	12. その他	2.6
6. 介護予防に向けた事業の充実	11.1	無回答	1.6
7. 在宅福祉サービスの充実	17.9		

問6. 障害者（児）施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

n=2,034

1. 住民参加による社会福祉の推進	10.6	7. 雇用対策・就労機会の充実	39.5
2. 相談・情報提供体制の充実	17.5	8. 地域環境の整備	8.0
3. 在宅福祉サービスの充実	12.0	9. 防災体制の整備	2.3
4. 施設福祉サービスの充実	20.1	10. 教育の充実	9.1
5. 日中活動支援体制の充実	11.7	11. 自主的活動の促進	8.3
6. 生活機能向上のための支援	25.3	12. その他	1.1
		無回答	9.6

問7. 子育て支援施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

n=2,034

1. 乳幼児の保育教育施設の整備	31.0	7. 子育てに関する学習・講座などの開催	6.0
2. 放課後児童会の充実	11.5	8. 親子がともにくつろげる場所の確保	10.9
3. 子育てと就労の両立支援	40.4	9. 子どもに対する相談窓口の充実	10.8
4. 母子保健※の充実	7.3	10. 乳幼児医療など経済的支援の充実	16.2
5. 夜間保育や短期の一時預りなど保育メニューの充実	22.6	11. その他	2.1
6. 保育ボランティアの育成	7.7	無回答	9.5

※「母子保健」とは、妊娠中からの母子の健康、乳幼児の発育・発達等の子育て家庭の健康づくり。

問 8. 健康づくりの施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

n=2,034

1. 母子保健の充実	5.9	6. 医療施設の充実	37.6
2. 小児救急医療体制の整備	18.8	7. 救急診療、休日・夜間診療等の充実	45.1
3. がん検診等健康診査の充実	23.1	8. リハビリテーションの充実	8.1
4. 健康相談や健康教育の充実	9.6	9. 在宅医療の充実	14.7
5. 健康づくり事業の充実	12.7	10. その他	1.5
		無回答	4.8

問 9. 学校教育の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

n=2,034

1. 学校施設の整備	12.1	7. 特色ある学校づくりの推進	8.7
2. 確かな学力を培う教育の推進	27.9	8. 安全教育・安全管理の充実	5.6
3. 社会及び自然体験学習の充実	12.0	9. いじめ、不登校を生まない教育の推進	39.9
4. 体育・運動能力の向上	6.8	10. 家庭や地域との連携	12.5
5. 教職員の資質の向上	37.2	11. その他	2.6
6. 自己管理能力を育てる健康教育の推進	11.2	無回答	7.3

問 10. 生涯学習・生涯スポーツの施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。

(〇は2つまで)

n=2,034

1. 各種公民館講座の充実	18.5	7. 生涯学習指導者の育成	9.6
2. 生涯学習施設の整備	20.0	8. 生涯スポーツ活動の機会拡充	14.7
3. スポーツ施設の整備・充実	27.3	9. 競技スポーツの振興	4.9
4. 図書館の整備・充実	26.2	10. 青少年の健全育成の推進	14.9
5. 芸術・文化活動の機会充実	14.3	11. その他	1.5
6. 文化の保護や伝承	8.0	無回答	10.6

問11. 市民協働の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

n=2,034

1. 町会、自治会活動の支援	27.0
2. 市民活動団体*の支援	12.2
3. 市民活動団体の人材の育成	9.9
4. ボランティア活動(個人)の支援	18.8
5. まちづくりへの市民参画(まちづくり会議等)の促進	19.2
6. 市民協働にかかわる市民、市民活動団体、企業・学校と市の連携、交流	29.0
7. 市職員の市民協働の理解、意識づくり	17.4
8. 男女共同参画に関する意識の向上	5.3
9. 平和事業の拡充	4.6
10. その他	1.3
無回答	15.0

※「市民活動団体」とは、不特定多数の人のために社会貢献活動をする非営利団体です。

問12. 環境の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

n=2,034

1. 環境学習講座等の充実	2.9	8. 環境美化運動の推進	9.9
2. 情報提供の推進	6.5	9. 路上喫煙・ポイ捨て等の防止	24.3
3. 公害対策の強化	10.7	の強化	
4. 自然環境の保全	24.5	10. 地球温暖化防止対策の推進	13.3
5. ごみの減量化・リサイクルの推進	25.6	11. エコ*の取り組みに対する支援	12.1
		の充実	
6. 魅力ある街並みづくりの推進	16.9	12. その他	1.4
7. 公園や緑地の整備	29.6	無回答	4.6

※「エコ」とは、エコロジーの略。一般に「環境によい」という意味で用いられています。
(例: エコバッグ、エコカー、エコライフ等)

問13. 都市整備の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

n=2,034

1. 幹線道路の整備	11.4	7. 安全で安定した水道水・ガスの供給	14.7
2. 身近な生活道路の整備	26.1	8. 踏切道の改善・解消	18.7
3. 未利用地の有効活用	17.5	9. バス路線の利便性の拡大・充実	20.7
4. 駐車場・駐輪場の整備	9.4	10. 公共施設の老朽化対策	12.4
5. 公共施設等におけるバリアフリー*化の推進	17.4	11. 良好な住環境の維持、保全	19.0
6. 下水道の整備	5.5	12. その他	2.7
		無回答	4.0

※「バリアフリー」とは、障害者、高齢者などの方々が社会生活上、自由に行動できるようにしようとする概念です。

問14. 安全で安心なまちづくりの施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。

(〇は2つまで)

n=2,034

1. 減災対策*1の推進	24.3	7. 地域防犯活動の推進	22.7
2. 防災倉庫等防災関連施設の整備	7.5	8. 市民の防犯意識の高揚	11.9
3. 消防・救急体制の整備・充実	27.7	9. 防犯に配慮した都市環境整備	29.8
4. 地域防災活動の推進	9.1	10. 防災公園*2の整備	14.2
5. 市民の防災意識の高揚	9.9	11. その他	1.0
6. 犯罪情報の提供	16.7	無回答	4.3

※1「減災対策」とは、災害が起こってからのことよりも、災害が起こる前の事前の対策（例：住宅の耐震化、家具の転倒防止、個人や地域の防災力の強化等）に重点を置き、災害による被害を未然に減らす取り組みのことです。

※2「防災公園」とは、一定の広さがあり、災害時に必要な様々な施設（例：防災倉庫や耐震性貯水槽、延焼防止のための散水施設やヘリポート等）を備えた公園のことです。

問15. 産業振興の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

n=2,034

1. 中小企業の育成	15.3	8. 遊休農地対策	11.3
2. 創業・起業者や事業者への経営・金融相談支援	6.1	9. 都市型観光の振興と観光資源の発掘創出	3.7
3. 中小企業資金融資制度の充実	8.0	10. 職業技術取得への支援	7.7
4. 商店街の活性化	44.4	11. 雇用・就業の支援（雇用の場の創出・確保）	34.2
5. 工業系事業者の操業環境の保持	1.0	12. 産学民官連携の推進	3.4
6. 都市型農業の振興	6.1	13. その他	0.9
7. 地産地消の推進	18.7	無回答	9.7

問16. その他の施策として特に取り組むべきだと思うものをお書きください。

--

問17. 次の1~11の各施策についてどのようにお感じですか。(それぞれ1つずつに○)

n=2,034

項目	満足度					無回答
	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	
1. 高齢者施策	5.9	16.9	56.3	8.7	0.8	11.4
2. 障害者（児）施策	3.0	13.7	58.9	5.5	0.8	18.1
3. 子育て支援施策	4.3	18.5	50.0	10.3	1.2	15.7
4. 健康づくりの施策	1.6	13.5	58.1	12.3	0.6	13.9
5. 学校教育の施策	3.1	14.6	54.7	11.5	0.8	15.3
6. 生涯学習・生涯スポーツの施策	2.2	15.0	56.2	10.9	0.9	14.8
7. 市民協働の施策	1.5	12.8	63.6	4.9	0.4	16.7
8. 環境の施策	4.0	17.6	51.9	11.9	1.0	13.6
9. 都市整備（交通施策含む）の施策	7.7	24.8	44.3	9.8	0.7	12.6
10. 安全で安心なまちづくり	3.6	16.8	52.3	15.0	0.9	11.4
11. 産業振興の施策	4.8	21.1	55.4	2.9	0.3	15.6

経営改革について

本市では、財政健全化に全力で取り組んでおります。その中で、職員数・人件費の削減等、行政内部での改革を行っていますが、それ以外に、市民の皆様の利用料等の負担と行政サービスのあり方についても検討しております。

問18. あなたは、行政サービスと費用負担の関係について、どうお考えになりますか。

(1つだけに○)

n=2,034

1. 今よりも行政サービスが充実するのなら、負担は増えてもよい	21.7
2. 今の行政サービスのままでよいので、負担も今のままがよい	43.2
3. 今よりも行政サービスを縮小してもよいので、負担を減らして欲しい	19.2
4. その他	9.5
無回答	6.4

問19. 市民サービスを維持していくためにはマンパワーが必要です。職員を削減しつつサービスを維持するために、公共施設の管理運営・事務事業の実施を民間に移行していくことについて、あなたはどうお考えになりますか。(1つだけに○)

n=2,034

1. 公設公営を維持して欲しい	13.5
2. 民間移行を含め適切に対応して欲しい	54.1
3. 公設民営 ^{※1} 、民設民営 ^{※2} として欲しい	11.9
4. 統廃合を進めて欲しい	10.6
5. その他	3.3
無回答	6.5

※1「公設民営」とは、行政が建てた施設を民間事業者が独立採算制を基本に運営する形態。

※2「民設民営」とは、行政が用地を提供し、民間事業者がその土地に施設を建て管理運営を行うことを想定しています。

問20. 「習志野市公共施設マネジメント白書」[※]等の分析により、本市の公共施設の耐震化の遅れや、老朽化の問題が明らかになってきました。現在の施設数・規模を維持したまま、改修・改築を行っていくと、今後多大な費用負担となることが見込まれます。この対策について、あなたはどうお考えになりますか。(1つだけに○)

n=2,034

1. これからも施設数・規模を拡充していくべき	11.1
2. 現状の施設数・規模を維持すべき	21.5
3. 適切な規模に縮小していくべき	39.1
4. 施設の統廃合等により施設数を縮小すべき	19.6
5. その他	3.1
無回答	5.6

※「習志野市公共施設マネジメント白書」とは、老朽化が進んでいる主な公共施設（生涯学習施設・小中学校・幼稚園・保育所等）の老朽化の状況、運営や利用状況、そこで行われている行政サービスのコスト状況等をまとめたものです。

問21. 行政改革の施策として今後も特に取り組むべきだと思うものは何ですか。

(○は2つまで)

n=2,034

1. 行政改革の内容の情報提供及び情報公開	22.7
2. 収入に見合った事業の縮小・削減	35.7
3. わかりやすい市役所の組織づくり	16.1
4. 職員の資質向上	23.1
5. 職員数・人件費の削減	32.8
6. 総合窓口・バリアフリー化・エコ対策の推進等に対応した、市役所の総合庁舎の建設	7.8
7. 公共サービスにおける市民の参画、市民協働の推進	10.1
8. 民間委託・民間経営の推進	17.1
9. その他	2.4
無回答	5.8

行政情報について

問22. あなたは、市からの情報を得る手段として、どのような方法を利用しますか。

(○は2つまで)

n=2,034

1. 広報紙	78.3	6. テレビ広報	5.1
2. ホームページ、インターネット	25.8	7. 新聞(タウン誌などを含む)	15.4
3. 地域の回覧板	27.8	8. 携帯電話	1.7
4. 地域の掲示板	4.8	9. その他	1.6
5. 公共施設でのお知らせ	7.5	無回答	1.9

問23. あなたが、市民として知りたい情報は何か。(○は3つまで)

n=2,034

1. 新しい制度や事務手続き	47.1	8. 市の人口などの基本的な統計	1.3
2. 市内施設の紹介・利用方法・予約状況	37.2	9. 市の行事等の予定	13.6
3. 市長の基本的な考え方	9.4	10. 地域の歴史や文化	5.4
4. 市議会の動向	7.7	11. 市内の企業情報	3.5
5. 市の予算の使い方	34.2	12. 市民相互の情報交換	3.8
6. 市のサービスの内容	39.7	13. 市民サークル等の募集や活動	11.5
7. 市の今後の計画	29.4	14. その他	1.2
		無回答	2.9

仕事や家庭以外での活動について

問24. あなたは現在、仕事や家庭以外で何か活動をしていますか。(1つだけに○) n=2,034

1. 現在活動している	20.4	→ 問24-1、問24-2へ
2. 現在活動していないが、今後活動してみたい	28.9	→ 問24-1～問24-3へ
3. 現在活動していないし、今後も活動しない	45.5	→ 問24-3へ
無回答	5.3	

問24-1. どのような団体での活動ですか。(○はいくつでも) n=1,001

1. ボランティア団体・NPO等での活動	16.6	5. 社会福祉の活動	15.6
2. ボランティア活動(個人参加)	23.2	6. サークル活動	43.9
3. 町会・自治会・まちづくり会議での活動	17.9	7. その他	4.1
4. 学校支援活動	12.9	無回答	8.0

問24-2. 活動されている内容は、以下のどれにあてはまりますか。(○はいくつでも)

n=1,001

1. 保健・福祉活動	11.9	6. 防犯活動	7.4
2. 文化・芸術活動	21.8	7. 国際交流活動	5.6
3. スポーツ活動	25.0	8. 子どもの健全育成活動	12.1
4. 環境保全活動	11.4	9. その他	4.6
5. 防災活動	4.3	無回答	32.5

問24-3. 現在活動していないのは、どのような理由ですか。(○はいくつでも)

n=1,513

1. 興味のある活動がない	17.9
2. 仕事が忙しい	43.9
3. 子育てが忙しい	13.0
4. どのような活動があるのかわからない	32.1
5. 一緒に活動する人がいない	10.2
6. 活動する場所がない	3.8
7. どのように始めたらよいのかわからない	22.9
8. その他	14.9
無回答	3.9

都市のイメージ（将来像）について

問25. あなたは、習志野市がどのようなまちになって欲しいと思いますか。（1つだけに○）

n=2,034

1. 市内の産業を育成し、経済的に豊かな都市	10.0
2. 商業などの集積した地域の中核的都市	1.8
3. 市内に職場のある自立性の高い都市	3.5
4. 生活環境の整った快適で住みやすい都市	35.3
5. 教育・文化等の充実した文教都市	6.6
6. 保健・医療・福祉などの充実した福祉都市	25.5
7. 緑の豊かな都市	3.5
8. 国際理解・交流が進んだ都市	0.2
9. 安心して子育てができる子育て支援環境の充実した都市	7.1
10. その他	3.6
無回答	2.8

問26. 将来の習志野市のイメージとして次のどの言葉がふさわしいと思いますか。

（○は3つまで）

n=2,034

1. いきいきした	22.0	10. 近代的な	3.8	19. 静かな	5.9
2. 落ち着いた	13.5	11. のんびりした	8.8	20. 素朴な	6.2
3. 明るい	11.9	12. 楽しい	3.9	21. 美しい	7.1
4. 整然とした	3.9	13. 開放的な	2.8	22. 創造的な	6.0
5. 豊かな	19.4	14. 安全な	35.6	23. 人情味のある	16.2
6. 親しみのある	15.8	15. あたたかい	14.0	24. にぎやかな	1.7
7. 力強い	2.5	16. 個性的な	1.7	25. 若々しい	2.9
8. やさしい	6.1	17. さわやかな	5.9	26. その他	2.4
9. 伝統的な	2.3	18. 充実した	15.6	無回答	3.8

大変おつかれさまでした。

これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒で 7月30日（金） までに
ポストへのご投函をお願いします。

第3章. 調査結果の分析

第1節 住みよさと定住意向について

1-1 居住年数

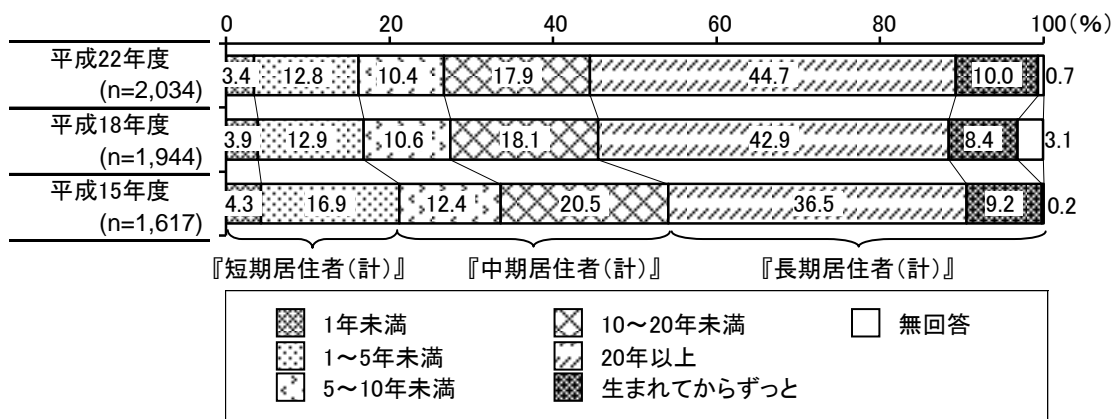
◎ 『長期居住者（計）』が5割半ばで、増加傾向。

問1. あなたは、習志野市に住んで何年になりますか（1つだけに○）

習志野市での居住年数を聞いたところ、「1年未満」と「1～5年未満」を合わせた『短期居住者（計）』は16.2%、「5～10年未満」と「10～20年未満」を合わせた『中期居住者（計）』は28.3%、「20年以上」と「生まれてからずっと」を合わせた『長期居住者（計）』は54.7%であった。『長期居住者（計）』は半数を超え、年々増加傾向となっている。

前回調査との推移をみると、『長期居住者（計）』は3.4ポイント増加しているが、『短期居住者（計）』と『中期居住者（計）』はほぼ横ばいとなっている。

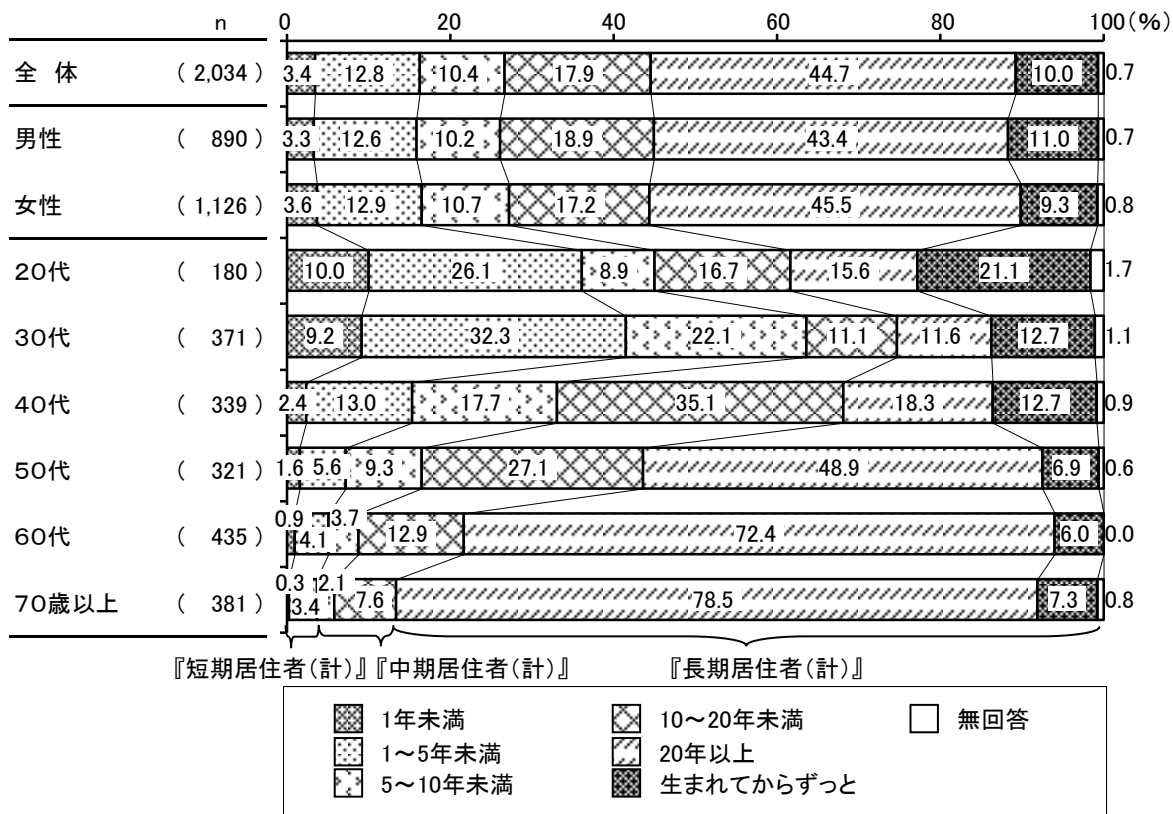
図 1-1-1



性別にみると、男性と女性では居住年数に大きな差はみられない。

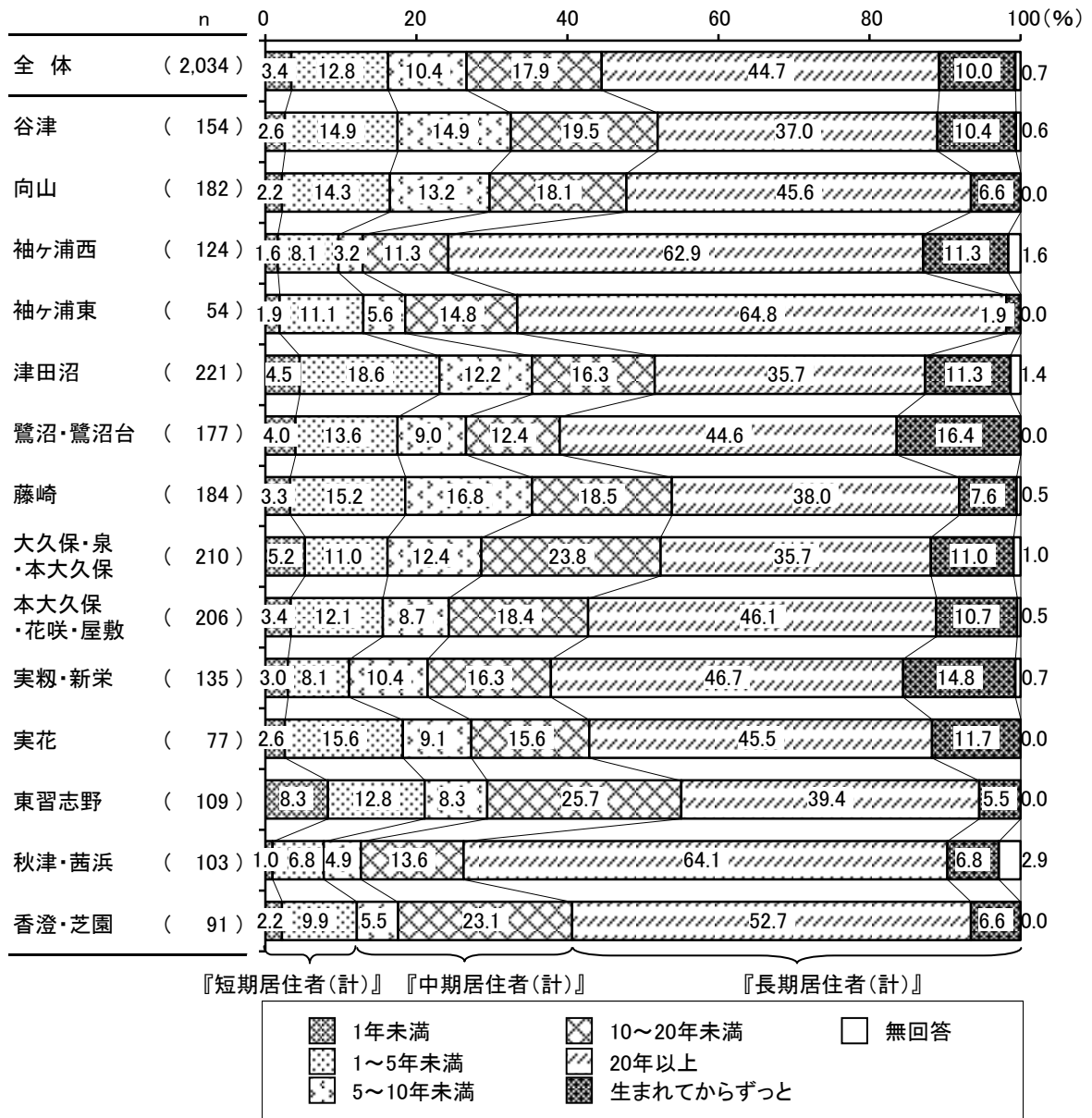
年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて居住年数が長くなる傾向がある。「1年未満」は20代で10.0%、「1～5年未満」は30代では32.3%、「5～10年未満」は同じく30代で22.1%、「10～20年未満」は40代で35.1%となっている。50代以上では『長期居住者（計）』が半数以上となり、70歳以上では8割を超える。

図 1-1-2 居住年数：性別・年齢別



居住地区別にみると、『短期居住者（計）』は津田沼が 23.1%、東習志野が 21.1% で 2 割を占め、『中期居住者（計）』は大久保・泉・本大久保が 36.2%、藤崎が 35.3%、谷津が 34.4%で多く 3 割半ばとなっている。『長期居住者（計）』は袖ヶ浦西が 74.2%、秋津・茜浜が 70.9%、袖ヶ浦東が 66.7%、実籾・新栄が 61.5%、鷺沼・鷺沼台が 61.0%で多くなっている。

図 1-1-3 居住年数：居住地区別



1-2 居住理由と前住地

- ◎ 居住理由は「通勤・通学が便利」が2割、千葉県内からの転入は5割。

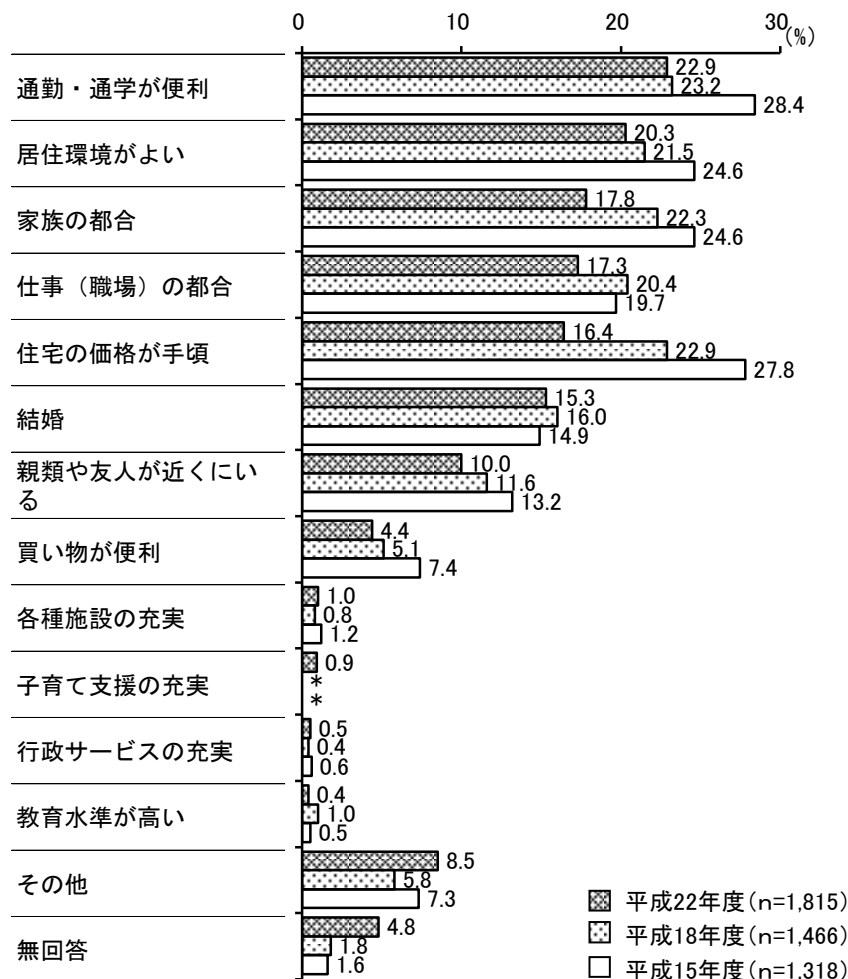
【問1で「1年未満」から「20年以上」と答えた方に対して】

問1-1. 習志野市にお住まいになった主な理由は何ですか。(〇は2つまで)

習志野市に住むようになった1,815人に理由を聞いたところ、「通勤・通学が便利」が22.9%で最も多く、次いで「居住環境がよい」が20.3%、「家族の都合」が17.8%、「仕事（職場）の都合」が17.3%の順となっている。

前回調査との推移をみると、「住宅の価格が手頃」は6.5ポイント、「家族の都合」は4.5ポイント減少している。

図 1-2-1



※「子育て支援の充実」は平成22年度より追加

性別にみると、男性は「通勤・通学が便利」が 11.6 ポイント、「居住環境がよい」が 6.0 ポイント高く、女性は「結婚」が 9.2 ポイント、「家族の都合」が 4.9 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「家族の都合」は 20 代で 3 割半ば、「通勤・通学が便利」は 50 代で 3 割を占めている。年齢が高くなるにつれて「居住環境がよい」は増加傾向となっている。

居住地区別にみると、「仕事（職場）の都合」は東習志野で 2 割半ば、「通勤・通学が便利」は谷津、向山、藤崎、津田沼で 3 割弱となっている。「居住環境がよい」は香澄・芝園で 4 割以上と多くなっている。

居住年数別にみると、「仕事（職場）の都合」は 1 年未満で 3 割と多く、年数が長くなるにつれて減少傾向となっている。「通勤・通学が便利」は 1 年以上の居住年数で 2 割半ばを占めている。居住年数が長くなるにつれて「居住環境がよい」は増加している。

表 1-2-1 居住理由：性別・年齢別、居住地区別、居住年数別

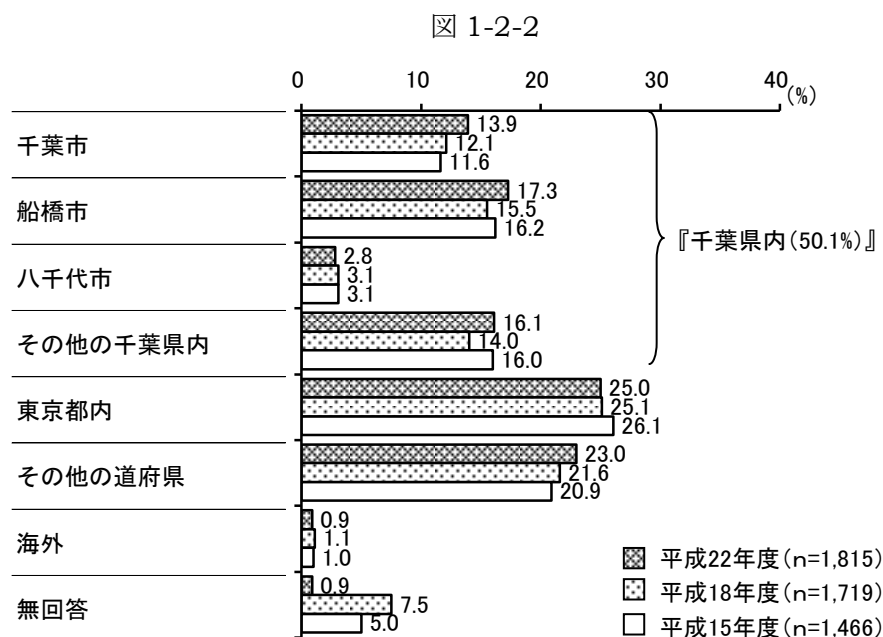
		全 体	居 住 環 境 が よ い	住 宅 の 価 格 が 手 頃	仕 事 （ 職 場 ） の 都 合	通 勤 ・ 通 学 が 便 利	買 い 物 が 便 利	教 育 水 準 が 高 い	各 種 施 設 の 充 実	結 婚	家 族 の 都 合	親 類 や 友 人 が 近 い	行 政 サ ー ビ ス の 充 実	子 育 て 支 援 の 充 実	そ の 他	無 回 答
全 体		1,815	20.3	16.4	17.3	22.9	4.4	0.4	1.0	15.3	17.8	10.0	0.5	0.9	8.5	4.8
性別・年齢別	男性	786	23.5	18.8	18.6	29.5	3.9	0.8	1.1	10.3	15.1	10.2	0.9	0.8	8.0	3.7
	女性	1,012	17.5	14.5	16.2	17.9	4.8	0.2	0.8	19.5	20.0	9.9	0.2	1.0	9.0	5.7
	20代	139	11.5	13.7	22.3	20.1	3.6	1.4	1.4	10.8	36.7	5.0	0.7	0.7	7.2	4.3
	30代	320	13.1	17.2	21.3	22.5	5.0	0.3	0.3	20.3	18.4	10.9	-	3.1	6.9	4.1
	40代	293	19.8	12.6	16.7	22.9	4.1	0.3	1.0	18.1	18.4	15.0	-	1.4	7.5	3.8
	50代	297	22.6	16.5	16.5	30.3	4.4	0.7	0.3	13.5	13.1	9.1	0.3	0.3	10.1	6.4
	60代	409	24.2	20.0	15.6	21.5	3.7	0.5	1.5	15.9	15.4	9.3	0.2	-	7.8	5.9
	70歳以上	350	24.6	15.4	14.6	19.4	5.4	-	1.4	11.1	16.3	8.9	1.7	-	10.9	4.3
居住地区別	谷津	137	16.8	11.7	19.0	29.9	7.3	1.5	0.7	10.9	16.1	13.1	-	-	8.8	4.4
	向山	170	27.6	22.4	17.6	29.4	6.5	1.2	-	6.5	16.5	8.2	-	0.6	7.1	4.1
	袖ヶ浦西	108	20.4	17.6	13.9	19.4	5.6	-	0.9	15.7	12.0	9.3	0.9	-	13.9	5.6
	袖ヶ浦東	53	26.4	9.4	15.1	18.9	1.9	-	3.8	13.2	13.2	9.4	-	-	20.8	3.8
	津田沼	193	11.9	8.3	21.2	29.5	7.8	0.5	0.5	17.1	16.6	6.2	1.0	-	8.8	6.7
	鷺沼・鷺沼台	148	12.2	16.2	14.9	26.4	2.7	-	1.4	20.9	14.9	8.1	0.7	0.7	8.8	5.4
	藤崎	169	21.3	21.3	13.6	29.6	6.5	0.6	2.4	11.2	21.3	9.5	0.6	1.8	6.5	4.7
	大久保・泉・本大久保	185	18.4	13.0	21.6	14.6	2.7	0.5	1.1	21.1	23.2	15.1	1.1	1.1	5.9	2.2
	本大久保・花咲・屋敷	183	20.2	18.0	15.8	23.5	1.6	0.5	0.5	15.8	18.0	12.0	-	1.1	9.8	3.3
	実籾・新栄	114	20.2	19.3	18.4	14.0	1.8	-	0.9	19.3	24.6	7.9	0.9	0.9	5.3	4.4
	実花	68	13.2	16.2	17.6	11.8	7.4	-	1.5	19.1	22.1	8.8	-	1.5	7.4	4.4
	東習志野	103	24.3	21.4	26.2	7.8	2.9	-	1.0	18.4	13.6	9.7	-	4.9	9.7	4.9
	秋津・茜浜	93	22.6	22.6	8.6	25.8	3.2	-	1.1	12.9	14.0	11.8	-	-	8.6	10.8
	香澄・芝園	85	42.4	11.8	9.4	24.7	1.2	-	-	12.9	20.0	10.6	1.2	-	5.9	5.9
居住年数別	1 年未満	70	12.9	28.6	31.4	12.9	2.9	1.4	-	10.0	24.3	10.0	1.4	2.9	7.1	-
	1～5 年未満	260	16.9	20.8	23.5	25.8	5.8	-	2.3	15.4	12.3	12.7	-	2.7	8.5	1.2
	5～10年未満	212	18.9	16.5	20.8	25.5	5.2	0.9	0.5	14.6	18.4	10.4	-	1.4	6.1	2.4
	10～20年未満	364	21.2	13.5	17.3	26.6	4.1	0.3	1.1	14.8	19.2	11.0	0.5	1.1	10.7	1.9
	20年以上	909	21.9	15.4	13.6	20.7	4.1	0.4	0.8	16.1	18.2	8.8	0.7	-	8.4	8.0

【問1で「1年未満」から「20年以上」と答えた方に対して】

問1-2. 習志野市に住む前は、どちらにお住まいでしたか。(1つだけに○)

習志野市に住むようになった1,815人に前住地を聞いたところ、「東京都内」が25.0%で最も多くなっている。『千葉県内』は半数を占めており、そのうち「船橋市」が17.3%、「千葉市」が13.9%となっている。

前回調査との推移をみると、『千葉県内』からの移動が若干増加しているものの、あまり変化はみられない。



性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっているが、男性は「東京都」が2.3ポイント高く、女性は「その他の千葉県内」が3.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「東京都内」は50代以上で2割以上を占め、70歳以上では3割後半と最も多くなっている。一方、「その他の道府県」は20代から40代で多く2割半ばから3割弱となっている。

居住地区別にみると、「船橋市」は実花と香澄・芝園で2割半ば程度、「東京都内」は袖ヶ浦西と袖ヶ浦東で4割を占めている。「その他の道府県」は谷津と津田沼で3割半ばと多くなっている。

居住年数別にみると、「その他の道府県」と「海外」は居住年数が短いほど割合が多くなっている。一方、「東京都」は居住年数が長いほど割合が高く、20年以上では3割半ばを占めている。

表 1-2-2 居住理由：性別・年齢別、居住地区別、居住年数別

		(%)								
		全 体	千 葉 市	船 橋 市	八 千 代 市	そ の 他 の 千 葉 県 内	東 京 都 内	そ の 他 の 道 府 県	海 外	無 回 答
全体		1,815	13.9	17.3	2.8	16.1	25.0	23.0	0.9	0.9
性別・ 年齢別	男性	786	13.4	17.9	3.6	14.6	26.1	23.5	0.4	0.5
	女性	1,012	14.4	17.0	2.1	17.6	23.8	22.5	1.3	1.3
	20代	139	14.4	14.4	2.9	18.0	12.9	28.8	1.4	7.2
	30代	320	13.4	18.8	3.8	18.1	20.3	24.4	0.9	0.3
	40代	293	16.0	15.4	3.8	15.7	16.7	29.4	2.7	0.3
	50代	297	15.2	17.8	2.4	20.2	23.6	20.2	0.7	-
	60代	409	14.7	19.6	2.9	14.2	28.1	19.6	0.2	0.7
	70歳以上	350	10.3	15.7	1.1	13.1	38.9	20.3	-	0.6
居住地区別	谷津	137	10.9	20.4	2.9	10.9	16.8	34.3	2.2	1.5
	向山	170	8.8	21.2	1.8	20.0	25.3	21.2	0.6	1.2
	袖ヶ浦西	108	14.8	13.0	2.8	15.7	42.6	11.1	-	-
	袖ヶ浦東	53	7.5	11.3	1.9	13.2	41.5	24.5	-	-
	津田沼	193	12.4	16.6	1.0	16.1	19.7	32.6	1.6	-
	鷺沼・鷺沼台	148	11.5	14.9	2.7	16.9	29.7	21.6	0.7	2.0
	藤崎	169	13.6	18.9	1.2	17.2	27.2	20.7	0.6	0.6
	大久保・泉・本大久保	185	12.4	12.4	4.9	19.5	21.6	28.1	-	1.1
	本大久保・花咲・屋敷	183	20.8	14.2	2.2	12.6	24.6	21.9	2.2	1.6
	実柗・新栄	114	9.6	18.4	2.6	17.5	28.1	23.7	-	-
	実花	68	19.1	22.1	7.4	11.8	22.1	16.2	-	1.5
	東習志野	103	19.4	18.4	5.8	17.5	23.3	13.6	-	1.9
	秋津・茜浜	93	16.1	18.3	4.3	19.4	24.7	16.1	1.1	-
香澄・芝園	85	22.4	25.9	-	14.1	11.8	22.4	2.4	1.2	
居住年数別	1年未満	70	14.3	17.1	2.9	20.0	11.4	30.0	4.3	-
	1～5年未満	260	18.1	17.7	1.2	14.6	15.4	31.5	1.2	0.4
	5～10年未満	212	14.2	18.4	4.7	18.4	15.6	27.8	0.9	-
	10～20年未満	364	16.2	19.2	2.7	17.3	15.4	27.7	0.8	0.5
	20年以上	909	11.8	16.2	2.8	15.3	34.9	17.1	0.6	1.5

1-3 住みよさ

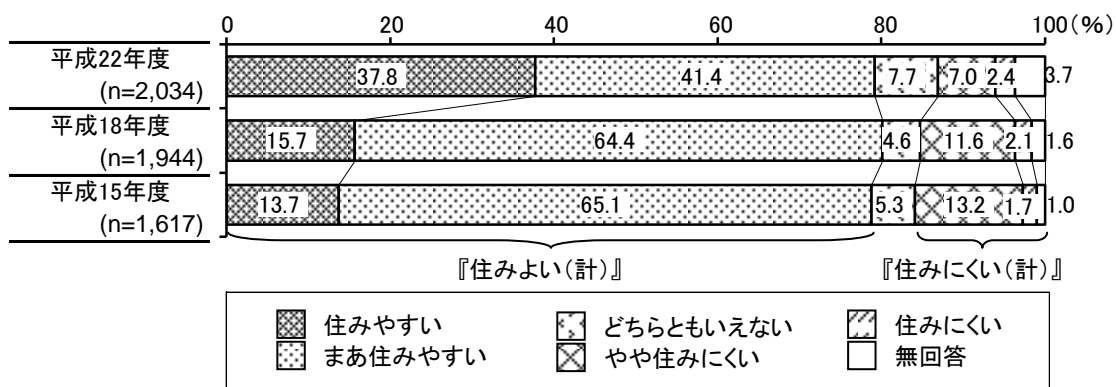
◎ 『住みよい (計)』は8割弱。

問2. あなたが現在のお住まいの場所は、住みやすいと感じますか。(1つだけに○)

習志野市の住みやすさを聞いたところ、「まあ住みやすい」が41.4%で最も多く、「住みやすい」の37.8%を合わせた『住みよい (計)』は79.2%となっている。

前回調査との推移をみると、『住みよい (計)』はほぼ横ばいであるが、「住みやすい」の割合は2倍以上となっている。また、『住みにくい (計)』は減少傾向となっている。

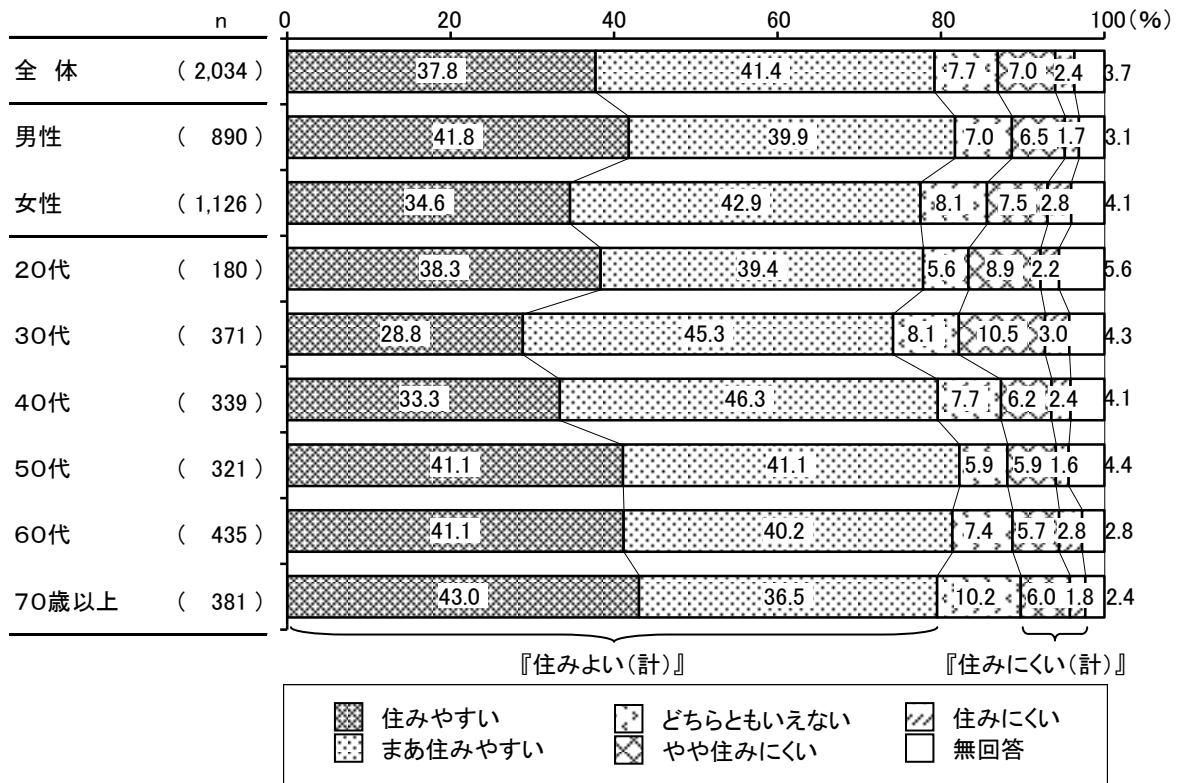
図 1-3-1



性別にみると、男性の満足度は女性よりも高く、『住みよい（計）』が 4.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「住みやすい」は 30 代で 2 割後半と最も少ないが、40 代以上では増加傾向となっている。『住みよい（計）』は 50 代・60 代で 8 割を占めている。

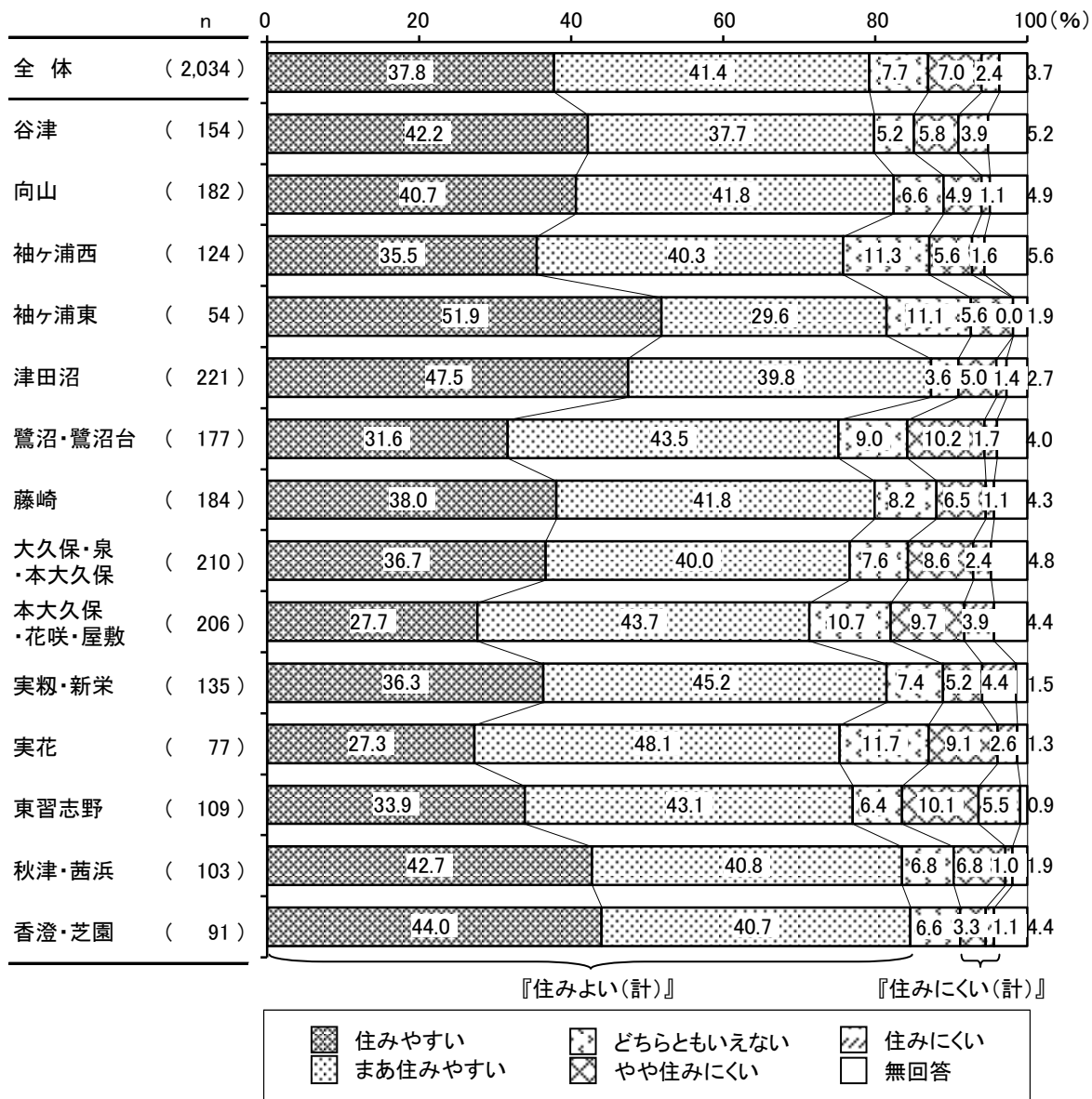
図 1-3-2 住みよさ：性別・年齢別



居住地区別にみると、『住みよい(計)』は津田沼が87.3%で最も多く、次いで、香澄・芝園が84.7%、秋津・茜浜が83.5%、向山が82.5%となっている。

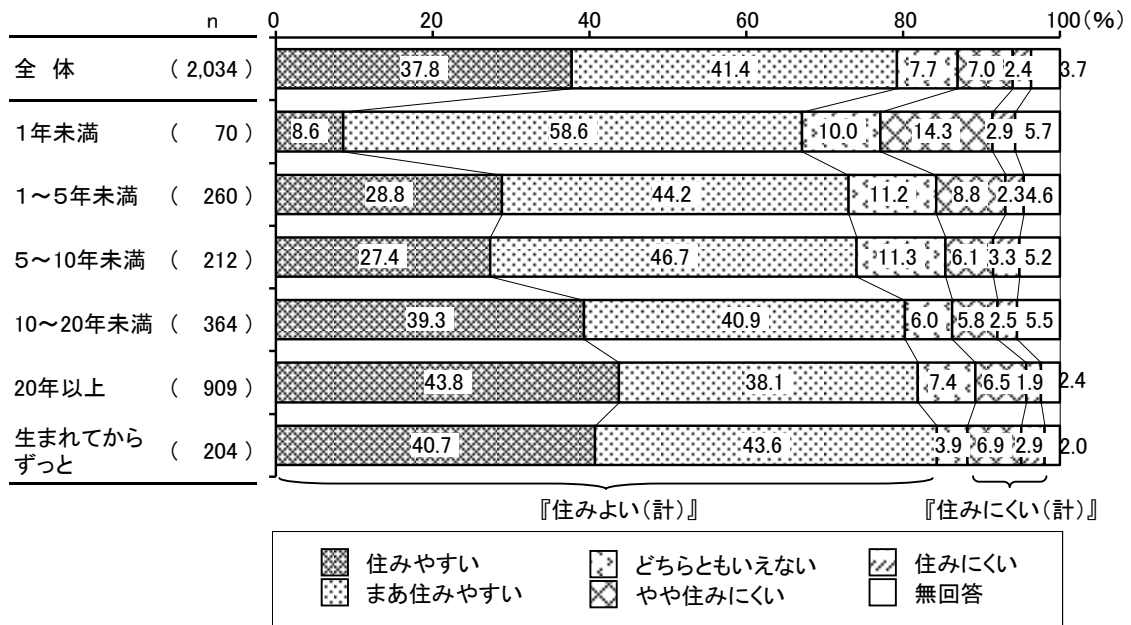
『住みにくい(計)』は東習志野で15.6%、本大久保・花咲・屋敷で13.6%となっている。

図 1-3-3 住みよさ：居住地区別



居住年数別にみると、「住みやすい」は1年未満で1割に満たず、『住みにくい(計)』が1割半ばを超えている。居住年数が長いほど『住みよい(計)』の割合は多くなっている。

図 1-3-4 住みよさ：居住年数別



1-4 住みよい理由と住みにくい理由

◎ 住みよさは「交通の便利さ」／「交通の不便さ」に左右される。

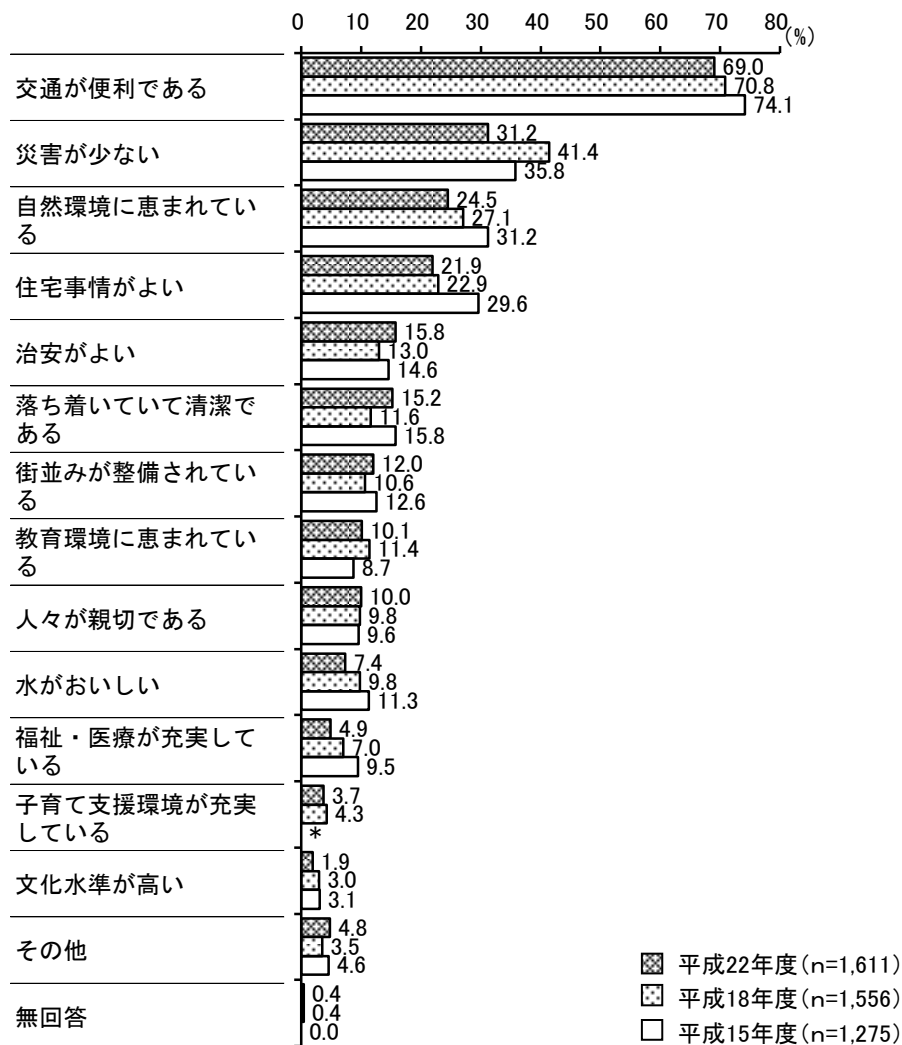
【問2で「住みやすい」「まあ住みやすい」と答えた方に対して】

問2-1. 「住みやすい」「まあ住みやすい」と感じる理由は何ですか。(〇は3つまで)

習志野市が住みやすいと答えた 1,611 人に住みよい理由を聞いたところ、「交通が便利である」が 69.0%で最も多く、次いで、「災害が少ない」が 31.2%、「自然環境に恵まれている」が 24.5%の順となっている。

前回調査との推移をみると、「災害が少ない」が 10.2 ポイント減少しているが、「落ち着いて清潔である」が 3.6 ポイント、「治安がよい」が 2.8 ポイント増加している

図 1-4-1



※「子育て支援環境が充実している」は平成18年度より追加

性別にみると、男性と女性で同じような傾向であるが、男性は「交通が便利である」が 4.3 ポイント高く、女性は「災害が少ない」が 4.1 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、全年代において「交通が便利である」が 6 割から 7 割で最も多くなっている。「災害が少ない」と「自然環境に恵まれている」は 60 代で多く、それぞれ 4 割、3 割を占めている。「住宅事情がよい」は 30 代で 2 割後半、「治安がよい」は 20 代で 2 割と多くなっている。

居住地区別にみると、「災害が少ない」は実花と東習志野で 5 割前後、「自然環境に恵まれている」は香澄・芝園で 5 割以上となっている。「住宅事情がよい」は袖ヶ浦東で 4 割後半、「街並みが整備されている」は香澄・芝園で 4 割後半となっている。

居住年数別にみると、居住年数が長くなるにつれて「災害が少ない」は増加傾向となっている。

表 1-4-1 住みよい理由：性別・年齢別、居住地区別、居住年数別（上位 10 位）

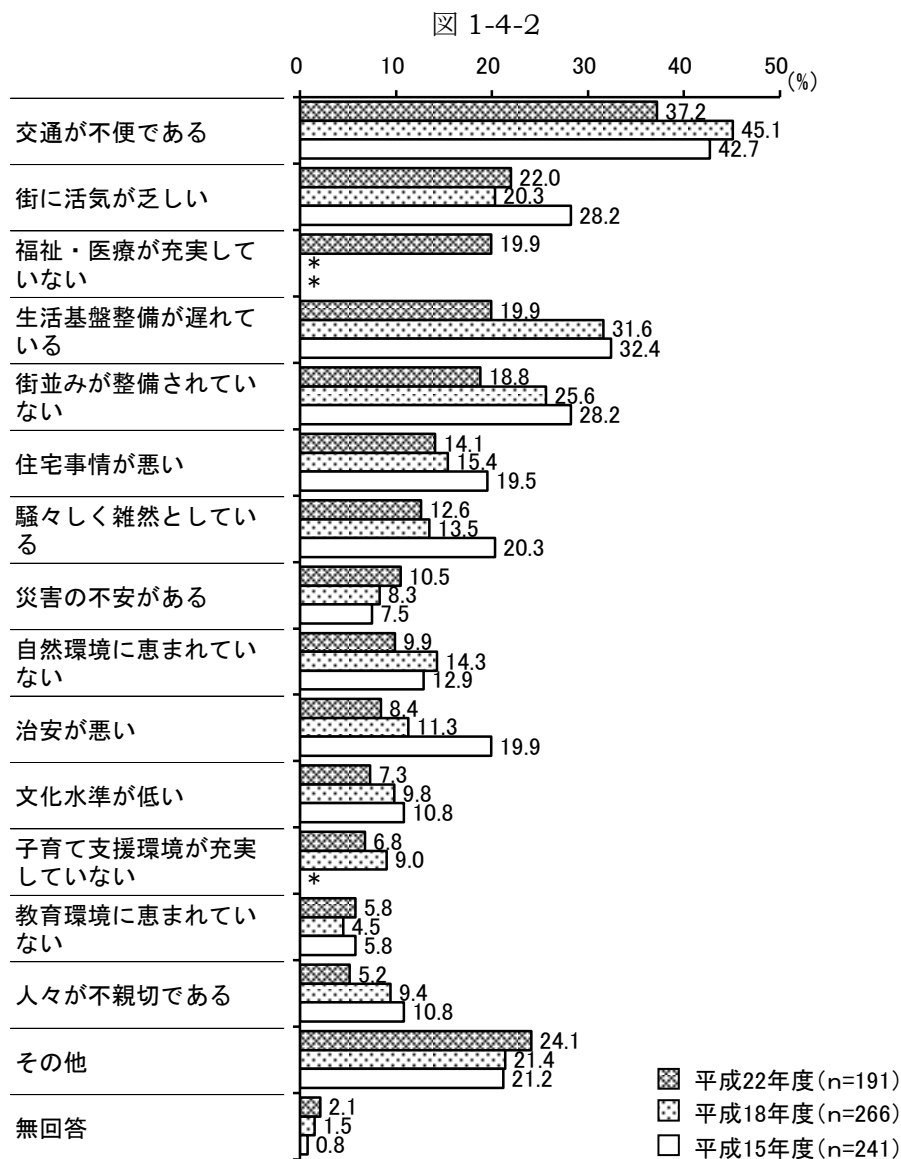
		（%）										
		全 体	交 通 が 便 利 で あ る	災 害 が 少 な い	自 然 環 境 に 恵 ま れ て い る	住 宅 事 情 が よ い	治 安 が よ い	あ ら ち つ い て い て 清 潔 で あ る	街 並 み が 整 備 さ れ て い る	教 育 環 境 に 恵 ま れ て い る	人 々 が 親 切 で あ る	水 が お い し い
全 体		1,611	69.0	31.2	24.5	21.9	15.8	15.2	12.0	10.1	10.0	7.4
性別・ 年齢別	男性	727	71.3	29.0	23.2	22.4	16.9	17.2	11.3	8.3	9.5	7.4
	女性	873	67.0	33.1	25.3	21.5	15.1	13.5	12.7	11.6	10.5	7.3
	20代	140	70.7	17.1	17.1	22.1	22.1	12.9	14.3	6.4	9.3	4.3
	30代	275	59.3	18.5	21.5	28.4	16.4	16.0	11.6	10.5	8.7	2.5
	40代	270	71.9	26.7	21.1	21.5	12.6	15.6	11.1	18.1	11.1	4.1
	50代	264	73.1	33.0	25.0	25.0	14.8	18.2	11.4	11.4	6.4	4.9
	60代	354	67.8	41.8	31.1	20.9	15.3	15.0	13.8	7.3	9.6	10.5
	70歳以上	303	72.3	39.6	24.8	14.5	16.5	13.2	10.2	6.6	14.2	14.9
居住地区別	谷津	123	79.7	22.0	10.6	22.8	13.8	17.9	7.3	13.0	15.4	0.8
	向山	150	73.3	24.7	38.7	23.3	14.7	15.3	9.3	7.3	9.3	0.7
	袖ヶ浦西	94	81.9	27.7	31.9	18.1	11.7	9.6	14.9	5.3	5.3	1.1
	袖ヶ浦東	44	56.8	22.7	18.2	47.7	13.6	29.5	43.2	4.5	6.8	-
	津田沼	193	91.7	29.5	9.8	20.7	21.2	10.4	7.3	7.3	3.1	1.6
	鷺沼・鷺沼台	133	72.9	39.8	26.3	18.8	15.0	18.8	3.8	9.0	12.0	10.5
	藤崎	147	76.2	23.8	20.4	23.8	15.0	12.2	3.4	8.8	13.6	14.3
	大久保・泉・本大久保	161	72.7	36.6	21.7	13.7	16.1	12.4	11.2	14.3	7.5	10.6
	本大久保・花咲・屋敷	147	63.9	34.0	16.3	21.8	16.3	16.3	5.4	10.2	12.9	18.4
	実籾・新栄	110	64.5	44.5	31.8	14.5	14.5	9.1	9.1	10.9	12.7	17.3
	実花	58	39.7	50.0	15.5	27.6	15.5	12.1	8.6	10.3	19.0	10.3
	東習志野	84	25.0	47.6	28.6	31.0	20.2	15.5	10.7	28.6	11.9	8.3
	秋津・茜浜	86	69.8	18.6	37.2	22.1	11.6	27.9	30.2	8.1	9.3	1.2
香澄・芝園	77	35.1	16.9	53.2	27.3	18.2	20.8	48.1	3.9	5.2	-	
居住年数別	1 年未満	47	44.7	4.3	21.3	31.9	14.9	10.6	17.0	6.4	2.1	2.1
	1～5 年未満	190	67.4	13.7	25.3	24.7	16.3	15.8	12.6	3.7	6.8	3.7
	5～10年未満	157	61.1	21.0	22.9	27.4	13.4	18.5	13.4	13.4	11.5	2.5
	10～20年未満	292	71.9	25.7	26.7	21.6	13.7	15.8	11.0	15.8	7.9	5.5
	20年以上	744	70.6	38.6	25.9	20.7	16.1	15.2	12.8	8.9	11.6	9.7
	生まれてからずっと	172	72.7	44.8	15.1	16.9	19.8	12.8	6.4	11.6	11.6	10.5

【問2で「やや住みにくい」「住みにくい」と答えた方に対して】

問2-2. 「やや住みにくい」「住みにくい」と感じる理由は何ですか。(〇は3つまで)

習志野市が住みにくいと答えた 191 人に住みにくい理由を聞いたところ、「交通が不便である」が 37.2%で最も多く、次いで、「街に活気が乏しい」が 22.0%の順となっている。

前回調査との推移をみると、「生活基盤整備が遅れている」が 11.7 ポイント、「交通が不便である」が 7.9 ポイント減少している。



※「福祉・医療が充実していない」は平成22年度より追加

※「子育て支援環境が充実していない」は平成18年度より追加

性別にみると、男性は「自然環境に恵まれていない」が10.4ポイント高く、女性は「福祉・医療が充実していない」が9.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「交通が不便である」は20代から40代で4割以上と最も多くなっている。「街に活気が乏しい」は30代で2割後半、「福祉・医療が充実していない」は70歳以上で2割半ば、「街並みが整備されていない」は40代で3割となっている。

居住地区別にみると、「街に活気が乏しい」は袖ヶ浦東で6割半ば、「福祉・医療が充実していない」は香澄・芝園で5割、谷津で4割、「生活基盤整備が遅れている」は大久保・花咲・屋敷で4割弱と多くなっている。

居住年数別にみると、「騒々しく雑然としている」は1年未満で4割、「福祉・医療が充実していない」は10～20年未満で4割となっている。

表 1-4-2 住みにくい理由：性別・年齢別、居住地区別、居住年数別（上位10位）

		(%)										
		全 体	交通 が不便 である	街に 活気が 乏しい	福祉・ 医療が 充実し てい ない	生活 基盤 整備が 遅れて いる	街並 みが 整備さ れてい ない	住宅 事情が 悪い	騒々 しく 雑然と してい る	災害 の不安 がある	自然 環境に 恵まれ てい ない	治安 が悪い
全 体		191	37.2	22.0	19.9	19.9	18.8	14.1	12.6	10.5	9.9	8.4
性別・ 年齢別	男性	73	34.2	24.7	13.7	17.8	17.8	12.3	11.0	8.2	16.4	11.0
	女性	116	38.8	20.7	23.3	20.7	19.8	14.7	13.8	12.1	6.0	6.9
	20代	20	45.0	25.0	10.0	5.0	5.0	15.0	20.0	10.0	-	5.0
	30代	50	42.0	28.0	12.0	18.0	22.0	8.0	18.0	2.0	10.0	16.0
	40代	29	55.2	24.1	24.1	24.1	31.0	10.3	6.9	10.3	13.8	6.9
	50代	24	37.5	16.7	25.0	29.2	8.3	12.5	-	8.3	8.3	8.3
	60代	37	24.3	10.8	21.6	24.3	18.9	27.0	18.9	21.6	16.2	5.4
	70歳以上	30	23.3	26.7	26.7	16.7	20.0	10.0	6.7	13.3	6.7	3.3
居住 地区別	谷津	15	20.0	13.3	40.0	26.7	33.3	6.7	13.3	6.7	26.7	6.7
	向山	11	45.5	18.2	9.1	9.1	9.1	9.1	36.4	27.3	18.2	9.1
	袖ヶ浦西	9	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	-	11.1
	袖ヶ浦東	3	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	津田沼	14	7.1	14.3	14.3	21.4	21.4	7.1	21.4	-	28.6	7.1
	鷺沼・鷺沼台	21	33.3	23.8	14.3	19.0	28.6	14.3	4.8	4.8	14.3	9.5
	藤崎	14	50.0	14.3	14.3	14.3	35.7	-	7.1	-	7.1	7.1
	大久保・泉・本大久保	23	39.1	34.8	17.4	26.1	13.0	8.7	17.4	4.3	8.7	4.3
	本大久保・花咲・屋敷	28	35.7	17.9	3.6	39.3	32.1	21.4	3.6	17.9	-	7.1
	実籾・新栄	13	30.8	30.8	30.8	15.4	15.4	30.8	15.4	23.1	7.7	15.4
	実花	9	44.4	11.1	11.1	-	-	11.1	22.2	22.2	-	11.1
	東習志野	17	64.7	23.5	35.3	11.8	5.9	23.5	5.9	5.9	11.8	17.6
	秋津・茜浜	8	37.5	25.0	37.5	12.5	-	12.5	25.0	12.5	-	-
香澄・芝園	4	75.0	-	50.0	-	-	-	-	25.0	-	-	
居住 年数別	1年未満	12	50.0	-	16.7	8.3	-	-	41.7	-	8.3	-
	1～5年未満	29	48.3	17.2	6.9	24.1	27.6	6.9	10.3	10.3	10.3	3.4
	5～10年未満	20	30.0	30.0	10.0	15.0	15.0	10.0	20.0	-	5.0	10.0
	10～20年未満	30	43.3	13.3	40.0	23.3	16.7	16.7	10.0	3.3	10.0	10.0
	20年以上	76	32.9	25.0	22.4	21.1	18.4	18.4	7.9	18.4	9.2	10.5
	生まれてからずっと	20	25.0	25.0	15.0	15.0	20.0	15.0	10.0	10.0	15.0	10.0

1-5 定住意向

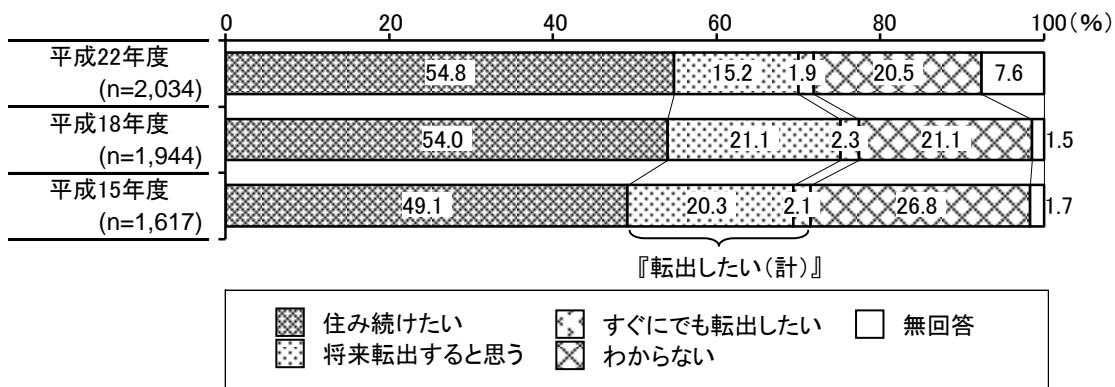
◎ 「住み続けたい」が5割半ば。

問3. あなたは、今後も現在のお住まいの場所に住み続けたいと思いますか。
(1つだけに○)

習志野市での定住意向を聞いたところ、「住み続けたい」が54.8%で最も多くなっている。「将来転出すると思う」の15.2%と「すぐにでも転出したい」の1.9%を合わせた『転出したい(計)』は17.1%となっている。

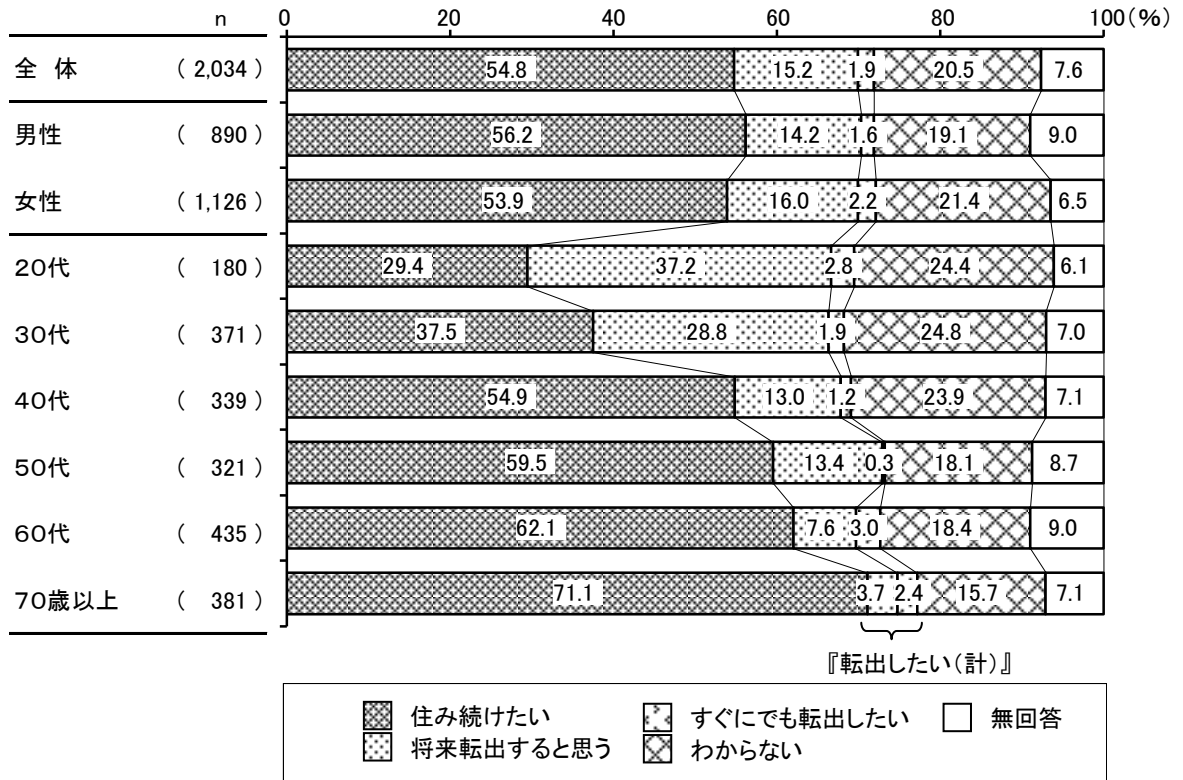
前回調査との推移をみると、「住み続けたい」は0.8ポイント高く、増加傾向となっている。『転出したい(計)』は6.3ポイント減少している。

図 1-5-1



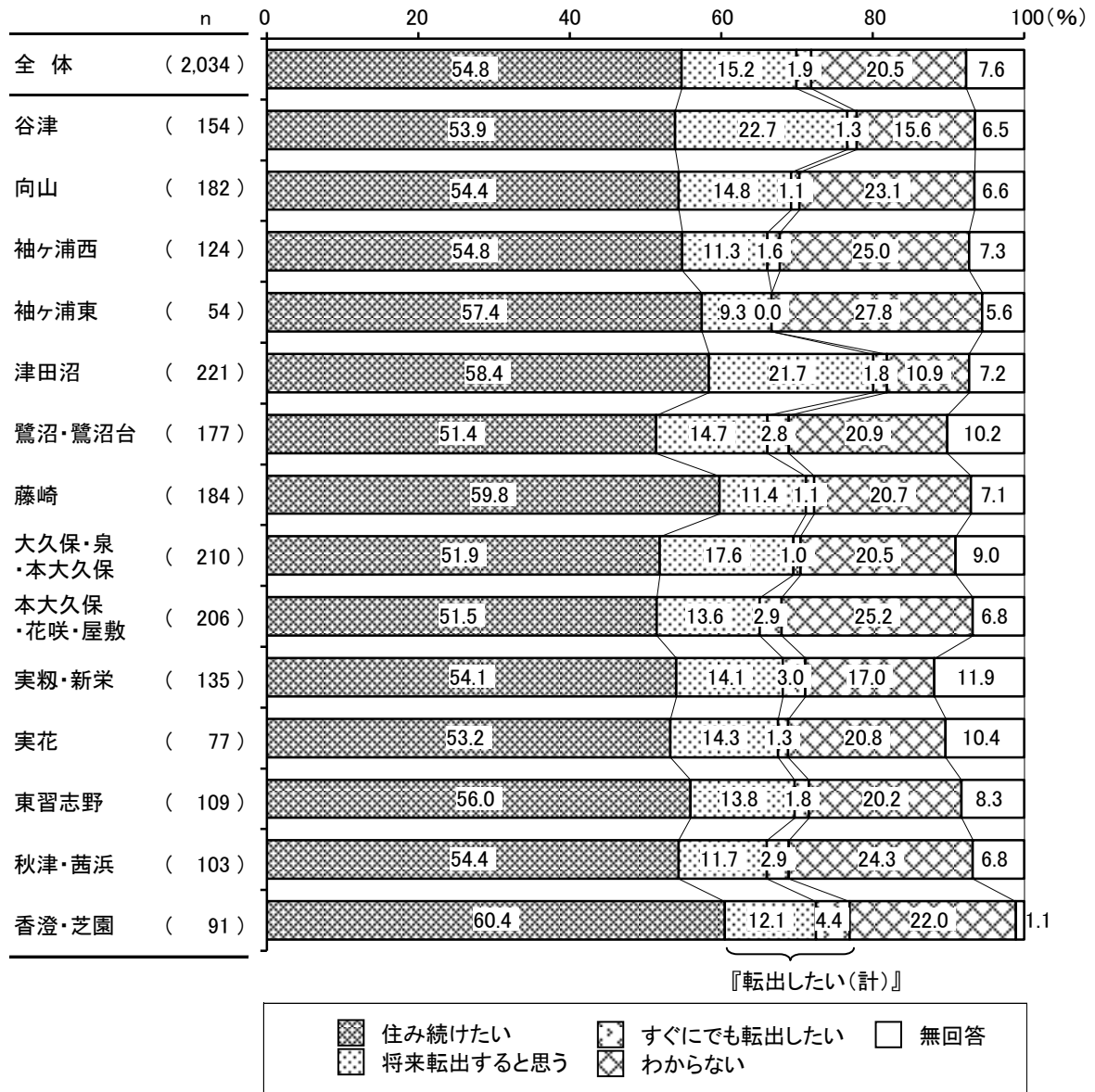
性別にみると、男性と女性との差はあまりみられない。
 年齢別にみると、「住み続けたい」は20代で3割弱と最も低いが、年齢が高くなるにつれて増加傾向となり、70歳以上では7割となっている。

図 1-5-2 定住意向：性別・年齢別



居住地区別にみると、「住み続けたい」は香澄・芝園と藤崎で6割、津田沼と袖ヶ浦東は5割後半と多くなっている。一方、『転出したい(計)』は谷津と津田沼で2割前半となっている。

図 1-5-3 定住意向：居住地区別



1-6 定住したい理由と転出したい理由

◎ 定住したい理由の3割は「愛着がある」、転出したい理由の2割は「家族の都合」と「仕事の都合」。

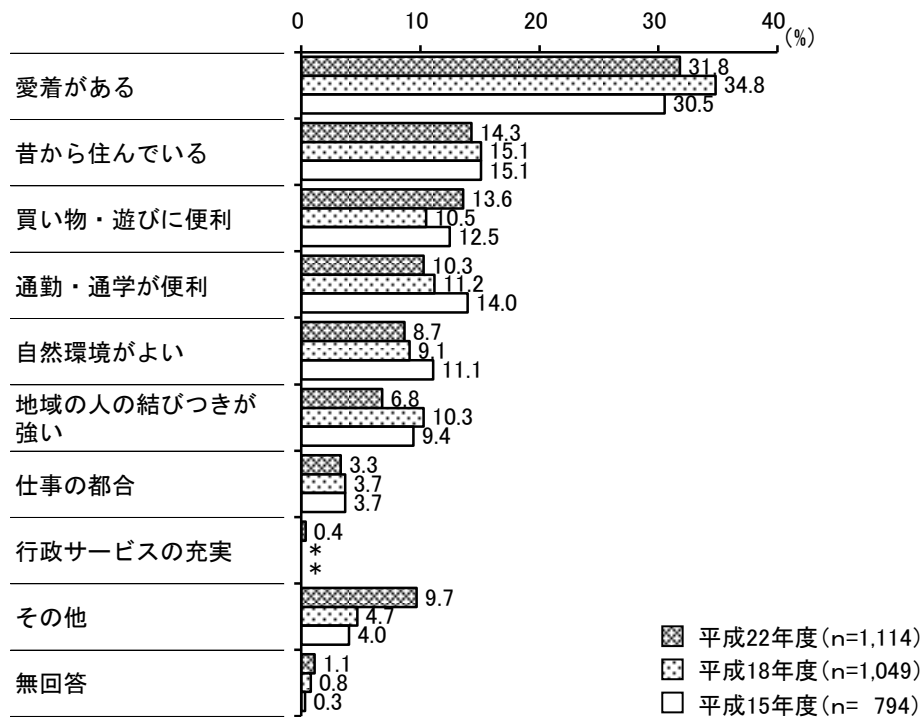
【問3で「住み続けたい」と答えた方に対して】

問3-1. 「住み続けたい」と思う理由は何ですか。(1つだけに○)

習志野市に住み続けたいと答えた1,114人に定住したい理由を聞いたところ、「愛着がある」が31.8%で最も多く、次いで、「昔から住んでいる」が14.3%となっている。

前回調査との推移をみると、「買い物・遊びに便利」が3.1ポイント増加しているが、「地域の人との結びつきが強い」が3.5ポイント減少している。

図 1-6-1



※「行政サービスの充実」は平成22年度より追加

第3章. 調査結果の分析

性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっているが、男性は「通勤・通学が便利」が4.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「自然環境がよい」は年齢が高くなるにつれて増加傾向となっている。「通勤・通学が便利」は20代から40代で2割弱と多くなっている。

居住地区別にみると、「愛着がある」は袖ヶ浦東で6割と最も多くなっている。「通勤・通学が便利」と「買い物・遊びに便利」は津田沼で2割以上、「自然環境がよい」は香澄・芝園で3割弱となっている。

居住年数別にみると、「自然環境が良い」は1年未満で3割となっている。居住年数が長くなるにつれて「愛着がある」は増加している。

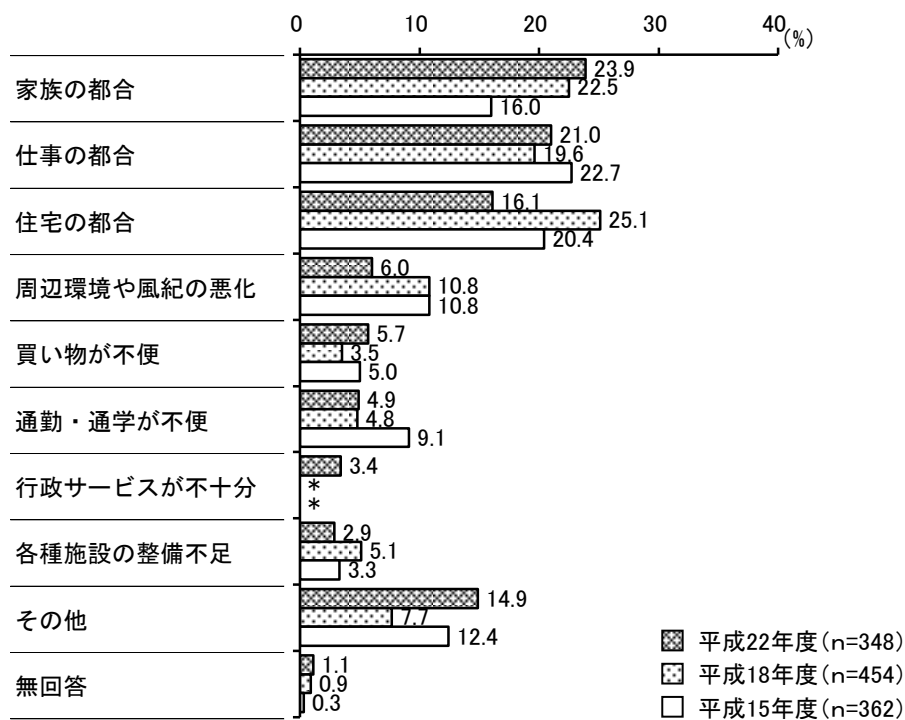
表 1-6-1 定住したい理由：性別・年齢別、居住地区別、居住年数別

		(%)										
		全 体	愛 着 が あ る	昔 か ら 住 ん で い る	通 勤 ・ 通 学 が 便 利	買 い 物 ・ 遊 び に 便 利	強 い 地 域 の 人 の 結 び つ き が	仕 事 の 都 合	自 然 環 境 が よ い	行 政 サ ー ビ ス の 充 実	そ の 他	無 回 答
全 体		1,114	31.8	14.3	10.3	13.6	6.8	3.3	8.7	0.4	9.7	1.1
性別・ 年齢別	男性	500	32.4	15.0	12.6	12.8	5.4	3.6	9.2	0.2	8.6	0.2
	女性	607	31.3	13.3	8.6	14.3	8.1	3.1	8.4	0.5	10.5	1.8
	20代	53	34.0	20.8	18.9	17.0	-	3.8	1.9	-	3.8	-
	30代	139	25.9	10.8	18.7	11.5	4.3	6.5	4.3	-	18.0	-
	40代	186	31.7	11.8	19.4	10.8	5.4	5.4	5.9	0.5	7.5	1.6
	50代	191	33.0	9.9	14.1	16.2	5.2	2.6	5.8	0.5	12.0	0.5
	60代	270	29.3	13.7	4.4	16.7	9.3	2.6	12.2	-	10.4	1.5
	70歳以上	271	36.5	19.6	1.5	11.1	8.9	1.5	12.9	0.7	5.9	1.5
居住 地区別	谷津	83	37.3	10.8	20.5	16.9	3.6	1.2	2.4	-	4.8	2.4
	向山	99	23.2	17.2	6.1	18.2	6.1	4.0	14.1	-	11.1	-
	袖ヶ浦西	68	32.4	14.7	5.9	17.6	7.4	2.9	10.3	-	8.8	-
	袖ヶ浦東	31	61.3	16.1	3.2	-	3.2	-	6.5	-	9.7	-
	津田沼	129	19.4	12.4	21.7	27.1	5.4	2.3	2.3	0.8	7.8	0.8
	鷺沼・鷺沼台	91	40.7	16.5	4.4	18.7	5.5	2.2	8.8	-	3.3	-
	藤崎	110	30.0	12.7	15.5	14.5	6.4	2.7	7.3	-	10.9	-
	大久保・泉・本大久保	109	39.4	11.0	6.4	11.0	4.6	1.8	8.3	1.8	12.8	2.8
	本大久保・花咲・屋敷	106	29.2	19.8	10.4	3.8	8.5	6.6	7.5	-	10.4	3.8
	実籾・新栄	73	41.1	20.5	8.2	1.4	12.3	2.7	8.2	-	4.1	1.4
	実花	41	29.3	14.6	2.4	17.1	7.3	7.3	-	-	22.0	-
	東習志野	61	31.1	9.8	4.9	13.1	8.2	6.6	6.6	1.6	16.4	1.6
	秋津・茜浜	56	25.0	12.5	10.7	7.1	5.4	5.4	17.9	-	16.1	-
	香澄・芝園	55	27.3	9.1	7.3	7.3	14.5	1.8	29.1	-	3.6	-
居住 年数別	1年未満	17	11.8	-	-	23.5	-	5.9	29.4	-	23.5	5.9
	1～5年未満	104	19.2	1.0	20.2	19.2	1.9	8.7	10.6	1.0	18.3	-
	5～10年未満	94	20.2	1.1	24.5	11.7	12.8	3.2	10.6	1.1	12.8	2.1
	10～20年未満	187	31.6	3.2	18.2	16.0	4.8	3.2	8.6	0.5	13.9	-
	20年以上	591	35.9	16.1	5.2	13.4	9.0	2.4	9.1	0.2	7.3	1.5
	生まれてからずっと	117	35.9	47.9	3.4	6.0	-	3.4	0.9	-	2.6	-

【問3で「将来転出すると思う」「すぐにでも転出したい」と答えた方に対して】
 問3-2. 「将来転出すると思う」「すぐにでも転出したい」と思う理由は何ですか。
 (1つだけに○)

習志野市から転出したいと答えた348人に転出したい理由を聞いたところ、「家族の理由」が23.9%で最も多く、次いで、「仕事の都合」が21.0%の順となっている。
 前回調査との推移をみると、「住宅の都合」が9.0ポイント、「周辺環境や風紀の悪化」が4.8ポイント減少し、「買い物が不便」が2.2ポイント増加している。

図 1-6-2



※「行政サービスが不十分」は平成22年度より追加

第3章. 調査結果の分析

性別にみると、男性は「仕事の都合」が 12.3 ポイント高く、女性は「家族の都合」が 11.7 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「仕事の都合」は 30 代で、「住宅の都合」は 60 代で、「家族の都合」は 70 歳以上で 3 割を超えている。

居住地区別にみると、「家族の都合」は向山と袖ヶ浦東で 4 割、「住宅の都合」は東習志野で 3 割半ば、「仕事の都合」は袖ヶ浦東で 4 割と多くなっている。

居住年数別にみると、「仕事の都合」は居住年数が 10 年未満の短期居住者で 3 割、10 年以上の長期居住者では「家族の都合」が 2 割以上となっている。

表 1-6-2 転出したい理由：性別・年齢別、居住地区別、居住年数別

		(%)										
		全 体	周 辺 環 境 や 風 紀 の 悪 化	住 宅 の 都 合	通 勤 ・ 通 学 が 不 便	買 い 物 が 不 便	各 種 施 設 の 整 備 不 足	家 族 の 都 合	仕 事 の 都 合	行 政 サ ー ビ ス が 不 十 分	そ の 他	無 回 答
全 体		348	6.0	16.1	4.9	5.7	2.9	23.9	21.0	3.4	14.9	1.1
性別・ 年齢別	男性	140	5.7	12.9	7.9	6.4	4.3	17.1	27.9	5.7	12.1	-
	女性	205	6.3	18.0	2.9	5.4	2.0	28.8	15.6	2.0	17.1	2.0
	20代	72	9.7	9.7	8.3	6.9	5.6	18.1	23.6	4.2	13.9	-
	30代	114	2.6	11.4	3.5	4.4	2.6	28.1	32.5	3.5	11.4	-
	40代	48	6.3	22.9	6.3	2.1	-	25.0	18.8	4.2	12.5	2.1
	50代	44	4.5	20.5	4.5	6.8	4.5	20.5	18.2	2.3	18.2	-
	60代	46	4.3	30.4	4.3	6.5	2.2	19.6	4.3	2.2	21.7	4.3
70歳以上	23	17.4	8.7	-	13.0	-	30.4	-	4.3	21.7	4.3	
居住地区別	谷津	37	2.7	10.8	5.4	2.7	5.4	13.5	32.4	2.7	24.3	-
	向山	29	-	10.3	3.4	-	-	41.4	27.6	3.4	13.8	-
	袖ヶ浦西	16	12.5	12.5	6.3	6.3	6.3	25.0	12.5	-	18.8	-
	袖ヶ浦東	5	-	20.0	-	-	-	40.0	40.0	-	-	-
	津田沼	52	5.8	17.3	3.8	-	5.8	23.1	25.0	3.8	15.4	-
	鷺沼・鷺沼台	31	6.5	12.9	6.5	16.1	3.2	12.9	19.4	3.2	16.1	3.2
	藤崎	23	4.3	13.0	8.7	8.7	4.3	13.0	17.4	13.0	17.4	-
	大久保・泉・本大久保	39	5.1	15.4	-	5.1	2.6	28.2	25.6	2.6	15.4	-
	本大久保・花咲・屋敷	34	8.8	17.6	8.8	14.7	2.9	29.4	14.7	-	2.9	-
	実籾・新栄	23	17.4	26.1	4.3	-	-	26.1	13.0	4.3	4.3	4.3
	実花	12	-	16.7	-	8.3	-	25.0	25.0	8.3	8.3	8.3
	東習志野	17	11.8	35.3	11.8	5.9	-	17.6	5.9	-	11.8	-
	秋津・茜浜	15	-	20.0	6.7	6.7	-	26.7	13.3	6.7	20.0	-
香澄・芝園	15	6.7	6.7	-	6.7	-	26.7	13.3	-	33.3	6.7	
居住年数別	1 年未満	30	10.0	10.0	10.0	3.3	3.3	20.0	33.3	6.7	3.3	-
	1～5 年未満	86	5.8	17.4	-	4.7	3.5	24.4	30.2	2.3	11.6	-
	5～10年未満	56	5.4	12.5	5.4	5.4	5.4	26.8	30.4	-	8.9	-
	10～20年未満	63	1.6	23.8	4.8	7.9	1.6	27.0	14.3	3.2	12.7	3.2
	20年以上	85	8.2	17.6	7.1	5.9	1.2	21.2	4.7	5.9	25.9	2.4
	生まれてからずっと	26	7.7	3.8	7.7	3.8	3.8	23.1	23.1	3.8	23.1	-

第2節 市政全般について

2-1 力を入れるべき施策

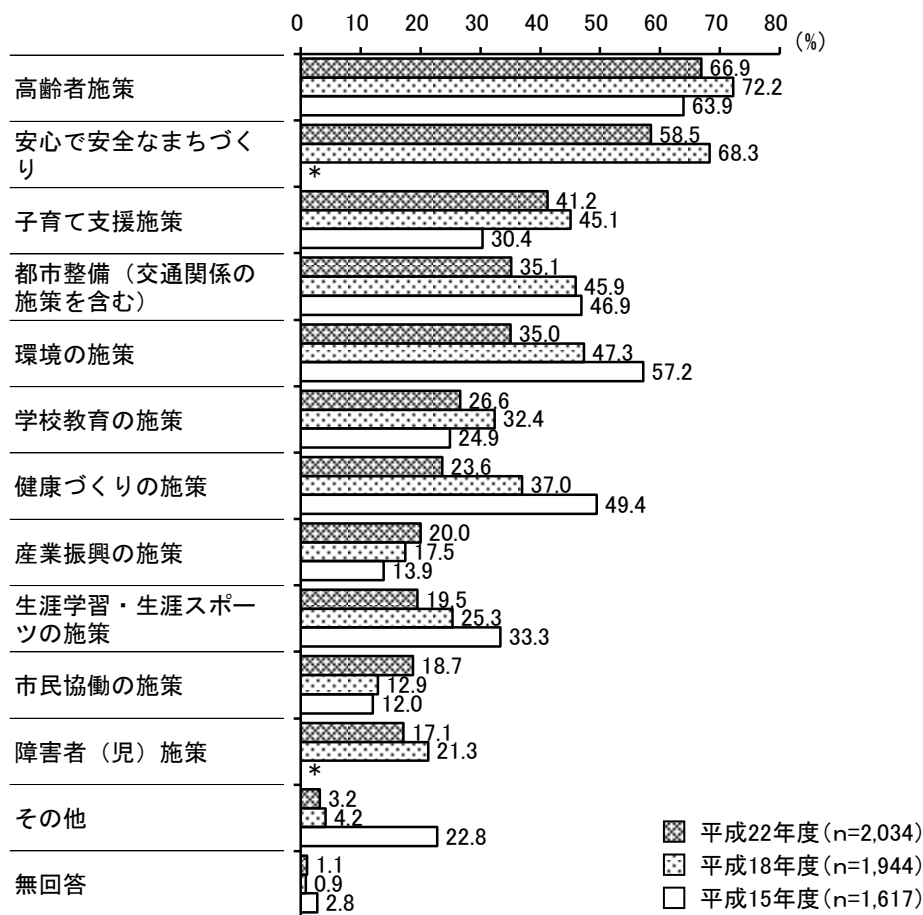
◎ 「高齢者施策」が6割半ば。

問4. 次の11の施策の中で特に重要だと思うものは何ですか。(1つだけに○)

習志野市として力を入れるべき施策を聞いたところ、「高齢者施策」が66.9%で最も多く、次いで、「安心して安全なまちづくり」が58.5%、「子育て支援施策」が41.2%の順となっている。

前回調査との推移をみると、「健康づくりの施策」は13.4ポイント、「環境の施策」は12.3ポイント、「都市整備（交通関係の施策を含む）」は10.8ポイント低くなっている。一方、「産業振興の施策」や「市民協働の施策」は増加傾向となっている。

図 2-1-1



※「安心して安全なまちづくり」「障害者（児）施策」は平成18年度より追加

第3章. 調査結果の分析

性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっているが、男性は「環境の施策」が5.5ポイント、「生涯学習・生涯スポーツの施策」が4.2ポイント高く、女性は「高齢者施策」が4.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、全年代で「安心で安全なまちづくり」が5割以上となっている。「子育て支援施策」は20代から30代で5割後半から6割後半、「学校教育の施策」と「都市整備（交通関係の施策を含む）」は30代で4割半ば、「環境の施策」は50代で4割と多くなっている。「高齢者施策」は特に60代から70歳以上で8割を超えている。

居住地区別にみると、「高齢者施策」は袖ヶ浦西で8割以上と多くなっている。「都市整備（交通関係の施策を含む）」は谷津で4割半ば、「環境の施策」は向山で4割、「健康づくりの施策」は袖ヶ浦東で3割後半、「学校教育の施策」は大久保・泉・本大久保と東習志野で3割となっている。

表 2-1-1 力を入れるべき施策：性別・年齢別、居住地区別

		全 体	高 齢 者 施 策	障 害 者 (児) 施 策	子 育 て 支 援 施 策	健 康 づ く り の 施 策	学 校 教 育 の 施 策	生 涯 学 習 ・ 生 涯 ス ポ ー ツ の 施 策	市 民 協 働 の 施 策	環 境 の 施 策	都 市 整 備 (交 通 関 係 の 施 策 を 含 む)	り 安 心 で 安 全 な ま ち づ く	産 業 振 興 の 施 策	そ の 他	(%) 無 回 答
全 体		2,034	66.9	17.1	41.2	23.6	26.6	19.5	18.7	35.0	35.1	58.5	20.0	3.2	1.1
性別・年齢別	男性	890	64.2	17.4	42.5	25.6	26.0	21.8	20.8	38.1	36.6	58.5	19.3	3.9	0.8
	女性	1,126	69.1	17.0	40.6	22.1	27.4	17.6	17.2	32.6	33.9	58.6	20.8	2.6	1.2
	20代	180	47.8	18.3	58.3	20.0	27.8	16.1	18.9	36.7	38.9	51.7	23.9	2.8	1.1
	30代	371	44.5	17.5	67.4	19.4	44.5	14.6	11.3	35.8	45.0	58.0	14.6	4.0	0.5
	40代	339	59.6	18.6	42.5	18.3	40.4	18.0	16.5	36.6	38.9	55.5	18.9	3.5	0.9
	50代	321	75.4	20.9	34.0	20.6	21.2	24.0	15.9	40.8	35.8	58.3	26.2	1.9	0.9
	60代	435	80.2	14.0	33.1	29.2	14.7	24.8	26.2	32.2	31.3	60.0	23.7	2.5	0.9
	70歳以上	381	81.9	15.2	22.3	30.2	15.0	16.8	21.3	29.9	24.1	63.3	15.0	4.2	2.1
居住地区別	谷津	154	58.4	12.3	39.6	26.6	24.0	22.7	14.3	37.7	45.5	58.4	12.3	5.8	1.3
	向山	182	68.1	18.7	36.3	23.6	26.4	17.6	17.0	41.2	38.5	58.8	19.2	2.2	0.5
	袖ヶ浦西	124	81.5	23.4	35.5	24.2	18.5	18.5	25.8	28.2	20.2	58.9	28.2	4.8	1.6
	袖ヶ浦東	54	74.1	13.0	35.2	38.9	27.8	24.1	16.7	20.4	16.7	61.1	20.4	-	-
	津田沼	221	63.3	17.2	41.6	20.8	25.8	24.9	20.4	35.3	33.5	57.5	25.3	5.0	1.4
	鷺沼・鷺沼台	177	68.4	22.0	35.0	22.6	20.9	17.5	16.4	37.3	37.9	53.1	15.8	2.3	1.1
	藤崎	184	64.1	12.0	46.7	25.5	29.3	19.0	17.9	34.8	41.3	57.1	18.5	2.7	1.1
	大久保・泉・本大久保	210	69.0	17.6	44.3	21.4	31.0	18.1	18.1	37.1	33.3	61.9	16.2	1.0	1.0
	本大久保・花咲・屋敷	206	62.1	15.5	43.2	19.9	27.7	20.9	18.9	37.9	43.7	56.3	20.4	4.9	2.4
	実榎・新栄	135	72.6	17.8	44.4	29.6	27.4	14.1	20.7	33.3	31.1	63.0	14.1	4.4	-
	実花	77	66.2	15.6	35.1	20.8	29.9	16.9	10.4	27.3	44.2	55.8	19.5	1.3	-
	東習志野	109	67.0	22.9	46.8	22.9	31.2	18.3	16.5	38.5	33.0	68.8	22.9	-	0.9
	秋津・茜浜	103	72.8	16.5	43.7	22.3	26.2	18.4	24.3	25.2	22.3	59.2	25.2	1.9	-
	香澄・芝園	91	57.1	12.1	42.9	23.1	29.7	22.0	24.2	34.1	27.5	52.7	29.7	5.5	2.2

2-2 具体的に取り組むべき施策

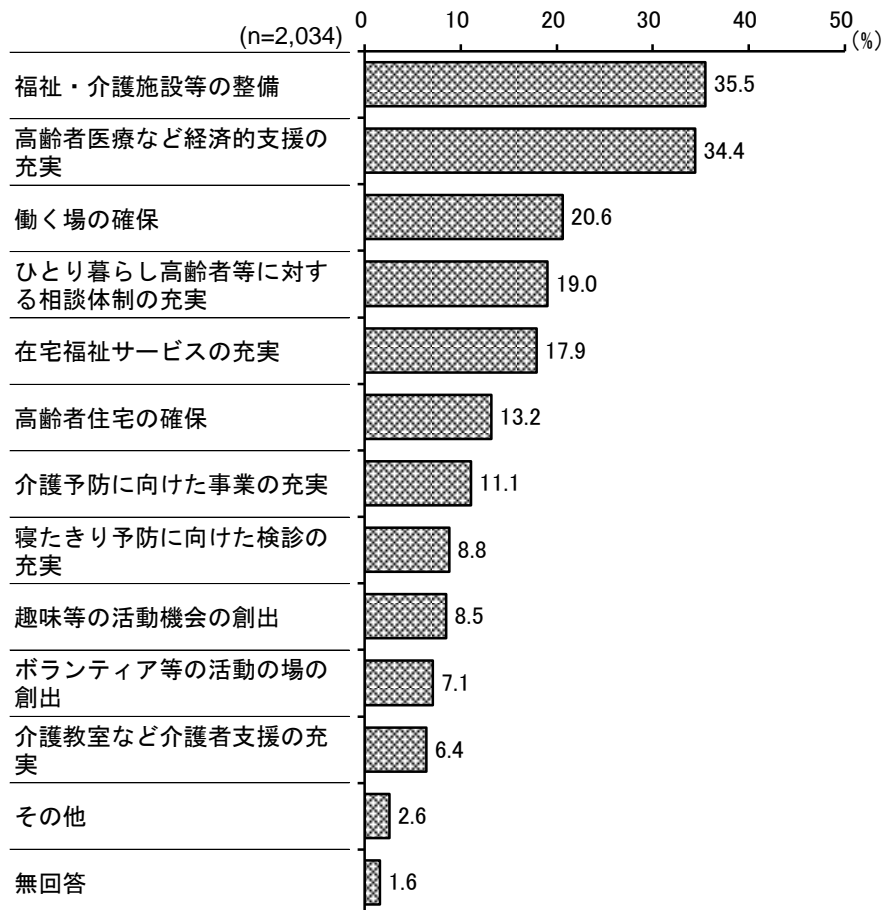
〔1〕 高齢者施策

◎ 「福祉・介護施設等の整備」が3割半ば。

問5. 高齢者施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

高齢者施策として取り組むべき施策を聞いたところ、「福祉・介護施設等の整備」が35.5%で最も多く、次いで、「高齢者医療など経済的支援の充実」が34.4%、「働く場の確保」が20.6%、「ひとり暮らし高齢者等に対する相談体制の充実」が19.0%の順となっている。

図 2-2-1



第3章. 調査結果の分析

性別にみると、男性は「働く場の確保」が 4.6 ポイント高く、女性は「ひとり暮らし高齢者等に対する相談体制の充実」が 6.1 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「福祉・介護施設等の整備」は全年代において 3 割以上を占め、50 代では 4 割と多くなっている。「働く場の確保」は 30 代で 3 割、「高齢者医療など経済的支援の充実」は 60 代で 4 割となっている。

居住地区別にみると、「高齢者住宅の確保」は袖ヶ浦西で 2 割前半、「在宅福祉サービスの充実」は袖ヶ浦東と秋津・茜浜で 2 割前半となっている。「福祉・介護施設等の整備」は鷺沼・鷺沼台で 4 割、「高齢者医療など経済的支援の充実」は向山と鷺沼・鷺沼台と香澄・芝園で 4 割と多くなっている。

表 2-2-1 高齢者施策：性別・年齢別、居住地区別

		(%)																
		全 体	高 齢 者 住 宅 の 確 保	働 く 場 の 確 保	出 趣 味 等 の 活 動 機 会 の 創 出	ボ ラ ン テ ィ ア 等 の 活 動	検 診 の 充 実	寝 た き り 予 防 に 向 け た	介 護 予 防 に 向 け た 事 業	実 在 宅 福 祉 サ ー ビ ス の 充 実	福 祉 ・ 介 護 施 設 等 の 整 備	支 援 の 充 実	高 齢 者 医 療 な ど 経 済 的 支 援 の 充 実	介 護 教 室 な ど 介 護 者 支 援 の 充 実	実 に 対 し る 相 談 体 制 の 充 実	ひ と り 暮 ら し 高 齢 者 等	そ の 他	無 回 答
全 体		2,034	13.2	20.6	8.5	7.1	8.8	11.1	17.9	35.5	34.4	6.4	19.0	2.6	1.6			
性別・年齢別	男性	890	14.0	23.3	11.0	8.9	8.2	10.7	16.6	35.8	34.3	4.9	15.7	1.6	1.8			
	女性	1,126	12.4	18.7	6.5	5.7	9.4	11.3	19.2	35.4	34.5	7.5	21.8	3.2	1.2			
	20代	180	13.3	25.0	10.0	9.4	8.9	7.2	16.7	30.0	27.2	10.0	20.0	5.6	0.6			
	30代	371	10.0	31.0	9.7	7.8	9.2	10.2	17.5	30.2	25.3	9.7	21.3	1.6	1.9			
	40代	339	12.1	23.9	5.9	8.6	9.4	7.4	21.8	37.8	33.6	8.3	16.5	2.1	1.8			
	50代	321	17.4	21.8	5.3	5.3	6.5	13.1	19.0	41.4	36.4	3.7	17.8	1.6	1.6			
	60代	435	15.4	17.2	9.7	6.9	7.6	11.3	17.5	35.4	40.9	4.6	18.4	3.4	0.9			
	70歳以上	381	10.8	8.4	10.0	5.8	11.3	14.7	15.5	37.0	37.8	4.2	19.9	2.4	2.4			
居住地区別	谷津	154	11.7	20.8	9.1	7.1	5.2	9.7	18.8	39.0	31.2	9.7	18.8	1.9	1.9			
	向山	182	14.8	25.3	4.9	8.8	6.0	10.4	15.9	32.4	40.1	7.1	18.7	3.3	1.1			
	袖ヶ浦西	124	23.4	29.0	3.2	7.3	2.4	10.5	15.3	31.5	39.5	2.4	16.9	2.4	2.4			
	袖ヶ浦東	54	9.3	5.6	13.0	11.1	14.8	11.1	24.1	37.0	31.5	11.1	22.2	1.9	1.9			
	津田沼	221	12.7	16.3	7.2	9.0	6.3	11.8	19.9	35.3	34.8	5.4	20.8	3.6	1.4			
	鷺沼・鷺沼台	177	10.7	22.0	6.8	3.4	12.4	11.3	15.3	40.7	40.7	7.9	12.4	1.1	1.7			
	藤崎	184	12.0	29.9	12.0	6.0	10.3	12.0	15.8	32.6	30.4	7.1	16.3	2.7	1.1			
	大久保・泉・本大久保	210	14.3	17.1	9.5	8.6	10.0	11.4	19.0	37.1	29.5	7.1	20.5	1.9	1.0			
	本大久保・花咲・屋敷	206	7.8	22.8	10.7	5.3	11.7	6.3	18.9	38.8	32.0	4.9	18.9	3.9	2.4			
	実籾・新栄	135	14.8	14.1	11.9	5.9	9.6	15.6	17.0	36.3	29.6	3.7	20.7	2.2	2.2			
	実花	77	10.4	18.2	10.4	6.5	11.7	15.6	18.2	31.2	35.1	5.2	18.2	2.6	1.3			
	東習志野	109	13.8	16.5	7.3	6.4	11.9	11.9	17.4	34.9	37.6	6.4	22.0	0.9	-			
	秋津・茜浜	103	17.5	13.6	7.8	11.7	3.9	10.7	23.3	35.9	31.1	8.7	25.2	1.0	1.0			
香澄・芝園	91	12.1	25.3	6.6	3.3	11.0	11.0	16.5	27.5	41.8	4.4	19.8	5.5	2.2				

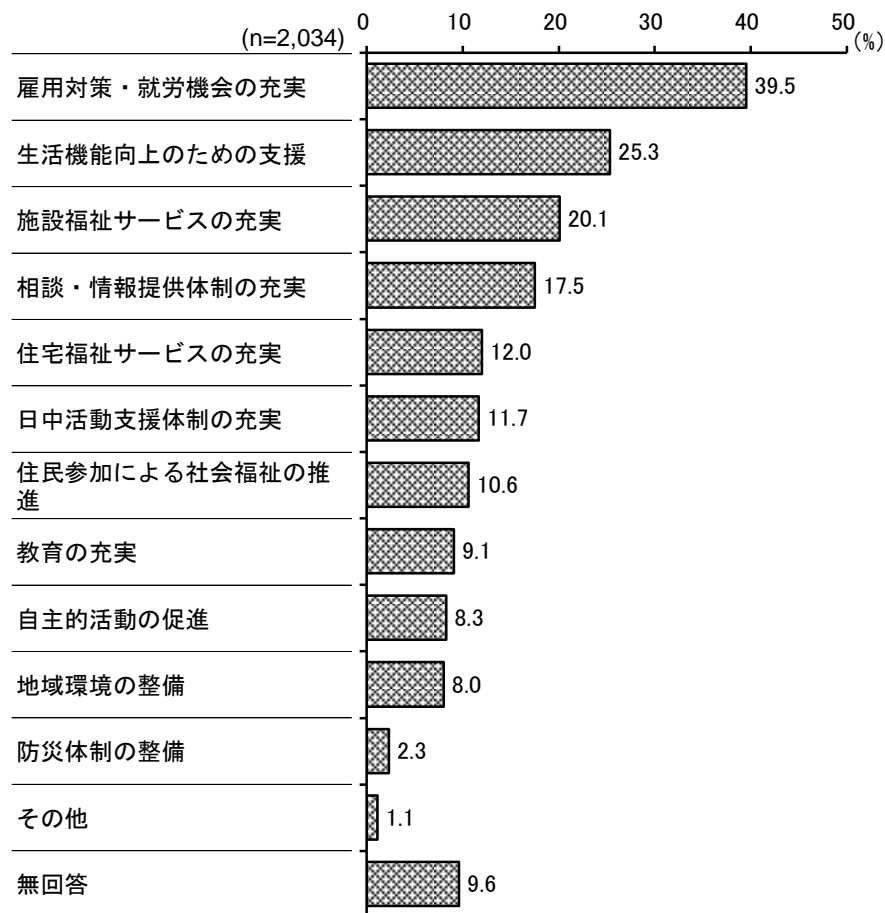
〔2〕 障害者（児）施策

◎ 「雇用対策・就労機会の充実」が4割弱。

問6. 障害者（児）施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。（〇は2つまで）

障害者（児）施策として取り組むべき施策を聞いたところ、「雇用対策・就労機会の充実」が39.5%で最も多く、次いで、「生活機能向上のための支援」が25.3%、「施設福祉サービスの充実」が20.1%、「相談・情報提供体制の充実」が17.5%の順となっている。

図 2-2-2



第3章. 調査結果の分析

性別にみると、男性と女性との差はあまりみられない。

年齢別にみると、「教育の充実」は若い年齢ほど割合が高く、年齢が高くなるにつれて減少傾向になっている。「雇用対策・就労機会の充実」は40代で4割半ば、「生活機能向上のための支援」は20代で約3割となっている。

居住地区別にみると、「雇用対策・就労機会の充実」は実花で5割弱、「施設福祉サービスの充実」は実榎・新栄で3割と多くなっている。「生活機能向上のための支援」は藤崎、東習志野、香澄・芝園で3割となっている。

表 2-2-2 障害者施策：性別・年齢別、居住地区別

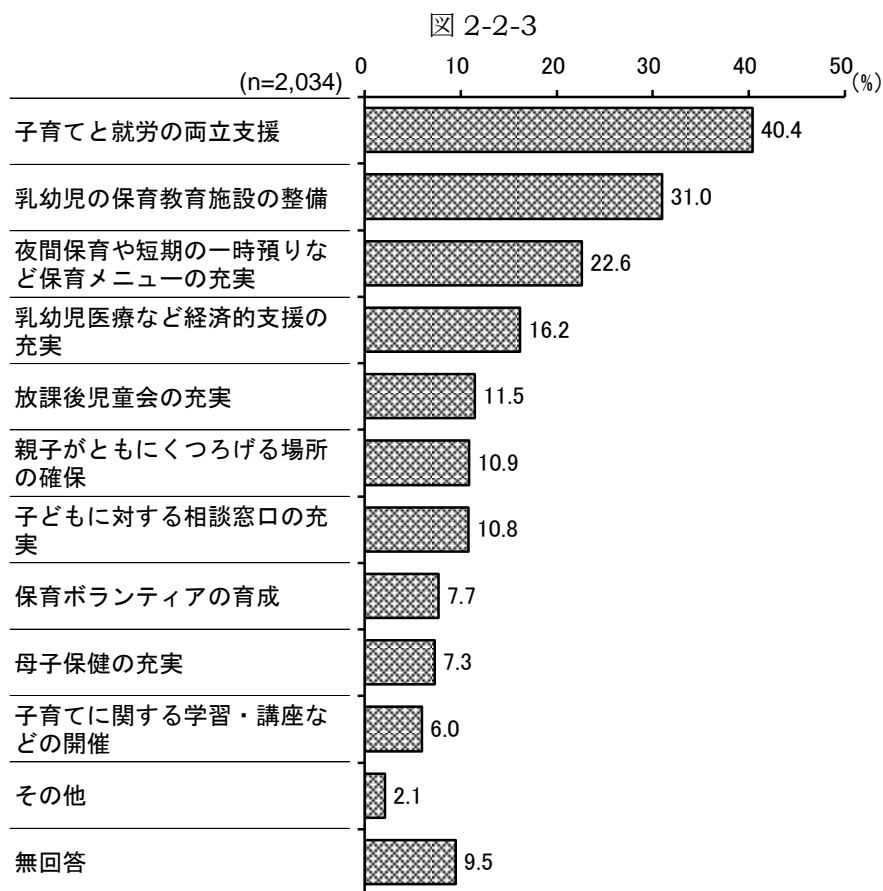
		全 体	社 住 民 の 推 参 加 に よ る 社 会 福 祉	充 相 実 談 ・ 情 報 提 供 体 制 の 充 実	実 在 宅 福 祉 サ ー ビ ス の 充 実	実 施 設 福 祉 サ ー ビ ス の 充 実	実 日 中 活 動 支 援 体 制 の 充 実	支 援 生 活 機 能 向 上 の た め の 充 実	充 雇 用 対 策 ・ 就 労 機 会 の 充 実	地 域 環 境 の 整 備	防 災 体 制 の 整 備	教 育 の 充 実	自 主 的 活 動 の 促 進	そ の 他	無 回 答
全 体		2,034	10.6	17.5	12.0	20.1	11.7	25.3	39.5	8.0	2.3	9.1	8.3	1.1	9.6
性 別 ・ 年 齢 別	男性	890	12.0	16.4	11.6	20.9	10.6	23.9	41.6	8.5	2.7	8.8	10.2	0.6	8.2
	女性	1,126	9.6	18.2	12.3	19.4	12.6	26.6	38.5	7.5	2.0	9.4	6.7	1.5	10.2
	20代	180	9.4	18.9	5.0	12.8	13.9	29.4	43.9	10.0	2.8	16.7	10.0	2.8	3.3
	30代	371	7.5	19.1	11.3	15.9	16.2	28.0	42.9	10.8	1.9	14.0	4.9	2.4	4.9
	40代	339	8.8	15.6	10.0	21.5	13.9	24.2	46.6	8.6	0.9	12.7	7.4	0.9	5.9
	50代	321	10.0	16.2	18.1	26.2	13.1	25.5	44.9	8.7	1.6	5.6	9.3	0.9	4.0
	60代	435	15.2	16.6	13.1	20.5	8.7	23.7	38.9	5.7	1.8	6.7	10.1	0.2	12.4
	70歳以上	381	11.0	18.1	11.3	20.7	6.3	23.6	24.7	5.5	5.0	3.1	8.7	0.3	22.0
居 住 地 区 別	谷津	154	7.8	21.4	9.7	21.4	14.3	23.4	39.0	6.5	3.9	10.4	3.9	1.3	8.4
	向山	182	12.1	15.4	16.5	21.4	9.3	26.9	40.1	10.4	1.6	6.6	9.3	-	7.7
	袖ヶ浦西	124	12.9	20.2	12.1	21.0	6.5	24.2	36.3	6.5	4.0	6.5	12.1	1.6	11.3
	袖ヶ浦東	54	13.0	20.4	14.8	20.4	11.1	22.2	35.2	5.6	-	7.4	1.9	1.9	14.8
	津田沼	221	10.0	15.8	6.3	17.2	14.9	24.9	41.6	11.8	2.7	7.2	11.8	3.2	8.6
	鷺沼・鷺沼台	177	11.9	20.9	11.3	22.0	11.9	20.9	36.7	9.6	2.8	10.2	6.8	1.1	9.6
	藤崎	184	11.4	15.2	11.4	19.6	9.2	32.1	38.6	8.7	0.5	13.6	10.3	0.5	7.1
	大久保・泉・本大久保	210	9.5	18.6	12.4	18.6	14.8	26.2	41.0	7.6	3.8	11.9	7.1	-	7.1
	本大久保・花咲・屋敷	206	11.7	17.5	12.6	19.4	11.2	20.9	41.7	7.3	2.9	8.3	4.9	1.5	11.2
	実榎・新栄	135	7.4	17.8	11.1	30.4	11.1	26.7	37.0	5.9	-	9.6	8.1	0.7	10.4
	実花	77	6.5	18.2	9.1	16.9	10.4	23.4	49.4	5.2	1.3	7.8	11.7	-	16.9
	東習志野	109	15.6	17.4	18.3	14.7	11.0	31.2	37.6	4.6	1.8	10.1	7.3	0.9	8.3
	秋津・茜浜	103	12.6	13.6	15.5	13.6	15.5	21.4	41.7	8.7	1.0	6.8	8.7	1.0	10.7
	香澄・芝園	91	5.5	12.1	11.0	24.2	9.9	30.8	36.3	5.5	3.3	5.5	11.0	1.1	12.1

〔3〕子育て支援施策

◎ 「子育てと就労の両立支援」が4割。

問7. 子育て支援施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

子育て支援施策として取り組むべき施策を聞いたところ、「子育てと就労の両立支援」が40.4%で最も多く、次いで、「乳幼児の保育教育施設の整備」が31.0%、「夜間保育や短期の一時預りなど保育メニューの充実」が22.6%、「乳幼児医療など経済的支援の充実」が16.2%の順となっている。



第3章. 調査結果の分析

性別にみると、男性と女性との差はあまりみられないが、男性の「乳幼児の保育教育施設の整備」が若干高くなっている。

年齢別にみると、「子育てと就労の両立支援」は20代から60代まで4割以上となっている。「夜間保育や短期の一時預りなど保育メニューの充実」は20代から50代で2割後半から3割を占め、「乳幼児医療など経済的支援の充実」は20代から30代で2割となっている。

居住地区別にみると、「乳幼児の保育教育施設の整備」は谷津と秋津・茜浜で3割半ば以上、「夜間保育や短期の一時預りなど保育メニューの充実」は津田沼で3割以上となっている。「乳幼児医療など経済的支援の充実」は鷺沼・鷺沼台と実花で2割以上となっている。

表 2-2-3 子育て支援施策：性別・年齢別、居住地区別

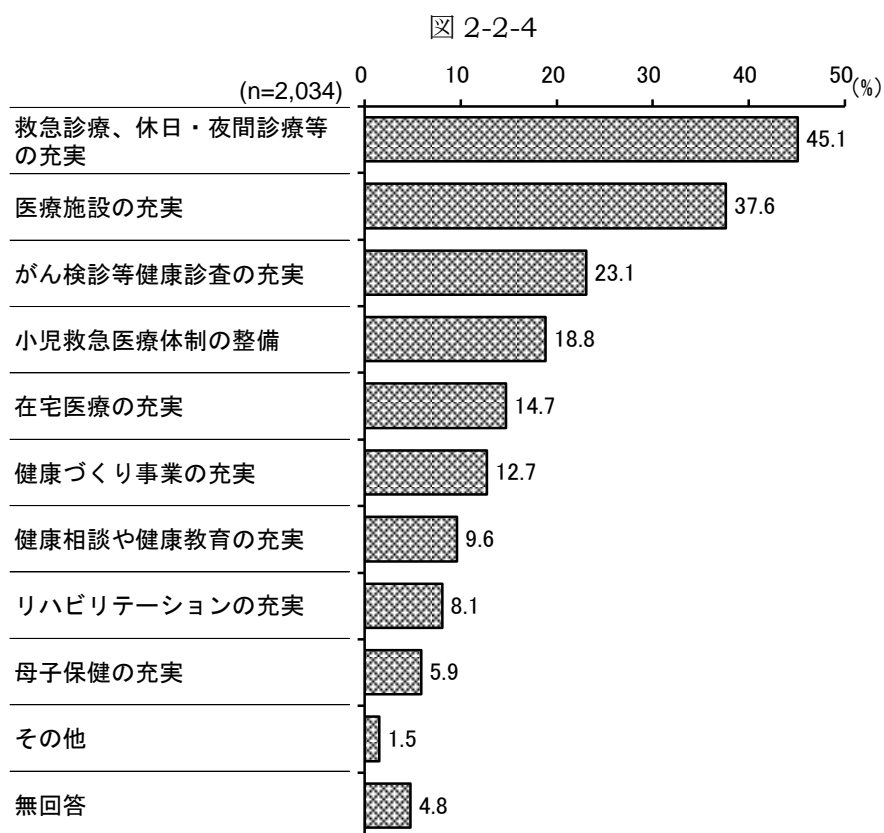
		(%)																
		全 体	の乳 幼児 の保 育教 育施 設 の 整 備	放 課 後 児 童 会 の 充 実	援 子 育 て と 就 労 の 両 立 支 援	母 子 保 健 の 充 実	預 り な ど 保 育 メ ニ ュ ー の 充 実	夜 間 保 育 や 短 期 の 一 時 預 り	成 育 ボ ラ ン テ ィ ア の 育 成	講 座 な ど の 開 催	子 育 に 関 する 学 習 ・ 講 座	親 子 が と も に く つ ろ げ る 場 所 の 確 保	口 の 充 実	子 ど も に 対 する 相 談 窓 口	支 援 の 充 実	乳 幼 児 医 療 な ど 経 済 的 支 援	そ の 他	無 回 答
全 体		2,034	31.0	11.5	40.4	7.3	22.6	7.7	6.0	10.9	10.8	16.2	2.1	9.5				
性別・年齢別	男性	890	32.5	10.8	40.1	7.2	22.2	7.4	7.1	12.0	10.3	15.5	2.1	8.8				
	女性	1,126	29.9	12.1	40.9	7.5	23.0	7.7	5.2	10.0	11.3	17.1	2.0	9.6				
	20代	180	35.6	6.1	41.7	13.9	28.3	5.0	11.1	14.4	7.8	21.1	1.1	1.1				
	30代	371	28.0	14.0	43.7	8.1	25.6	5.4	5.9	15.1	9.2	26.7	3.0	1.1				
	40代	339	29.2	16.2	41.9	5.0	31.3	6.5	3.2	11.5	5.3	17.7	3.2	5.6				
	50代	321	36.4	10.9	43.6	6.9	27.1	6.2	5.3	8.1	14.0	13.1	1.2	7.2				
	60代	435	34.0	10.1	43.4	6.0	16.6	11.0	5.7	8.3	12.6	12.9	1.6	11.3				
70歳以上	381	25.2	9.2	29.4	7.6	12.1	9.7	7.1	10.0	13.4	9.2	1.8	25.2					
居住地区別	谷津	154	35.7	14.9	40.3	10.4	21.4	8.4	5.8	13.0	11.7	13.6	1.3	7.1				
	向山	182	34.6	12.1	44.0	5.5	23.1	12.6	5.5	9.9	6.0	15.4	0.5	8.2				
	袖ヶ浦西	124	26.6	9.7	37.9	7.3	16.9	6.5	5.6	6.5	14.5	16.9	2.4	17.7				
	袖ヶ浦東	54	22.2	14.8	42.6	7.4	18.5	18.5	5.6	3.7	9.3	16.7	5.6	9.3				
	津田沼	221	29.4	12.2	38.0	5.4	31.7	5.9	5.0	11.8	11.8	17.2	3.2	7.2				
	鷺沼・鷺沼台	177	33.9	6.8	33.9	6.8	20.9	5.6	3.4	10.7	13.0	22.0	2.8	13.0				
	藤崎	184	31.0	11.4	42.9	7.6	19.6	7.1	7.1	15.2	10.3	16.8	2.2	7.1				
	大久保・泉・本大久保	210	32.9	9.0	41.9	8.1	24.8	7.6	4.3	17.6	8.1	11.9	1.0	7.1				
	本大久保・花咲・屋敷	206	29.6	13.1	39.8	7.3	24.8	6.8	9.2	5.3	10.7	14.6	2.9	9.7				
	実花・新栄	135	29.6	14.8	44.4	5.9	23.0	4.4	7.4	9.6	11.9	11.9	0.7	12.6				
	実花	77	28.6	10.4	35.1	5.2	15.6	10.4	3.9	13.0	11.7	24.7	-	11.7				
	東習志野	109	28.4	12.8	46.8	7.3	23.9	4.6	7.3	11.9	8.3	19.3	1.8	7.3				
	秋津・茜浜	103	38.8	9.7	43.7	10.7	17.5	5.8	8.7	4.9	12.6	15.5	1.0	8.7				
香澄・芝園	91	23.1	11.0	34.1	8.8	22.0	12.1	5.5	11.0	14.3	16.5	4.4	9.9					

〔4〕健康づくりの施策

◎ 「救急診療、休日・夜間診療等の充実」が4割半ば。

問8. 健康づくりの施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

健康づくり施策として取り組むべき施策を聞いたところ、「救急診療、休日・夜間診療等の充実」が45.1%で最も多く、次いで、「医療施設の充実」が37.6%、「がん検診等健康診査の充実」が23.1%、「小児救急医療体制の整備」が18.8%の順となっている。



第3章. 調査結果の分析

性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっているが、男性は「健康づくり事業の充実」が4.0ポイント高く、女性は「在宅医療の充実」が3.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「救急診療、休日・夜間診療等の充実」は20代と30代で5割を超えている。「小児救急医療体制の整備」は30代で3割前半、「医療施設の充実」は50代で4割半ばと多くなっている。

居住地区別にみると、「救急診療、休日・夜間診療等の充実」は東習志野で5割を超えている。「医療施設の充実」は実花で5割弱、香澄・芝園で4割半ば、「小児救急医療体制の整備」は東習志野で2割半ば、「在宅医療の充実」は袖ヶ浦東で2割半ばとなっている。

表 2-2-4 健康づくりの施策：性別・年齢別、居住地区別

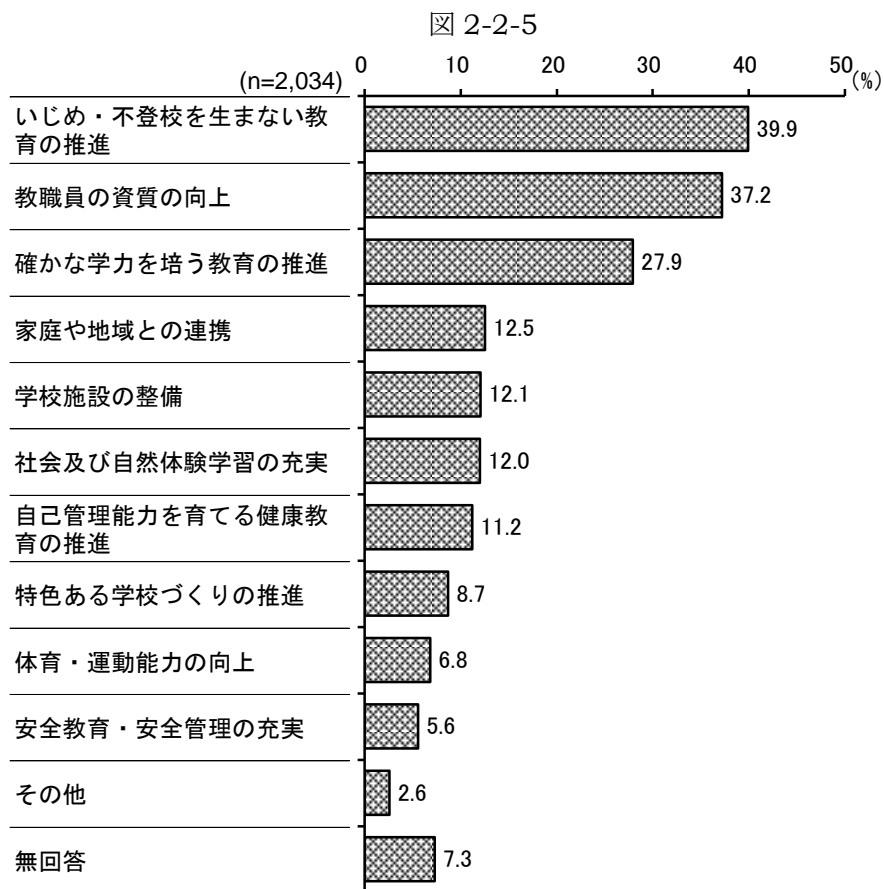
		全 体	母 子 保 健 の 充 実	備 小 児 救 急 医 療 体 制 の 整 備	充 が ん 検 診 等 健 康 診 査 の 充 実	充 健 康 相 談 や 健 康 教 育 の 充 実	健 康 づ く り 事 業 の 充 実	医 療 施 設 の 充 実	診 救 急 診 療 、 休 日 ・ 夜 間 診 療 等 の 充 実	の リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン の 充 実	在 宅 医 療 の 充 実	そ の 他	無 回 答
全 体		2,034	5.9	18.8	23.1	9.6	12.7	37.6	45.1	8.1	14.7	1.5	4.8
性 別 ・ 年 齢 別	男性	890	6.3	18.1	22.8	10.3	14.8	38.3	45.5	7.8	13.0	1.1	4.8
	女性	1,126	5.7	19.5	23.2	9.0	10.8	37.1	45.4	8.4	16.0	1.8	4.6
	20代	180	11.1	21.1	28.9	10.6	10.0	36.1	50.0	5.6	7.8	1.7	1.1
	30代	371	8.9	33.2	28.8	5.1	10.0	33.4	52.8	5.1	4.9	2.2	1.6
	40代	339	2.9	26.0	22.7	8.3	10.9	35.1	49.6	7.7	13.3	1.5	3.5
	50代	321	4.0	13.7	23.7	12.5	11.5	44.9	42.4	8.4	15.9	1.2	5.6
	60代	435	5.7	11.7	20.9	9.0	17.7	39.5	41.4	9.9	21.8	1.1	4.8
	70歳以上	381	5.0	9.7	16.5	12.9	13.4	36.0	38.6	10.5	19.9	1.6	10.2
居 住 地 区 別	谷津	154	5.8	16.9	20.1	13.0	16.2	38.3	40.9	7.1	16.2	1.3	4.5
	向山	182	7.1	19.2	23.6	9.3	12.1	36.3	47.3	11.0	13.2	1.1	3.3
	袖ヶ浦西	124	2.4	18.5	21.8	8.1	11.3	39.5	42.7	8.9	16.1	1.6	8.1
	袖ヶ浦東	54	9.3	13.0	29.6	9.3	5.6	29.6	46.3	7.4	25.9	3.7	5.6
	津田沼	221	6.3	19.0	24.4	9.5	12.7	38.5	43.9	9.5	10.9	2.3	3.2
	鷺沼・鷺沼台	177	9.6	18.6	25.4	10.7	14.1	39.5	37.9	7.3	13.6	1.1	4.0
	藤崎	184	8.2	21.2	21.7	7.6	12.0	39.1	45.7	9.2	14.7	-	2.7
	大久保・泉・本大久保	210	5.7	19.0	26.7	12.4	14.3	32.9	46.7	7.6	13.8	1.4	3.3
	本大久保・花咲・屋敷	206	4.9	18.0	25.2	5.3	11.7	37.9	46.6	8.7	14.6	4.4	4.4
	実籾・新栄	135	5.2	16.3	16.3	9.6	14.1	33.3	49.6	7.4	17.8	0.7	8.9
	実花	77	6.5	23.4	15.6	14.3	5.2	49.4	45.5	6.5	9.1	-	7.8
	東習志野	109	4.6	25.7	23.9	7.3	11.0	35.8	51.4	10.1	11.9	-	3.7
	秋津・茜浜	103	1.9	12.6	22.3	10.7	17.5	35.9	43.7	3.9	22.3	1.0	8.7
香澄・芝園	91	3.3	20.9	22.0	8.8	12.1	44.0	48.4	4.4	14.3	2.2	5.5	

〔5〕 学校教育の施策

◎ 「いじめ・不登校を生まない教育の推進」が4割。

問9. 学校教育の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

学校教育施策として取り組むべき施策を聞いたところ、「いじめ・不登校を生まない教育の整備」が39.9%で最も多く、次いで、「教職員の資質の向上」が37.2%、「確かな学力を培う教育の推進」が27.9%の順となっている。



第3章. 調査結果の分析

性別にみると、男性は「特色ある学校づくりの推進」が4.6ポイント高く、女性は「学校施設の整備」が4.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「確かな学力を培う教育の推進」が40代と60代で3割、「いじめ、不登校を生まない教育の推進」は30代と50代以上で4割以上となっている。

居住地区別にみると、「教職員の資質の向上」は袖ヶ浦東と東習志野、秋津・茜浜で4割以上、「確かな学力を培う教育の推進」は袖ヶ浦東で3割後半となっている。

「いじめ、不登校を生まない教育の推進」は谷津、鷺沼・鷺沼台、本大久保・花咲・屋敷、実籾・新栄及び東習志野で4割以上、津田沼では5割弱となっている。

表 2-2-5 学校教育の施策：性別・年齢別、居住地区別

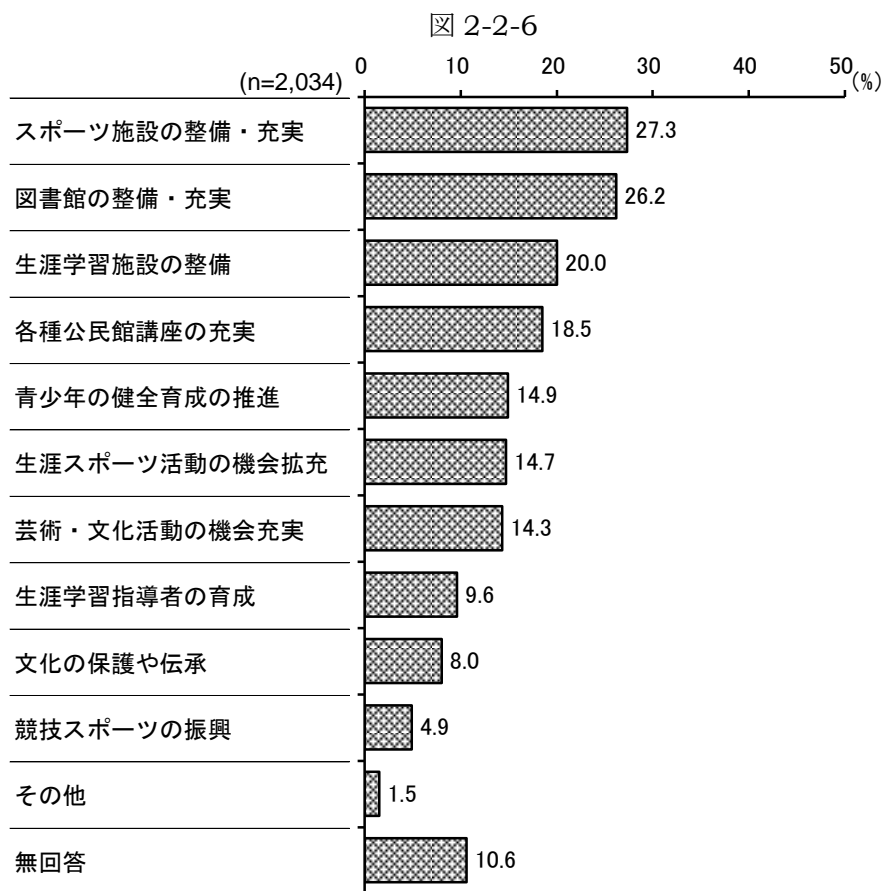
		(%)													
		全 体	学 校 施 設 の 整 備	確 かな 学 力 を 培 う 教 育	社 会 及 び 自 然 体 験 学 習	体 育 ・ 運 動 能 力 の 向 上	教 職 員 の 資 質 の 向 上	健 康 教 育 の 推 進	自 己 管 理 能 力 を 育 て る	推 進 特 色 あ る 学 校 づ く り の	充 実 安 全 教 育 ・ 安 全 管 理 の	い じ め、 不 登 校 を 生 ま ない 教 育 の 推 進	家 庭 や 地 域 と の 連 携	そ の 他	無 回 答
全 体		2,034	12.1	27.9	12.0	6.8	37.2	11.2	8.7	5.6	39.9	12.5	2.6	7.3	
性別・年齢別	男性	890	9.9	28.4	13.0	8.4	35.5	10.9	11.2	5.3	38.4	14.0	2.7	6.6	
	女性	1,126	13.9	27.9	11.3	5.7	38.5	11.6	6.6	5.7	41.3	11.4	2.4	7.4	
	20代	180	13.9	27.8	15.6	10.0	33.3	10.6	12.2	8.3	31.1	16.7	4.4	0.6	
	30代	371	15.9	27.5	16.4	10.5	32.6	11.1	8.6	6.5	42.0	13.7	3.0	2.2	
	40代	339	17.4	31.0	8.8	6.8	43.4	10.0	9.4	5.6	34.2	11.5	3.2	4.7	
	50代	321	14.0	25.2	10.3	6.5	40.8	12.1	6.2	4.0	43.6	13.4	2.8	4.7	
	60代	435	6.4	30.1	13.8	3.7	39.5	13.1	8.5	4.4	43.0	10.8	1.8	9.2	
	70歳以上	381	7.6	25.7	8.4	5.8	32.3	10.0	8.4	6.0	40.4	11.0	1.3	17.6	
居住地区別	谷津	154	8.4	24.7	11.7	12.3	39.0	13.0	3.9	3.2	42.2	14.3	3.9	6.5	
	向山	182	7.7	29.1	14.3	7.7	37.4	11.0	10.4	8.8	36.3	11.5	0.5	8.8	
	袖ヶ浦西	124	11.3	22.6	13.7	5.6	33.1	15.3	9.7	7.3	35.5	13.7	2.4	9.7	
	袖ヶ浦東	54	7.4	37.0	5.6	3.7	42.6	18.5	11.1	7.4	35.2	3.7	3.7	7.4	
	津田沼	221	14.9	30.3	6.8	5.4	35.3	12.7	5.4	4.1	49.8	13.1	3.2	5.0	
	鷺沼・鷺沼台	177	13.0	22.0	9.6	7.9	37.3	12.4	10.7	4.5	42.9	12.4	1.7	7.9	
	藤崎	184	17.9	33.2	14.7	7.1	35.9	8.7	8.2	6.0	32.6	10.3	3.3	5.4	
	大久保・泉・本大久保	210	14.3	27.6	11.4	7.6	37.6	10.0	11.9	7.1	35.7	13.3	2.4	6.2	
	本大久保・花咲・屋敷	206	13.6	30.6	11.7	5.8	35.9	12.6	8.3	5.3	44.7	10.7	3.9	4.9	
	実籾・新栄	135	11.9	26.7	15.6	3.7	36.3	7.4	7.4	4.4	40.0	13.3	1.5	13.3	
	実花	77	11.7	29.9	11.7	10.4	31.2	10.4	14.3	3.9	35.1	7.8	-	11.7	
	東習志野	109	13.8	22.9	12.8	6.4	43.1	11.0	5.5	5.5	44.0	18.3	2.8	4.6	
	秋津・茜浜	103	7.8	27.2	14.6	1.9	40.8	10.7	7.8	5.8	39.8	14.6	2.9	5.8	
	香澄・芝園	91	6.6	31.9	15.4	8.8	39.6	5.5	11.0	4.4	36.3	11.0	3.3	8.8	

〔6〕生涯学習・生涯スポーツの施策

◎ 「スポーツ施設の整備・充実」が2割後半。

問10. 生涯学習・生涯スポーツの施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つだけ)

生涯学習・生涯スポーツ施策として取り組むべき施策を聞いたところ、「スポーツ施設の整備・充実」が27.3%で最も多く、次いで、「図書館の整備・充実」が26.2%、「生涯学習施設の整備」が20.0%、「各種公民館講座の充実」が18.5%の順となっている。



第3章. 調査結果の分析

性別にみると、男性は「スポーツ施設の整備・充実」が6.9ポイント高く、女性は「各種公民館講座の充実」が9.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「生涯学習施設の整備」は60代で2割半ば、「スポーツ施設の整備・充実」は20代から40代で3割後半ば、「青少年の健全育成の推進」は70歳以上で2割半ばとなっている。「図書館の整備・充実」は年齢が高くなるにつれて減少傾向となっている。

居住地区別にみると、「スポーツ施設の整備・充実」は谷津と大久保・泉・本大久保で3割以上、「図書館の整備・充実」は津田沼と本大久保・花咲・屋敷で3割前半、「各種公民館講座の充実」は袖ヶ浦東で3割弱と多くなっている。

表 2-2-6 生涯学習・生涯スポーツの施策：性別・年齢別、居住地区別

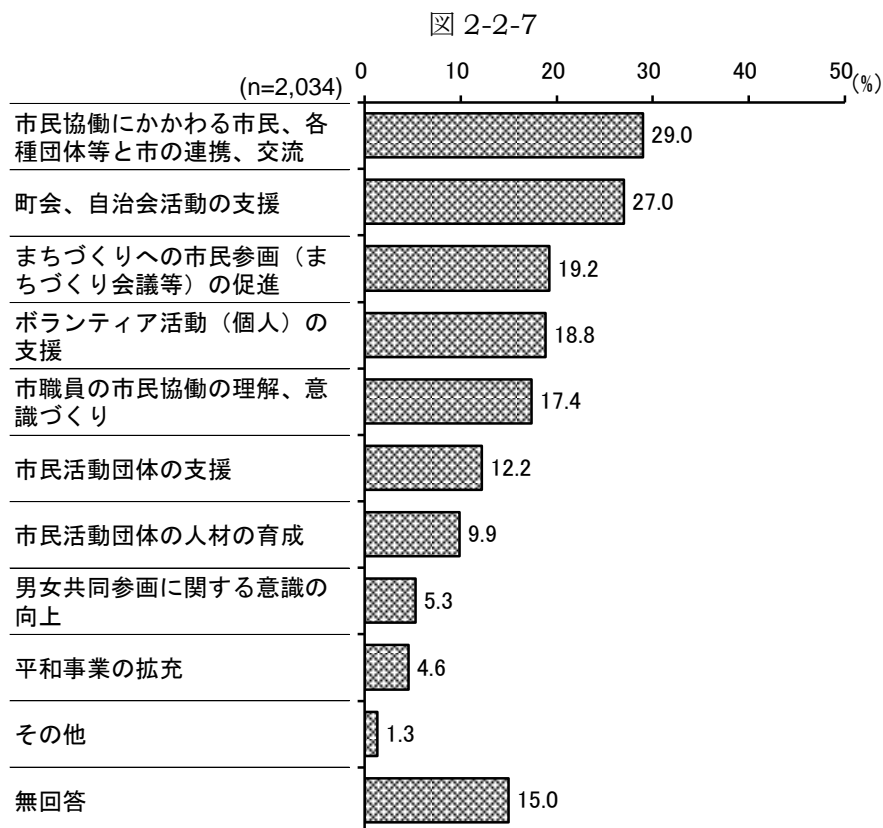
		全 体	各 種 公 民 館 講 座 の 充 実	生 涯 学 習 施 設 の 整 備	充 実 ス ポ ー ツ 施 設 の 整 備	図 書 館 の 整 備 ・ 充 実	芸 術 ・ 文 化 活 動 の 機 会	文 化 の 保 護 や 伝 承	生 涯 学 習 指 導 者 の 育 成	会 生 涯 ス ポ ー ツ 活 動 の 機 会	競 技 ス ポ ー ツ の 振 興	進 青 少 年 の 健 全 育 成 の 推 進	そ の 他	無 回 答
全 体		2,034	18.5	20.0	27.3	26.2	14.3	8.0	9.6	14.7	4.9	14.9	1.5	10.6
性別・年齢別	男性	890	13.4	19.9	31.2	24.9	15.1	8.1	10.7	16.3	6.7	14.8	1.6	10.1
	女性	1,126	22.7	20.2	24.3	27.2	13.5	8.0	8.8	13.5	3.5	15.2	1.4	10.7
	20代	180	12.8	13.9	38.3	33.3	17.2	11.7	4.4	16.7	9.4	10.6	2.2	3.9
	30代	371	18.9	14.6	39.9	33.2	14.0	8.4	7.5	12.7	7.8	9.4	1.9	5.9
	40代	339	17.1	19.8	37.8	30.7	16.2	7.1	5.6	14.7	6.8	8.8	1.8	6.5
	50代	321	16.5	23.4	26.8	28.7	14.0	8.7	9.7	18.1	2.5	13.4	1.6	9.7
	60代	435	22.1	26.0	17.2	18.6	15.9	7.1	10.3	17.5	3.0	18.9	0.7	12.2
	70歳以上	381	20.2	18.4	12.9	17.8	9.4	7.1	16.5	9.7	2.4	24.9	1.6	21.3
居住地区別	谷津	154	21.4	15.6	37.0	27.3	13.0	9.1	7.1	13.6	4.5	15.6	1.9	7.1
	向山	182	17.0	20.9	27.5	25.3	17.0	7.7	12.1	15.9	3.8	14.8	1.1	10.4
	袖ヶ浦西	124	22.6	20.2	21.0	20.2	19.4	6.5	11.3	13.7	2.4	11.3	0.8	16.1
	袖ヶ浦東	54	29.6	16.7	16.7	25.9	13.0	7.4	11.1	16.7	9.3	11.1	1.9	9.3
	津田沼	221	19.9	21.7	26.2	34.4	12.2	6.8	8.6	13.1	5.0	14.0	2.7	6.8
	鷺沼・鷺沼台	177	12.4	20.3	25.4	25.4	14.7	9.0	9.0	11.9	6.2	18.1	0.6	14.1
	藤崎	184	14.7	26.1	28.3	27.2	14.1	10.3	8.7	16.3	4.9	12.0	1.6	8.2
	大久保・泉・本大久保	210	19.5	21.0	31.4	23.3	12.9	7.6	11.9	14.8	2.9	12.9	1.4	9.5
	本大久保・花咲・屋敷	206	18.9	21.4	27.7	32.5	15.0	6.3	11.2	12.1	4.4	15.0	1.9	8.7
	実籾・新栄	135	14.1	17.8	28.9	20.7	8.9	8.9	8.9	18.5	3.7	18.5	0.7	16.3
	実花	77	13.0	10.4	28.6	16.9	14.3	9.1	10.4	16.9	11.7	18.2	1.3	19.5
	東習志野	109	18.3	17.4	29.4	22.9	11.9	7.3	10.1	16.5	5.5	18.3	0.9	10.1
	秋津・茜浜	103	24.3	20.4	19.4	28.2	14.6	9.7	8.7	17.5	1.9	15.5	1.9	9.7
	香澄・芝園	91	24.2	18.7	23.1	24.2	20.9	4.4	2.2	14.3	8.8	16.5	2.2	9.9

〔7〕 市民協働の施策

- ◎ 「市民協働にかかわる市民、市民活動団体、企業・学校と市の連携、交流」が3割弱。

問11. 市民協働の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つだけ)

市民協働施策として取り組むべき施策を聞いたところ、「市民協働にかかわる市民、市民活動団体、企業・学校と市の連携、交流」が29.0%で最も多く、次いで、「町会、自治会活動の支援」が27.0%、「まちづくりへの市民参画（まちづくり会議等）の促進」が19.2%、「ボランティア活動（個人）の支援」が18.8%の順となっている。



第3章. 調査結果の分析

性別にみると、男性は「市職員の市民協働の理解、意識づくり」が 6.0 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「町会、自治会活動の支援」は 60 代で 3 割弱、70 歳以上で 3 割前半となっている。「ボランティア活動（個人）の支援」は 40 代で 2 割前半、「まちづくりへの市民参画（まちづくり会議等）の促進」は 20 代で 2 割半ば、「市民協働にかかわる市民、市民活動団体、企業・学校と市の連携、交流」は 30 代から 50 代で 3 割前半となっている。

居住地区別にみると、「町会、自治会活動の支援」は藤崎で 3 割半ば、大久保・泉・本大久保、本大久保・花咲・屋敷及び実籾・新栄で 3 割以上と多くなっている。「市民活動団体の支援」は津田沼で 2 割、「ボランティア活動（個人）の支援」は向山、大久保・泉・本大久保及び秋津・茜浜で 2 割となっている。

表 2-2-7 市民協働の施策：性別・年齢別、居住地区別

		(%)														
		全体	援町会、自治会活動の支援	市民活動団体の支援	市民活動団体の人材の育成	ボランティア活動（個人）の支援	等（まちづくり会議等）の促進	画（まちづくり会議等）の促進	携、交流	民、団体等と市の連携	市協働にかかわる市の理解、意識づくり	市職員の市民協働の理解、意識の向上	男女共同参画に関する意識の向上	平和事業の拡充	その他	無回答
全体		2,034	27.0	12.2	9.9	18.8	19.2	29.0	17.4	5.3	4.6	1.3	15.0			
性別・年齢別	男性	890	28.8	10.9	10.8	20.6	20.8	29.6	20.8	6.1	4.2	1.7	12.0			
	女性	1,126	25.7	13.2	9.3	17.4	17.8	29.0	14.8	4.8	4.8	1.1	17.0			
	20代	180	22.2	10.6	5.0	18.9	26.1	27.2	23.3	10.0	6.7	2.2	8.9			
	30代	371	26.4	10.8	7.3	18.1	20.2	32.1	17.0	4.6	4.9	2.2	12.9			
	40代	339	21.2	11.8	9.1	23.0	21.5	33.3	15.3	5.0	3.5	0.9	13.6			
	50代	321	25.5	14.6	9.3	18.4	19.0	33.6	16.2	4.7	2.8	1.6	15.3			
	60代	435	29.4	13.3	13.6	19.5	17.0	26.7	17.9	5.7	3.7	1.1	16.3			
	70歳以上	381	33.6	11.3	11.8	15.2	15.5	21.3	17.1	4.2	6.8	0.5	19.4			
居住地区別	谷津	154	28.6	13.0	6.5	17.5	17.5	32.5	18.8	4.5	5.2	1.9	12.3			
	向山	182	24.2	8.8	15.4	22.0	20.3	28.6	16.5	6.6	7.1	-	13.7			
	袖ヶ浦西	124	24.2	13.7	8.1	18.5	18.5	23.4	11.3	6.5	2.4	0.8	24.2			
	袖ヶ浦東	54	18.5	14.8	13.0	18.5	14.8	31.5	16.7	5.6	1.9	1.9	16.7			
	津田沼	221	20.8	20.8	10.0	19.5	19.0	31.7	18.1	4.5	4.5	3.2	10.9			
	鷺沼・鷺沼台	177	23.7	11.3	9.6	15.8	20.3	28.2	16.9	7.3	6.2	1.7	17.5			
	藤崎	184	35.3	11.4	8.7	15.8	16.8	33.2	20.1	4.3	5.4	0.5	12.5			
	大久保・泉・本大久保	210	30.5	11.4	10.0	21.4	21.0	24.8	21.0	4.8	1.9	0.5	11.4			
	本大久保・花咲・屋敷	206	30.1	12.1	8.7	19.4	20.4	30.6	17.0	6.3	1.5	1.5	13.1			
	実籾・新栄	135	34.1	8.1	14.1	17.8	17.8	25.9	14.8	3.7	8.1	0.7	17.0			
	実花	77	29.9	3.9	9.1	19.5	20.8	32.5	19.5	1.3	1.3	1.3	19.5			
	東習志野	109	26.6	14.7	10.1	18.3	17.4	26.6	16.5	8.3	10.1	-	12.8			
	秋津・茜浜	103	24.3	13.6	7.8	20.4	18.4	27.2	21.4	4.9	2.9	1.9	13.6			
香澄・芝園	91	19.8	7.7	6.6	17.6	24.2	28.6	9.9	4.4	4.4	3.3	27.5				

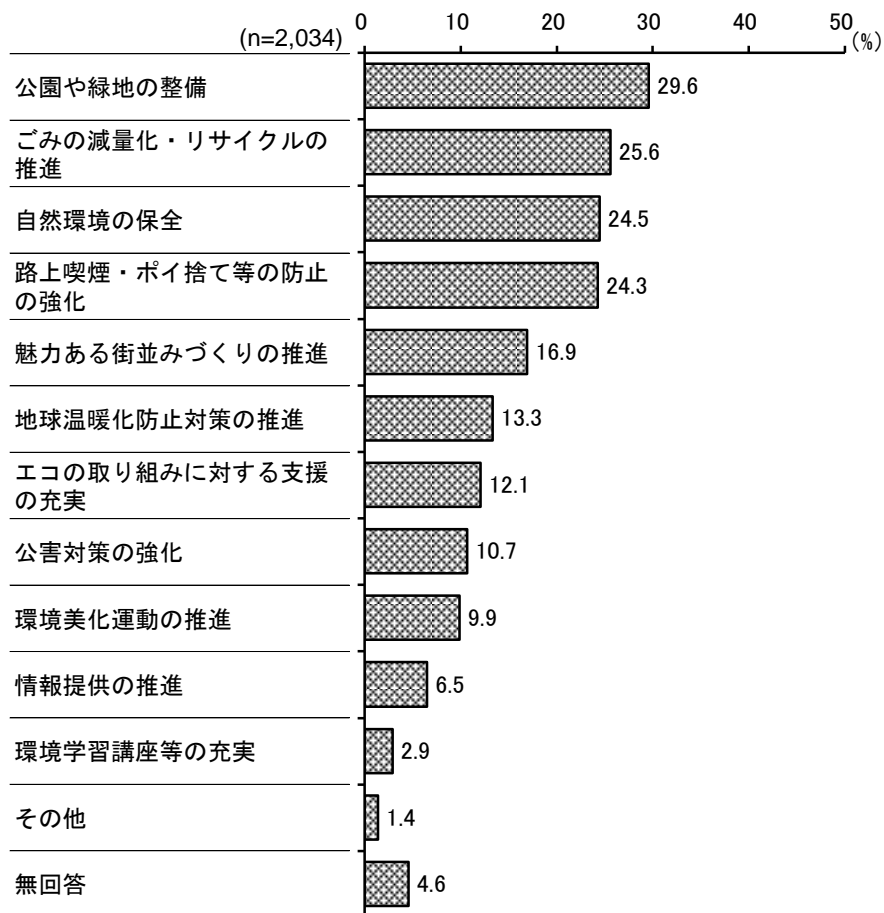
〔8〕環境の施策

◎ 「公園や緑地の整備」が3割弱。

問12. 環境の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

環境施策として取り組むべき施策を聞いたところ、「公園や緑地の整備」が29.6%で最も多く、次いで、「ごみの減量化・リサイクルの推進」が25.6%、「自然環境の保全」が24.5%、「路上喫煙・ポイ捨て等の防止の強化」が24.3%の順となっている。

図 2-2-8



第3章. 調査結果の分析

性別にみると、男性は「公園や緑地の整備」が 6.8 ポイント、「自然環境の保全」が 4.8 ポイント高く、女性は「地球温暖化防止対策の推進」が 4.6 ポイント、「ごみの減量化・リサイクルの推進」が 3.8 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「自然環境の保全」は 60 代で 3 割、「公園や緑地の整備」は 30 代で 4 割となっている。「路上喫煙・ポイ捨て等の防止の強化」は 20 代から 40 代および 70 歳以上で 2 割後半となっている。

居住地区別にみると、谷津は「自然環境の保全」が 3 割、「公園や緑地の整備」が 4 割前半となっている。「ごみの減量化・リサイクルの推進」は袖ヶ浦東で 3 割半ば、大久保・泉・本大久保で 3 割、「路上喫煙・ポイ捨て等の防止の強化」は大久保・泉・本大久保で 3 割と多くなっている。

表 2-2-8 環境の施策：性別・年齢別、居住地区別

		(%)													
		全 体	環 境 学 習 講 座 等 の 充 実	情 報 提 供 の 推 進	公 害 対 策 の 強 化	自 然 環 境 の 保 全	ご み の 減 量 化 ・ リ サ イ ク ル の 推 進	の 魅 力 あ る 街 並 み づ く り の 推 進	公 園 や 緑 地 の 整 備	環 境 美 化 運 動 の 推 進	の 路 上 喫 煙 ・ ポ イ 捨 て 等 の 防 止 の 強 化	推 進 地 球 温 暖 化 防 止 対 策 の	エ コ の 取 り 組 み に 対 す る 支 援 の 充 実	そ の 他	無 回 答
全 体		2,034	2.9	6.5	10.7	24.5	25.6	16.9	29.6	9.9	24.3	13.3	12.1	1.4	4.6
性別・年齢別	男性	890	3.4	5.5	10.4	27.3	23.5	17.3	33.4	11.8	24.7	10.8	11.3	1.6	4.2
	女性	1,126	2.5	7.4	11.0	22.5	27.3	16.8	26.6	8.4	24.2	15.4	13.0	1.3	4.6
	20代	180	1.7	8.3	13.9	24.4	27.8	13.9	28.9	10.0	28.3	11.1	15.0	1.1	0.6
	30代	371	3.0	2.7	10.5	19.7	24.8	17.0	40.7	9.2	28.3	10.2	14.3	1.9	2.4
	40代	339	2.9	7.1	9.4	20.4	27.1	19.8	31.3	5.6	28.3	13.6	11.5	1.5	3.5
	50代	321	1.6	7.5	6.9	28.3	29.9	14.6	29.3	10.6	18.4	16.2	13.1	0.6	4.4
	60代	435	1.8	7.4	12.2	32.0	22.3	19.1	25.1	11.3	18.6	16.3	11.5	2.1	5.1
	70歳以上	381	5.5	6.8	12.1	21.8	24.1	15.0	23.1	12.6	26.2	11.5	9.4	1.0	8.9
居住地区別	谷津	154	2.6	6.5	5.2	30.5	20.1	21.4	42.2	6.5	23.4	7.8	12.3	0.6	3.2
	向山	182	1.6	7.7	16.5	25.8	21.4	14.8	24.2	11.0	21.4	17.0	13.7	2.7	3.3
	袖ヶ浦西	124	3.2	9.7	10.5	21.0	27.4	14.5	25.0	6.5	21.8	16.1	14.5	0.8	6.5
	袖ヶ浦東	54	11.1	3.7	9.3	25.9	35.2	5.6	24.1	3.7	27.8	13.0	13.0	-	9.3
	津田沼	221	2.3	6.8	14.0	20.8	29.4	15.4	25.3	10.9	29.9	12.2	12.2	2.7	2.7
	鷺沼・鷺沼台	177	4.5	4.5	9.6	24.3	28.2	20.9	31.1	11.3	18.1	14.1	12.4	1.7	3.4
	藤崎	184	3.3	7.1	9.2	28.8	26.6	19.0	32.6	9.2	21.7	9.8	13.0	1.6	3.3
	大久保・泉・本大久保	210	1.9	5.2	12.4	22.9	30.0	17.6	31.0	9.0	30.0	12.9	9.5	1.0	1.4
	本大久保・花咲・屋敷	206	3.4	4.9	8.7	23.8	23.8	20.9	30.6	11.7	24.8	11.7	9.2	1.0	5.3
	実籾・新栄	135	2.2	6.7	9.6	26.7	25.9	18.5	28.9	11.9	23.7	11.9	11.1	0.7	6.7
	実花	77	1.3	5.2	11.7	15.6	24.7	15.6	35.1	3.9	29.9	15.6	9.1	-	9.1
	東習志野	109	3.7	5.5	9.2	24.8	22.0	11.0	32.1	10.1	28.4	17.4	10.1	0.9	4.6
	秋津・茜浜	103	2.9	13.6	10.7	27.2	21.4	14.6	21.4	15.5	17.5	17.5	14.6	1.9	5.8
	香澄・芝園	91	1.1	4.4	11.0	23.1	20.9	14.3	29.7	12.1	22.0	14.3	18.7	2.2	9.9

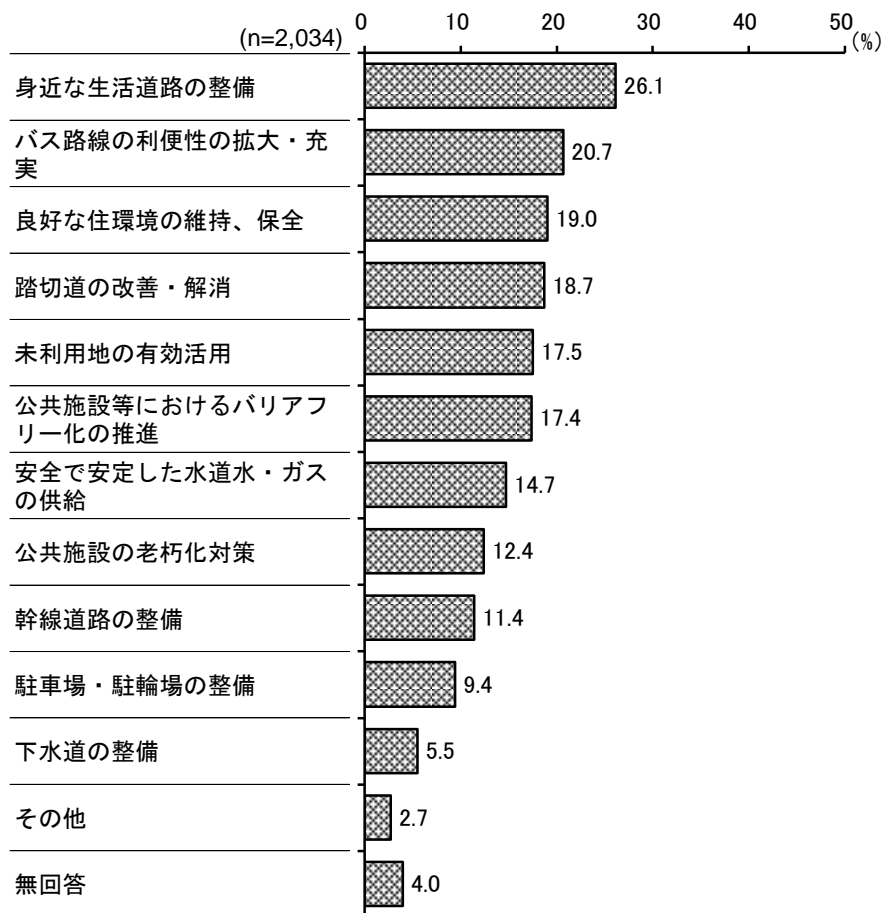
〔9〕都市整備の施策

◎ 「身近な生活道路の整備」が2割半ば。

問13. 都市整備の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

都市整備施策として取り組むべき施策を聞いたところ、「身近な生活道路の整備」が26.1%で最も多く、次いで、「バス路線の利便性の拡大・充実」が20.7%、「良好な住環境の維持、保全」が19.0%、「踏切道の改善・解消」が18.7%の順となっている。

図 2-2-9



第3章. 調査結果の分析

性別にみると、男性は「幹線道路の整備」が 6.7 ポイント、「踏切道の改善・解消」と「良好な住環境の維持、保全」が 5.8 ポイント高く、女性は「バス路線の利便性の拡大・充実」が 5.1 ポイント、「安全で安定した水道水・ガスの供給」が 4.1 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「公共施設等におけるバリアフリー化の推進」及び「バス路線の利便性の拡大・充実」は 20 代で 2 割半ば、「安全で安定した水道水・ガスの供給」は 70 歳以上で 2 割、「良好な住環境の維持、保全」は 50 代から 60 代で 2 割半ばとなっている。

居住地区別にみると、「身近な生活道路の整備」は藤崎で 4 割、「踏切道の改善・解消」は津田沼で 3 割前半、「バス路線の利便性の拡大・充実」は東習志野と香澄・芝園で 3 割半ばと多くなっている。

表 2-2-9 都市整備の施策：性別・年齢別、居住地区別

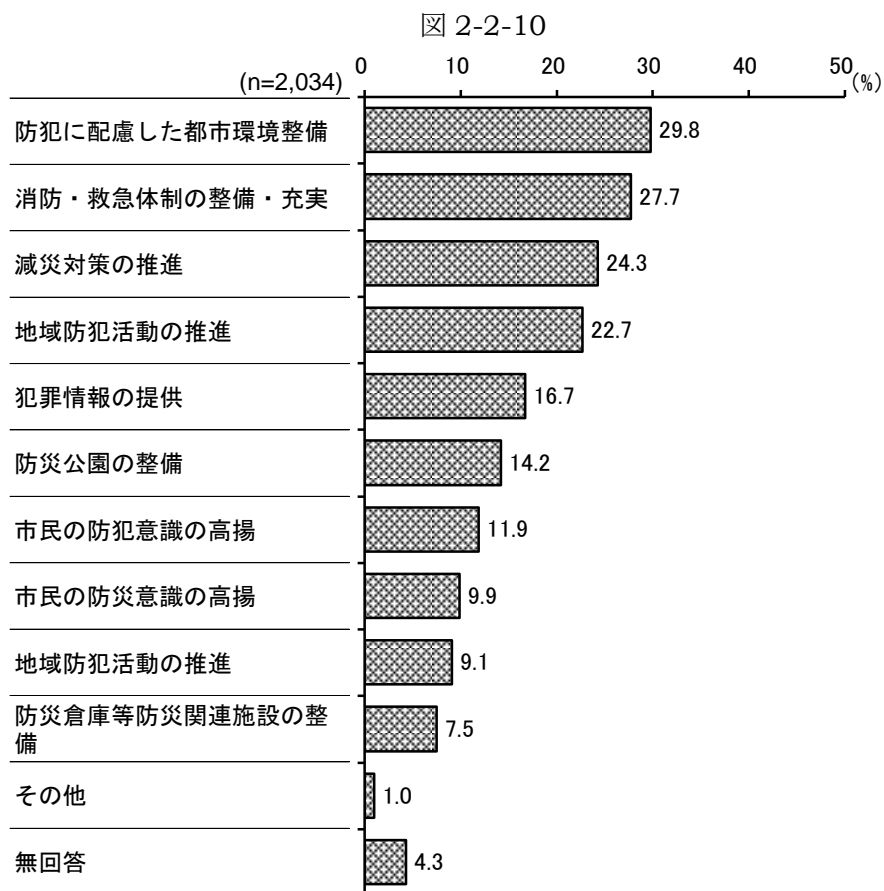
		全 体	幹 線 道 路 の 整 備	身 近 な 生 活 道 路 の 整 備	未 利 用 地 の 有 効 活 用	駐 車 場 ・ 駐 輪 場 の 整 備	リ 公 共 施 設 等 に お 推 進 バ リア フ リ ー 化 の 推 け る バ	下 水 道 の 整 備	水 安 全 で 安 定 し た 水 道 ・ ガ ス の 供 給	踏 切 道 の 改 善 ・ 解 消	大 ・ バ ス 路 線 の 利 便 性 の 拡 大 ・ 充 実	公 共 施 設 の 老 朽 化 対 策	保 全 良 好 な 住 環 境 の 維 持 ・	そ の 他	無 回 答
全 体		2,034	11.4	26.1	17.5	9.4	17.4	5.5	14.7	18.7	20.7	12.4	19.0	2.7	4.0
性別・年齢別	男性	890	15.1	26.1	16.6	10.7	15.6	5.5	12.5	22.0	18.0	11.7	22.1	2.5	3.1
	女性	1,126	8.4	26.2	18.2	8.4	19.0	5.4	16.6	16.2	23.1	13.1	16.3	2.9	4.4
	20代	180	11.1	21.1	22.2	13.9	25.0	3.9	12.8	14.4	27.2	11.1	16.1	2.8	-
	30代	371	11.6	28.8	17.3	14.0	15.9	4.3	11.6	25.9	23.5	11.6	14.3	2.7	1.9
	40代	339	16.8	26.8	16.8	8.6	16.2	4.1	11.8	22.7	19.2	17.1	14.2	4.7	2.1
	50代	321	9.3	26.5	18.4	10.9	17.8	5.6	13.4	17.8	22.1	11.5	23.1	2.5	3.4
	60代	435	10.1	23.0	20.5	6.4	16.6	7.1	16.1	17.7	17.5	12.2	24.4	2.3	4.8
	70歳以上	381	9.4	28.6	12.3	5.2	17.3	6.3	21.0	11.5	18.9	10.8	19.9	1.6	9.2
居住地区別	谷津	154	11.0	38.3	11.0	11.7	17.5	7.8	11.0	14.3	16.2	9.7	21.4	3.9	3.9
	向山	182	13.2	23.6	20.3	15.4	19.8	4.4	13.2	14.3	19.8	9.9	19.8	3.8	2.7
	袖ヶ浦西	124	6.5	12.9	17.7	13.7	22.6	4.0	18.5	25.0	16.1	9.7	22.6	3.2	4.8
	袖ヶ浦東	54	3.7	18.5	13.0	11.1	20.4	5.6	16.7	22.2	14.8	9.3	20.4	-	9.3
	津田沼	221	11.3	24.0	14.9	11.3	19.0	4.1	13.6	33.0	10.0	14.0	19.5	3.2	2.3
	鷺沼・鷺沼台	177	12.4	33.3	19.2	8.5	15.3	5.1	12.4	21.5	23.7	12.4	13.6	1.7	4.0
	藤崎	184	16.3	40.2	14.7	6.0	13.6	8.7	12.5	19.6	17.4	10.9	16.8	1.6	1.6
	大久保・泉・本大久保	210	12.9	29.0	19.0	7.6	17.1	4.3	17.6	21.4	20.5	13.3	17.6	1.4	1.0
	本大久保・花咲・屋敷	206	13.1	30.1	15.5	4.4	18.0	5.8	16.5	18.4	18.9	16.5	14.1	3.9	3.9
	実籾・新栄	135	14.8	25.2	22.2	8.1	16.3	9.6	19.3	10.4	21.5	7.4	15.6	1.5	8.1
	実花	77	15.6	23.4	22.1	7.8	13.0	2.6	10.4	13.0	33.8	11.7	16.9	-	7.8
	東習志野	109	8.3	21.1	15.6	10.1	14.7	3.7	11.9	9.2	36.7	16.5	25.7	2.8	2.8
	秋津・茜浜	103	3.9	8.7	20.4	9.7	19.4	2.9	20.4	15.5	25.2	16.5	24.3	2.9	7.8
香澄・芝園	91	4.4	8.8	23.1	8.8	17.6	6.6	13.2	6.6	36.3	15.4	29.7	6.6	5.5	

〔10〕安全で安心なまちづくりの施策

◎ 「防犯に配慮した都市環境整備」が3割弱。

問14. 安全で安心なまちづくりの施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

安全で安心なまちづくり施策として取り組むべき施策を聞いたところ、「防犯に配慮した都市環境整備」が29.8%で最も多く、次いで、「消防・救急体制の整備・充実」が27.7%、「減災対策の推進」が24.3%、「地域防犯活動の推進」が22.7%の順となっている。



第3章. 調査結果の分析

性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっているが、「地域防犯活動の推進」が若干男性の方が多くなっている。

年齢別にみると、「消防・救急体制の整備・充実」は50代で3割半ば、「防犯に配慮した都市環境整備」は30代から40代で3割後半となっている。「犯罪情報の提供」は20代で2割以上だが年齢が高くなるにつれて減少傾向となっている。

居住地区別にみると、「減災対策の推進」は香澄・芝園で3割、「地域防犯活動の推進」は東習志野と秋津・茜浜で3割、「消防・救急体制の整備・充実」は谷津と袖ヶ浦西で3割半ば、藤崎、大久保・泉・本大久保、実靱・新栄及び実花で3割以上と多くなっている。

表 2-2-10 安全で安心なまちづくりの施策：性別・年齢別、居住地区別

		全 体	減 災 対 策 の 推 進	設 防 倉 庫 等 防 災 関 連 施 設 の 整 備	備 消 防 ・ 充 実 ・ 救 急 体 制 の 整 備	地 域 防 災 活 動 の 推 進	市 民 の 防 災 意 識 の 高 揚	犯 罪 情 報 の 提 供	地 域 防 犯 活 動 の 推 進	市 民 の 防 犯 意 識 の 高 揚	境 防 犯 に 配 慮 し た 都 市 環 境 の 整 備	防 災 公 園 の 整 備	そ の 他	無 回 答
全 体		2,034	24.3	7.5	27.7	9.1	9.9	16.7	22.7	11.9	29.8	14.2	1.0	4.3
性別・年齢別	男性	890	25.3	7.0	29.1	9.9	10.4	16.0	24.3	13.0	28.9	13.5	1.5	3.5
	女性	1,126	23.8	8.0	26.6	8.5	9.5	17.4	21.3	11.2	30.4	14.8	0.6	4.7
	20代	180	28.3	6.1	25.6	7.8	9.4	22.8	25.0	15.0	26.7	12.8	0.6	1.7
	30代	371	19.4	6.5	25.3	6.7	8.1	21.0	24.0	12.9	38.5	15.4	0.5	3.2
	40代	339	26.0	9.4	28.6	5.6	5.0	18.9	22.1	9.7	34.8	13.3	1.2	3.5
	50代	321	25.2	7.5	34.0	8.7	10.9	17.1	18.4	9.0	29.6	16.8	1.6	4.0
	60代	435	28.5	6.9	24.1	13.3	13.6	13.3	24.1	12.2	24.4	13.3	1.4	4.8
	70歳以上	381	20.5	8.1	28.6	10.8	11.0	11.5	22.3	13.9	24.7	13.1	0.5	7.1
居住地区別	谷津	154	25.3	5.8	35.1	9.7	7.8	14.9	25.3	9.1	29.9	13.6	1.3	4.5
	向山	182	24.7	11.0	24.7	9.3	12.1	15.4	20.3	9.9	32.4	17.6	1.6	2.2
	袖ヶ浦西	124	21.0	6.5	35.5	6.5	8.1	21.8	20.2	7.3	24.2	14.5	0.8	8.1
	袖ヶ浦東	54	20.4	9.3	24.1	11.1	9.3	22.2	24.1	14.8	24.1	7.4	-	5.6
	津田沼	221	23.5	8.1	22.2	7.7	10.4	19.5	23.5	17.6	27.1	20.4	1.4	2.7
	鷺沼・鷺沼台	177	22.0	7.3	20.9	9.0	6.2	14.7	27.7	11.3	32.2	16.4	0.6	6.2
	藤崎	184	23.4	6.0	30.4	12.5	9.8	12.0	20.1	12.0	32.6	15.8	1.6	3.8
	大久保・泉・本大久保	210	25.7	8.6	32.9	8.6	6.7	17.6	20.0	9.0	37.1	10.0	1.0	2.4
	本大久保・花咲・屋敷	206	27.7	6.3	26.7	4.9	16.0	11.7	18.4	14.6	28.2	17.0	0.5	3.9
	実靱・新栄	135	25.9	8.1	31.9	11.9	8.1	16.3	18.5	14.1	31.1	11.1	-	5.2
	実花	77	23.4	5.2	32.5	10.4	7.8	22.1	23.4	11.7	27.3	6.5	-	5.2
	東習志野	109	22.9	7.3	24.8	9.2	12.8	17.4	32.1	15.6	22.0	7.3	-	4.6
	秋津・茜浜	103	19.4	9.7	23.3	10.7	10.7	22.3	31.1	11.7	24.3	14.6	1.9	3.9
	香澄・芝園	91	31.9	4.4	25.3	9.9	11.0	17.6	18.7	7.7	34.1	9.9	2.2	6.6

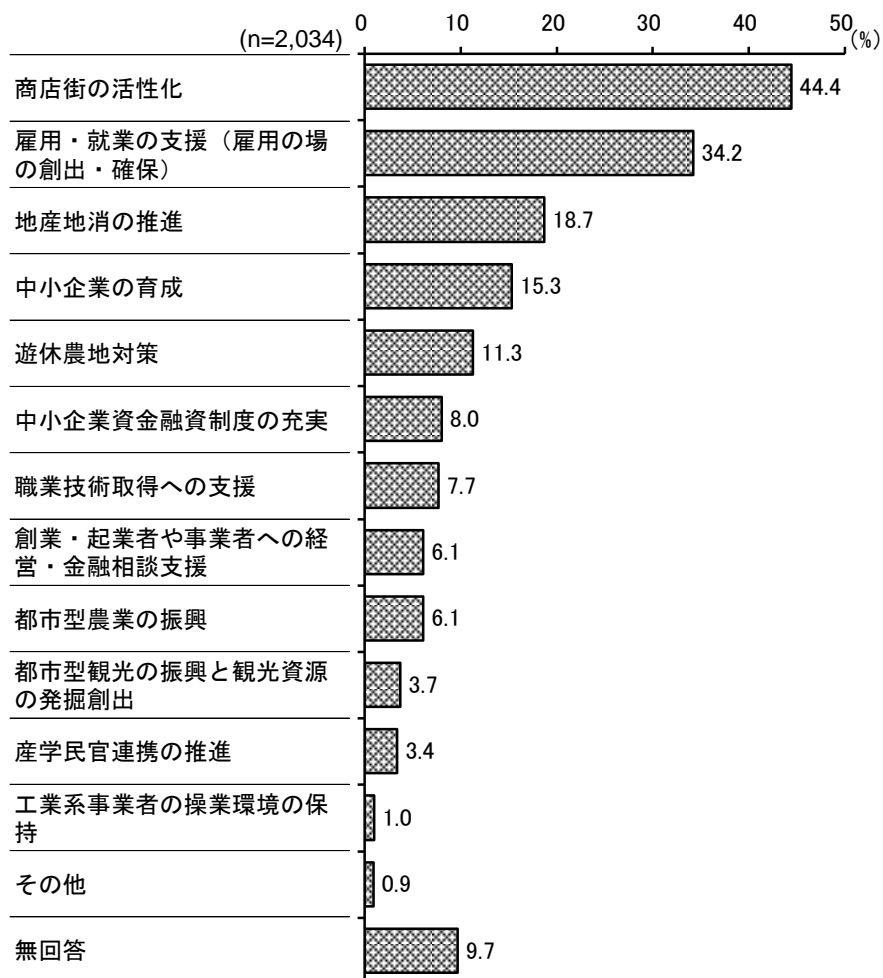
〔11〕 産業振興の施策

◎ 「商店街の活性化」が4割半ば。

問15. 産業振興の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

産業振興施策として取り組むべき施策を聞いたところ、「商店街の活性化」が最も多く44.4%となっている。次いで、「雇用・就業の支援（雇用の場の創出・確保）」が34.2%、「地産地消の推進」が18.7%、「中小企業の育成」が15.3%の順となっている。

図 2-2-11



第3章. 調査結果の分析

性別にみると、男性は「中小企業の育成」が 4.9 ポイント高く、女性は「地産地消の推進」が 7.4 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「雇用・就業の支援（雇用の場の創出・確保）」は 20 代と 50 代で 4 割前半と多く、「地産地消の推進」は 60 代で 2 割となっている。

居住地区別にみると、「商店街の活性化」は谷津、向山及び袖ヶ浦西で 5 割を占めている。「雇用・就業の支援（雇用の場の創出・確保）」は香澄・芝園で 4 割後半、「地産地消の推進」は袖ヶ浦東で 3 割、「中小企業の育成」は大久保・泉・本大久保で 2 割となっている。

表 2-2-11 産業振興の施策：性別・年齢別、居住地区別

		(%)															
		全 体	中 小 企 業 の 育 成	援 へ の 経 営 ・ 金 融 相 談 支 援	創 業 ・ 起 業 者 や 事 業 者 の 支 援	中 小 企 業 資 金 融 資 制 度	商 店 街 の 活 性 化	工 業 系 事 業 者 の 操 業 環 境 の 保 持	都 市 型 農 業 の 振 興	地 産 地 消 の 推 進	遊 休 農 地 対 策	都 市 型 観 光 の 振 興 と 観 光 資 源 の 発 掘 創 出	職 業 技 術 取 得 へ の 支 援	雇 用 の 場 の 創 出 ・ 確 保 (雇 用 の 場 の 創 出 ・ 確 保)	産 学 民 官 連 携 の 推 進	そ の 他	無 回 答
全 体		2,034	15.3	6.1	8.0	44.4	1.0	6.1	18.7	11.3	3.7	7.7	34.2	3.4	0.9	9.7	
性別・年齢別	男性	890	18.0	8.7	9.6	43.7	1.1	6.5	14.7	12.2	5.1	8.2	35.5	4.7	0.9	7.0	
	女性	1,126	13.1	4.3	6.6	45.2	0.9	5.9	22.1	10.6	2.4	7.4	33.4	2.4	0.8	11.6	
	20代	180	18.3	4.4	9.4	47.2	1.7	3.9	15.6	7.8	3.3	10.6	45.6	3.3	-	1.7	
	30代	371	15.1	4.6	5.7	44.2	1.1	4.9	19.9	9.4	5.7	11.3	34.2	3.8	1.9	9.2	
	40代	339	10.9	6.8	8.8	41.6	0.6	9.4	18.9	10.0	2.9	7.4	37.2	3.2	0.3	9.1	
	50代	321	14.6	6.2	8.7	43.3	0.9	6.2	19.0	8.7	2.8	8.4	42.7	3.4	0.6	9.0	
	60代	435	17.2	6.9	8.0	45.5	1.1	6.7	20.7	16.6	3.4	3.9	33.3	4.4	1.1	7.4	
	70歳以上	381	15.7	7.1	7.9	45.4	0.8	4.7	16.3	12.1	3.7	7.1	20.5	2.1	0.8	17.6	
居住地区別	谷津	154	11.0	4.5	5.2	50.0	1.9	6.5	12.3	10.4	2.6	6.5	37.7	2.6	1.3	11.0	
	向山	182	15.4	7.1	9.9	50.0	-	8.8	18.7	14.8	4.4	6.6	29.7	2.2	0.5	7.7	
	袖ヶ浦西	124	13.7	4.8	8.9	51.6	-	0.8	13.7	8.1	4.8	9.7	35.5	0.8	0.8	12.1	
	袖ヶ浦東	54	13.0	5.6	5.6	40.7	1.9	3.7	31.5	11.1	1.9	3.7	27.8	7.4	-	16.7	
	津田沼	221	15.4	5.4	8.6	43.9	0.5	6.3	24.9	7.2	6.3	10.0	33.9	6.3	1.8	5.4	
	鷺沼・鷺沼台	177	10.7	4.0	3.4	48.6	1.1	5.1	18.6	16.9	5.1	6.2	33.3	2.8	0.6	10.2	
	藤崎	184	16.8	6.0	13.0	40.8	0.5	6.0	16.3	13.0	1.1	10.9	32.6	6.0	0.5	7.6	
	大久保・泉・本大久保	210	20.5	4.8	11.9	42.9	1.0	7.6	20.5	10.0	1.4	8.6	33.8	1.4	-	7.6	
	本大久保・花咲・屋敷	206	12.1	8.3	6.3	40.8	1.9	8.7	15.0	10.2	1.5	6.3	35.0	3.9	1.0	14.1	
	実籾・新栄	135	17.8	5.9	8.1	47.4	1.5	5.9	15.6	13.3	4.4	6.7	34.1	3.7	-	9.6	
	実花	77	19.5	5.2	5.2	28.6	2.6	2.6	16.9	18.2	5.2	6.5	37.7	3.9	-	15.6	
	東習志野	109	14.7	10.1	8.3	46.8	-	3.7	29.4	3.7	4.6	8.3	35.8	0.9	0.9	6.4	
	秋津・茜浜	103	16.5	6.8	6.8	37.9	1.9	8.7	17.5	13.6	5.8	5.8	30.1	3.9	1.9	11.7	
	香澄・芝園	91	18.7	8.8	4.4	41.8	-	3.3	18.7	8.8	4.4	6.6	46.2	2.2	3.3	8.8	

2-3 施策の満足度

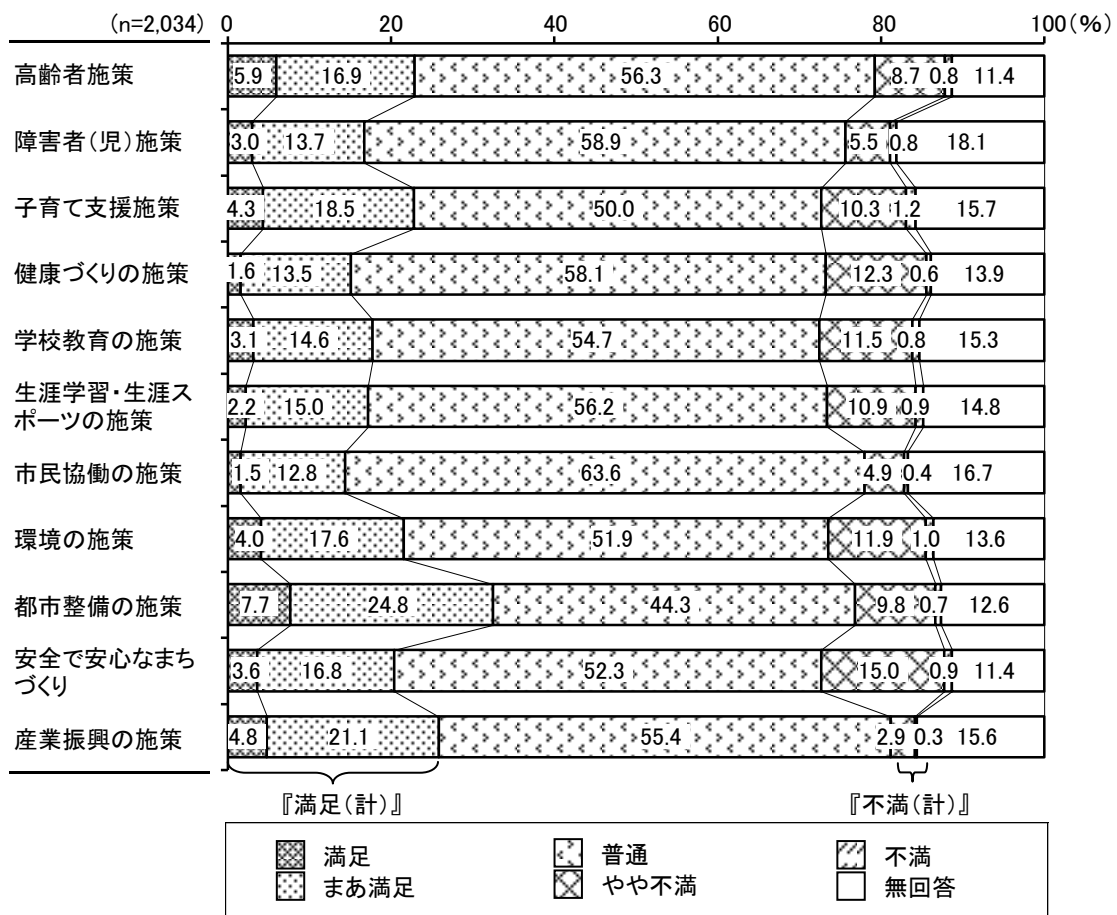
◎ 満足度が高いのは、都市整備の施策、高齢者施策、子育て支援施策。

問17. 次の各施策についてどのようにお感じですか。(それぞれ1つずつに○)

習志野市が取り組んでいる施策の満足度を聞いたところ、都市整備の施策に対する「満足」は7.7%と最も多く、「まあ満足」の24.8%を合わせた『満足(計)』は32.5%となっている。次いで、『満足(計)』が多いのは、産業振興の施策の25.9%、高齢者施策の22.8%、子育て支援施策の22.8%の順となっている。

一方、『不満(計)』が多いのは、安全で安心なまちづくりの15.9%、健康づくりの施策12.9%、環境の施策の12.9%、学校教育の施策の12.3%の順となっている。

図 2-3-1



第3章. 調査結果の分析

高齢者施策に関して、性別にみると、男性と女性との差はあまりみられない。年齢別にみると、『満足（計）』は60代で3割であるが、20代では1割となっている。居住地区別にみると、『満足（計）』は袖ヶ浦西、鷺沼・鷺沼台及び実籾・新栄で2割後半となっている。

障害者（児）施策に関して、性別にみると、男性と女性との差はあまりみられない。年齢別にみると、『満足（計）』は60代で2割となっている。居住地区別にみると、『満足（計）』は鷺沼・鷺沼台で2割前半となっている。

子育て支援施策に関して、性別にみると、男性と女性との差はあまりみられない。年齢別にみると、『満足（計）』は30代で3割前半となっている。居住地区別にみると、『満足（計）』は谷津、向山及び藤崎で2割後半となっている。

表 2-3-1 施策満足度（1）：性別・年齢別、居住地区別

		〔 高齢者施策 〕 (%)					〔 障害者（児）施策 〕 (%)				〔 子育て支援施策 〕 (%)			
		全 体	満 足 （ 計 ）	普 通	不 満 （ 計 ）	無 回 答	満 足 （ 計 ）	普 通	不 満 （ 計 ）	無 回 答	満 足 （ 計 ）	普 通	不 満 （ 計 ）	無 回 答
全 体		2,034	22.8	56.3	9.5	11.4	16.7	58.9	6.3	18.1	22.8	50.0	11.5	15.7
性別・ 年齢別	男性	890	21.2	57.8	10.8	10.2	16.6	61.5	7.2	14.7	24.5	51.0	11.4	13.0
	女性	1,126	24.0	55.4	8.5	12.1	16.7	57.1	5.7	20.5	21.6	49.0	11.7	17.7
	20代	180	12.8	70.6	10.0	6.7	15.0	69.4	8.3	7.2	22.8	58.9	12.2	6.1
	30代	371	15.6	69.5	6.7	8.1	14.0	72.2	5.1	8.6	32.6	44.5	17.5	5.4
	40代	339	23.0	58.7	9.2	9.1	17.4	64.9	6.8	10.9	28.3	53.4	9.8	8.6
	50代	321	22.8	54.8	9.3	13.1	19.0	60.7	4.3	15.9	20.6	56.7	8.4	14.3
	60代	435	30.2	50.3	6.2	13.3	20.7	49.4	5.7	24.1	20.7	46.4	11.0	21.8
	70歳以上	381	25.7	43.0	16.0	15.2	12.6	45.4	8.2	33.9	11.8	47.0	9.9	31.2
居住地区 別	谷津	154	25.3	59.7	6.4	8.4	18.2	64.3	1.3	16.2	27.2	53.2	7.7	11.7
	向山	182	25.2	58.8	9.8	6.0	17.0	65.4	7.1	10.4	26.3	50.0	12.1	11.5
	袖ヶ浦西	124	27.4	43.5	8.1	21.0	18.5	50.8	4.8	25.8	25.0	43.5	5.6	25.8
	袖ヶ浦東	54	14.8	55.6	16.7	13.0	7.5	55.6	9.3	27.8	13.0	53.7	13.0	20.4
	津田沼	221	20.4	58.4	9.5	11.8	16.7	59.3	7.3	16.7	22.2	50.7	11.8	15.4
	鷺沼・鷺沼台	177	27.1	52.0	9.0	11.9	22.6	56.5	3.4	17.5	20.4	53.1	9.1	17.5
	藤崎	184	21.8	61.4	8.1	8.7	17.4	64.1	4.8	13.6	26.6	51.1	12.0	10.3
	大久保・泉・本大久保	210	23.3	52.4	10.4	13.8	17.2	58.6	4.8	19.5	19.0	49.5	13.3	18.1
	本大久保・花咲・屋敷	206	24.8	57.3	8.8	9.2	19.9	56.8	4.9	18.4	23.8	50.0	9.7	16.5
	実籾・新栄	135	26.7	53.3	8.1	11.9	15.5	54.8	4.4	25.2	17.7	49.6	14.1	18.5
	実花	77	19.5	58.4	5.2	16.9	15.6	54.5	6.5	23.4	23.4	46.8	10.4	19.5
	東習志野	109	20.2	57.8	6.4	15.6	16.6	58.7	4.6	20.2	22.0	44.0	20.1	13.8
	秋津・茜浜	103	12.6	64.1	15.5	7.8	7.8	60.2	18.4	13.6	21.4	55.3	9.7	13.6
	香澄・芝園	91	17.6	57.1	16.5	8.8	8.8	57.1	17.6	16.5	22.0	48.4	16.5	13.2

健康づくりの施策に関して、性別にみると、男性は『満足（計）』が 5.3 ポイント高くなっている。年齢別にみると、『満足（計）』は 30 代で 2 割となっている。居住地区別にみると、袖ヶ浦東の『満足（計）』は極端に少なくなっている。

学校教育の施策に関して、性別にみると、男性は『不満（計）』が 7.1 ポイント高くなっている。年齢別にみると、『満足（計）』は 30 代から 40 代で 2 割半ばとなっている。居住地区別にみると、『満足（計）』は東習志野と香澄・芝園で 2 割以上となっている。

生涯学習・生涯スポーツの施策に関して、性別にみると、男性は『満足（計）』が 5.5 ポイント高くなっている。年齢別にみると、『満足（計）』は 30 代で 2 割となっている。居住地区別にみると、『満足（計）』は谷津と向山で 2 割半ば、一方、『不満（計）』は袖ヶ浦東で 2 割前半となっている。

表 2-3-1 施策満足度（2）：性別・年齢別、居住地区別

		健康づくりの施策 (%)				学校教育の施策 (%)				生涯学習・ 生涯スポーツの施策 (%)				
		全 体	満 足 （計）	普 通	不 満 （計）	無 回 答	満 足 （計）	普 通	不 満 （計）	無 回 答	満 足 （計）	普 通	不 満 （計）	無 回 答
全 体		2,034	15.1	58.1	12.9	13.9	17.7	54.7	12.3	15.3	17.2	56.2	11.8	14.8
性別・ 年齢別	男性	890	18.1	57.4	12.6	11.9	18.9	52.2	16.1	12.7	20.3	54.2	12.7	12.8
	女性	1,126	12.8	58.7	13.3	15.1	17.1	56.7	9.0	17.1	14.8	58.1	11.0	16.1
	20代	180	15.0	66.1	12.3	6.7	13.3	69.4	11.2	6.1	18.8	65.0	10.0	6.1
	30代	371	21.5	61.2	10.5	6.7	24.0	57.7	11.6	6.7	20.7	61.5	11.1	6.7
	40代	339	16.5	61.4	12.1	10.0	26.5	54.0	11.5	8.0	18.0	59.6	12.4	10.0
	50代	321	12.7	61.1	13.1	13.1	18.1	56.7	11.2	14.0	16.5	59.2	9.9	14.3
	60代	435	14.3	54.9	13.8	17.0	16.1	51.7	11.5	20.7	18.9	52.2	11.2	17.7
	70歳以上	381	10.5	49.6	15.2	24.7	7.4	47.5	15.5	29.7	11.0	46.2	14.7	28.1
居住地区別	谷津	154	18.1	54.5	13.6	13.6	18.8	55.2	12.9	13.0	25.3	52.6	9.0	13.0
	向山	182	19.7	59.9	10.9	9.3	19.2	58.8	9.9	12.1	24.1	58.8	6.6	10.4
	袖ヶ浦西	124	17.7	48.4	12.1	21.8	17.7	50.8	6.4	25.0	14.5	51.6	11.3	22.6
	袖ヶ浦東	54	3.7	64.8	18.5	13.0	14.9	57.4	13.0	14.8	5.6	51.9	22.3	20.4
	津田沼	221	16.3	56.6	14.1	13.1	17.2	56.6	12.7	13.6	18.6	57.0	11.3	13.1
	鷺沼・鷺沼台	177	10.7	62.7	9.6	16.9	18.7	53.1	11.9	16.4	15.8	55.9	11.9	16.4
	藤崎	184	19.6	57.6	14.6	8.2	18.5	57.6	13.6	10.3	18.5	60.3	12.5	8.7
	大久保・泉・本大久保	210	14.8	57.1	11.5	16.7	16.7	52.4	12.8	18.1	14.3	57.1	9.6	19.0
	本大久保・花咲・屋敷	206	13.6	61.2	11.7	13.6	17.9	55.8	10.2	16.0	20.3	51.9	13.1	14.6
	実籾・新栄	135	11.1	59.3	13.3	16.3	11.1	55.6	15.6	17.8	12.6	51.9	19.2	16.3
	実花	77	18.2	53.2	11.7	16.9	18.2	46.8	16.9	18.2	20.8	49.4	9.1	20.8
	東習志野	109	13.8	58.7	14.7	12.8	21.1	48.6	15.6	14.7	12.8	56.0	13.8	17.4
	秋津・茜浜	103	12.6	61.2	15.5	10.7	16.5	61.2	10.7	11.7	11.6	68.9	10.7	8.7
	香澄・芝園	91	12.1	59.3	16.5	12.1	20.9	51.6	12.1	15.4	12.1	61.5	14.3	12.1

市民協働の施策に関して、性別にみると、男性は『満足（計）』が7.3ポイント高くなっている。年齢別にみると、『満足（計）』は60代の割合が若干多くなっている。居住地区別にみると、『満足（計）』は袖ヶ浦東で極端に少なくなっている。

環境の施策に関して、性別にみると、男性と女性との差はあまりみられない。年齢別にみると、『満足（計）』は40代で2割後半となっている。居住地区別にみると、『満足（計）』は谷津で3割、一方、『不満（計）』は袖ヶ浦東、秋津・茜浜及び香澄・芝園で2割以上となっている。

都市整備の施策に関して、性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっているが、男性の『満足（計）』が3.5ポイント高くなっている。年齢別にみると、『満足（計）』は30代で4割と多くなっている。居住地区別にみると、『満足（計）』は藤崎と本大久保・花咲・屋敷で4割と多くなっている。

表 2-3-1 施策満足度（3）：性別・年齢別、居住地区別

		〔 市民協働の施策 〕 (%)				〔 環境の施策 〕 (%)				〔 都市整備の施策 〕 (%)				
		全 体	満 足 （計）	普 通	不 満 （計）	無 回 答	満 足 （計）	普 通	不 満 （計）	無 回 答	満 足 （計）	普 通	不 満 （計）	無 回 答
全 体		2,034	14.3	63.6	5.3	16.7	21.6	51.9	12.9	13.6	32.5	44.3	10.5	12.6
性別・ 年齢別	男性	890	18.5	62.0	6.2	13.4	22.5	50.4	15.3	11.8	34.5	43.1	11.5	10.9
	女性	1,126	11.2	64.9	4.8	19.2	20.9	53.5	11.0	14.7	31.0	45.3	9.9	13.8
	20代	180	13.3	73.3	7.3	6.1	23.9	53.9	16.7	5.6	28.4	50.0	14.5	7.2
	30代	371	13.7	72.2	5.9	8.1	21.6	58.0	14.8	5.7	41.2	42.3	12.1	4.3
	40代	339	15.9	67.0	5.3	11.8	28.0	53.1	10.3	8.6	36.6	47.2	8.0	8.3
	50代	321	14.1	67.0	3.7	15.3	23.6	52.3	11.2	12.8	30.6	44.5	13.1	11.8
	60代	435	17.0	57.2	5.0	20.7	21.1	49.0	13.6	16.3	32.0	43.4	8.3	16.3
	70歳以上	381	11.0	52.0	5.5	31.5	13.1	47.8	11.8	27.3	24.4	41.7	9.9	23.9
居住地区別	谷津	154	18.8	64.3	3.2	13.6	31.1	50.6	6.5	11.7	33.7	50.6	5.8	9.7
	向山	182	17.0	69.2	2.7	11.0	26.4	54.4	11.5	7.7	34.0	47.8	9.3	8.8
	袖ヶ浦西	124	15.3	54.0	6.4	24.2	18.5	46.0	16.1	19.4	24.2	44.4	15.3	16.1
	袖ヶ浦東	54	7.5	59.3	9.3	24.1	7.5	57.4	20.4	14.8	16.7	50.0	16.7	16.7
	津田沼	221	15.4	64.3	5.0	15.4	25.8	52.5	9.1	12.7	31.2	44.3	13.6	10.9
	鷺沼・鷺沼台	177	13.5	63.8	4.5	18.1	22.6	53.7	9.6	14.1	37.8	43.5	5.6	13.0
	藤崎	184	15.2	68.5	6.5	9.8	28.8	51.6	11.4	8.2	42.4	39.7	10.3	7.6
	大久保・泉・本大久保	210	11.4	62.4	7.2	19.0	20.0	47.1	16.6	16.2	29.0	41.4	13.9	15.7
	本大久保・花咲・屋敷	206	16.1	62.6	4.9	16.5	23.8	53.9	8.7	13.6	40.8	39.8	6.8	12.6
	実籾・新栄	135	11.8	65.2	4.4	18.5	15.6	53.3	14.0	17.0	28.9	44.4	9.6	17.0
	実花	77	15.6	54.5	5.2	24.7	18.2	54.5	6.5	20.8	33.8	44.2	5.2	16.9
	東習志野	109	10.1	65.1	5.5	19.3	17.5	55.0	11.9	15.6	35.7	44.0	4.6	15.6
	秋津・茜浜	103	13.6	62.1	8.8	15.5	13.6	50.5	24.3	11.7	23.3	45.6	19.4	11.7
	香澄・芝園	91	13.2	64.8	4.4	17.6	6.6	50.5	28.6	14.3	22.0	47.3	18.7	12.1

安全で安心なまちづくりに関して、性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっているが、男性の『不満（計）』が 3.3 ポイント高くなっている。年齢別にみると、『満足（計）』は 30 代で 2 割後半となっている。居住地区別にみると、『満足（計）』は向山と藤崎で 2 割後半となっている。

産業振興の施策に関して、性別にみると、男性は『満足（計）』が 5.3 ポイント高くなっている。年齢別にみると、『満足（計）』は 40 代から 60 代で 3 割弱となっている。居住地区別にみると、『満足（計）』は向山と津田沼で 3 割以上となっている。

表 2-3-1 施策満足度（4）：性別・年齢別、居住地区別

		〔安全で安心なまちづくり〕 (%)				〔産業振興の施策〕 (%)				
		全 体	満 足 （計）	普 通	不 満 （計）	無 回 答	満 足 （計）	普 通	不 満 （計）	無 回 答
全 体		2,034	20.4	52.3	15.9	11.4	25.9	55.4	3.2	15.6
性別・年齢別	男性	890	20.9	51.3	17.8	9.9	29.0	54.7	3.9	12.4
	女性	1,126	19.9	53.3	14.5	12.3	23.7	55.8	2.7	17.9
	20代	180	20.6	55.0	18.9	5.6	22.8	66.7	5.0	5.6
	30代	371	27.5	52.6	14.8	5.1	24.5	65.0	3.7	6.7
	40代	339	24.7	53.4	14.8	7.1	29.2	58.1	2.4	10.3
	50代	321	20.2	53.6	16.2	10.0	29.9	54.2	2.8	13.1
	60代	435	20.2	48.0	17.0	14.7	29.0	47.8	2.8	20.5
	70歳以上	381	9.7	54.1	14.7	21.5	18.4	47.8	3.4	30.4
居住地区別	谷津	154	23.4	57.8	9.7	9.1	27.9	57.1	1.9	13.0
	向山	182	25.8	51.6	14.8	7.7	31.3	53.8	4.3	10.4
	袖ヶ浦西	124	18.5	52.4	13.7	15.3	28.2	46.0	2.4	23.4
	袖ヶ浦東	54	7.4	59.3	20.4	13.0	16.7	48.1	7.4	27.8
	津田沼	221	22.6	52.9	14.9	9.5	31.2	54.3	2.3	12.2
	鷺沼・鷺沼台	177	19.8	55.9	12.4	11.9	27.1	52.5	4.0	16.4
	藤崎	184	26.1	52.2	14.7	7.1	24.5	60.9	4.9	9.8
	大久保・泉・本大久保	210	15.7	50.5	19.0	14.8	21.9	55.7	5.3	17.1
	本大久保・花咲・屋敷	206	21.3	51.0	16.9	10.7	23.8	55.8	3.4	17.0
	実籾・新栄	135	17.7	48.9	19.2	14.1	20.0	58.5	2.2	19.3
	実花	77	15.6	51.9	14.3	18.2	22.1	51.9	1.3	24.7
	東習志野	109	24.8	49.5	11.9	13.8	23.0	59.6	1.8	15.6
	秋津・茜浜	103	16.5	53.4	20.4	9.7	29.2	56.3	1.0	13.6
	香澄・芝園	91	15.4	45.1	28.6	11.0	26.4	59.3	1.1	13.2

第3節 経営改革について

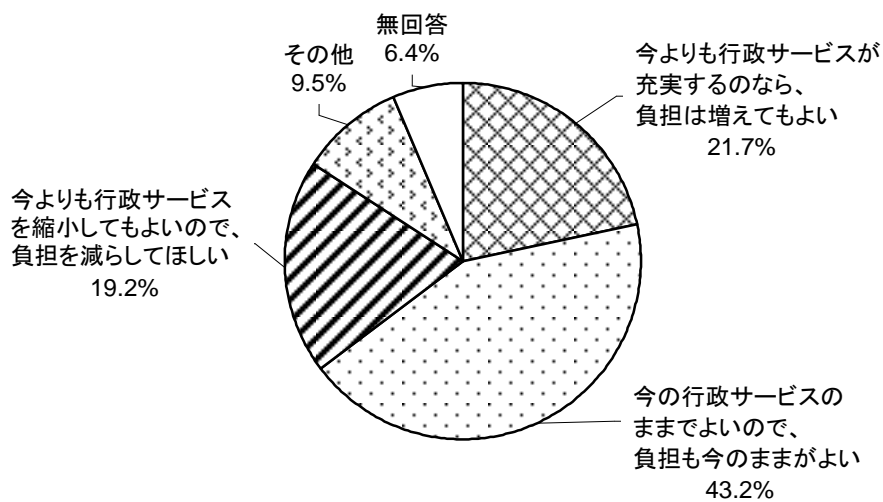
3-1 行政サービスと費用負担の関係についての考え方

- ◎ 「今の行政サービスのままでよいので、負担も今のままがよい」が4割前半。

問18. あなたは、行政サービスと費用負担の関係について、どうお考えになりますか。(1つだけに○)

行政サービスと費用負担の関係について聞いたところ、「今の行政サービスのままでよいので、負担も今のままがよい」が43.2%で最も多くなっている。「今よりも行政サービスが充実するのなら、負担は増えてもよい」は、「今よりも行政サービスを縮小してもよいので、負担を減らしてほしい」よりも2.5ポイント高くなっている。

図3-1-1

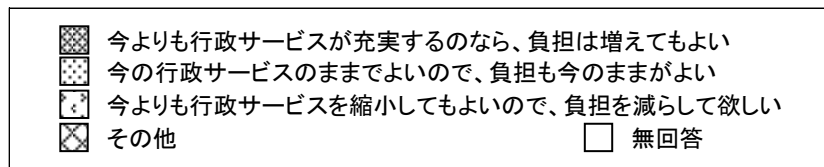
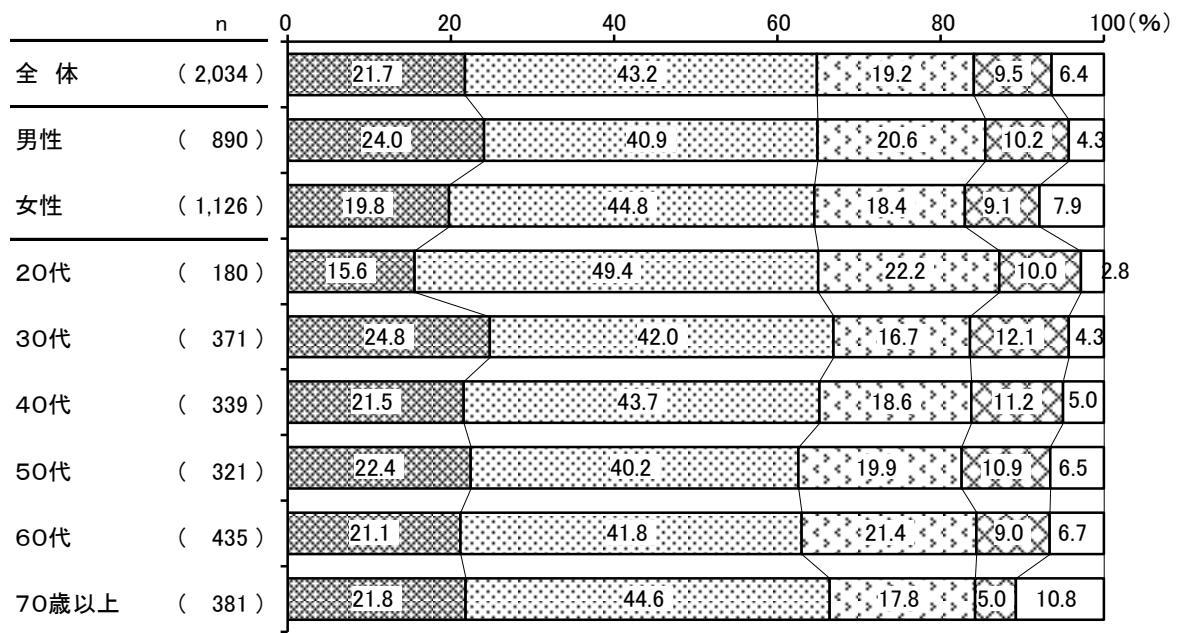


n=2,034

性別にみると、男性は「今よりも行政サービスが充実するのなら、負担は増えてもよい」が4.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「今の行政サービスのままでよいので、負担も今のままがよい」は20代で49.4%と最も多くなっている。30代以上では、年齢による差はみられずほぼ同じ傾向となっている。

図 3-1-2 行政サービスと費用負担：性別・年齢別

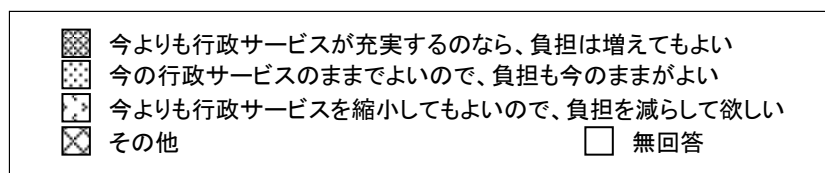
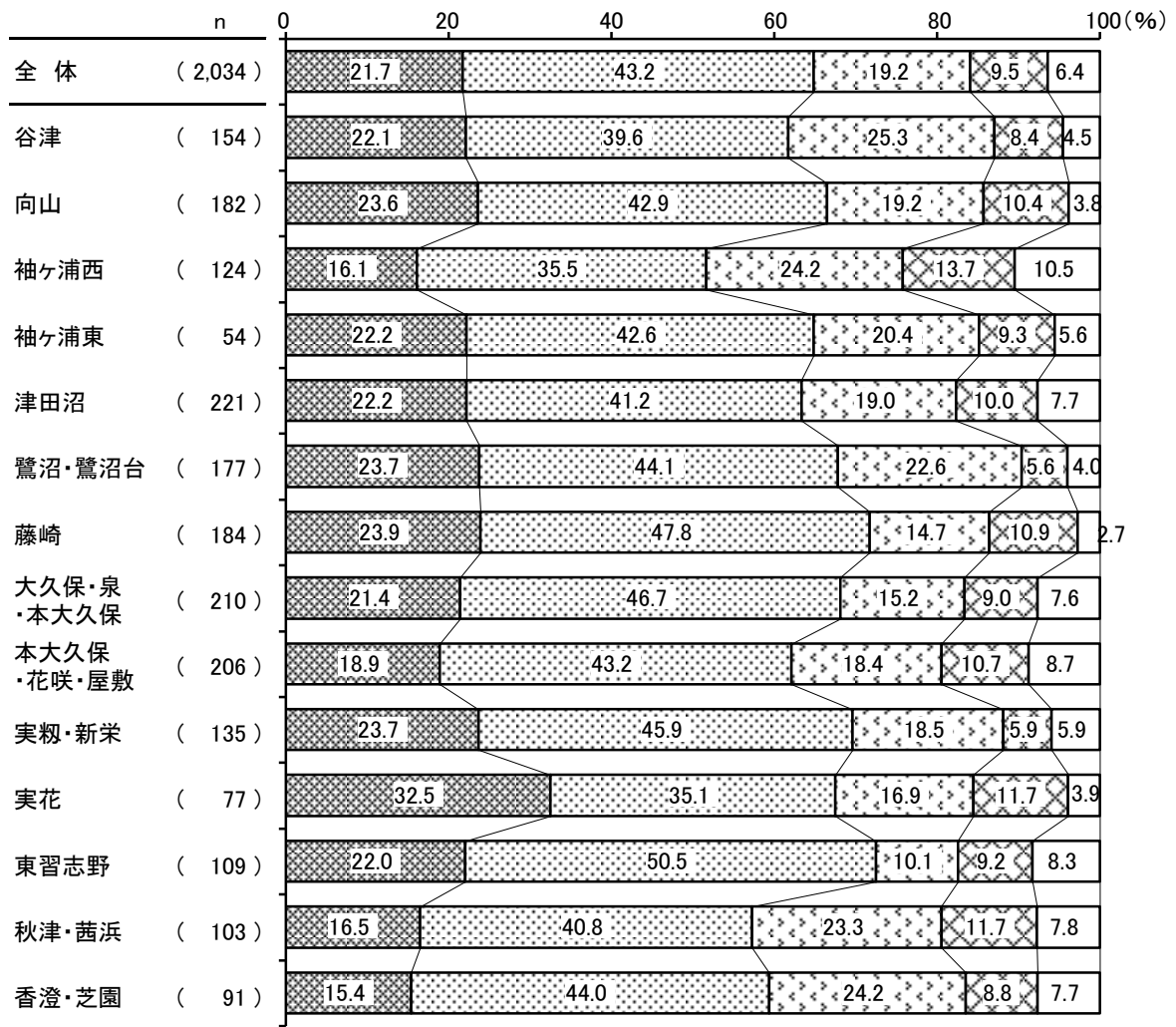


居住地区別にみると、「今よりも行政サービスが充実するのなら、負担は増えてもよい」は実花で32.5%と最も多くなっている。

「今の行政サービスのままでよいので、負担も今のままがよい」は東習志野で50.5%と最も多くなっている。

「今よりも行政サービスを縮小してもよいので、負担を減らして欲しい」は谷津で25.3%、袖ヶ浦西と香澄・芝園で24.2%となっている。

図 3-1-3 行政サービスと費用負担：居住地区別



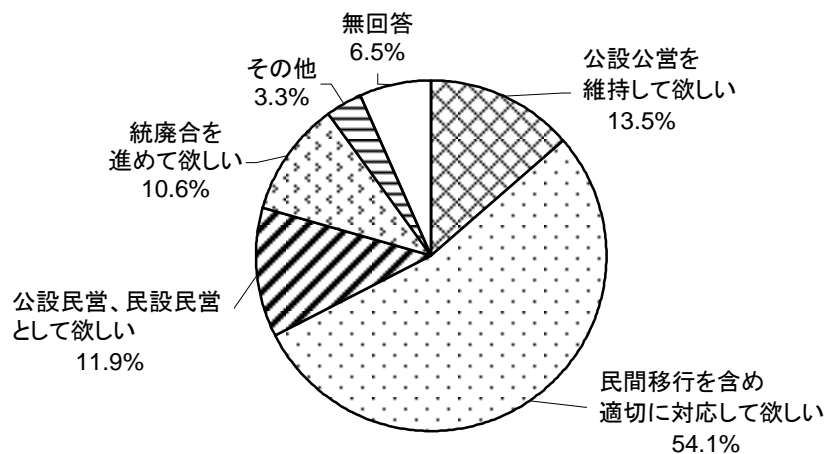
3-2 公共施設の民間移行についての考え方

◎ 「民間移行を含め適切に対応して欲しい」が5割半ば。

問19. 市民サービスを維持していくためにはマンパワーが必要です。職員を削減しつつサービスを維持するために、公共施設の管理運営・事務事業の実施を民間に移行していくことについて、あなたはどのようにお考えになりますか。(1つだけに○)

公共施設の民間移行について聞いたところ、「民間移行を含め適切に対応して欲しい」が54.1%で最も多く、次いで、「公設公営を維持して欲しい」が13.5%、「公設民営、民設民営として欲しい」が11.9%、「統廃合を進めて欲しい」が10.6%となっている。

図 3-2-1

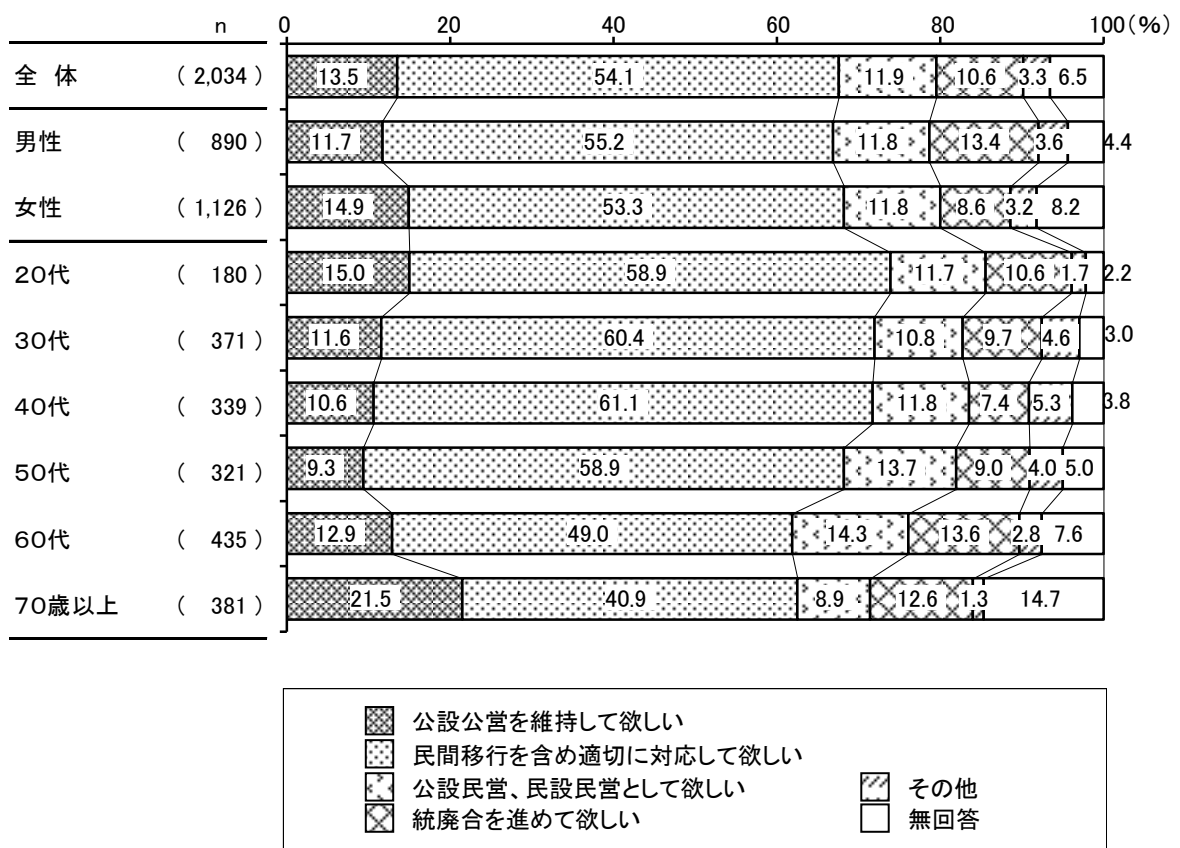


n=2,034

性別にみると、男性は「統廃合を進めて欲しい」が4.8ポイント高く、女性は「公設公営を維持して欲しい」が3.2ポイント高くなっている。

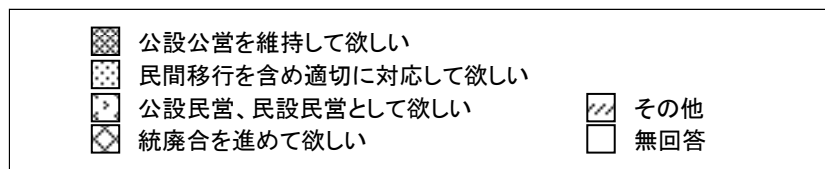
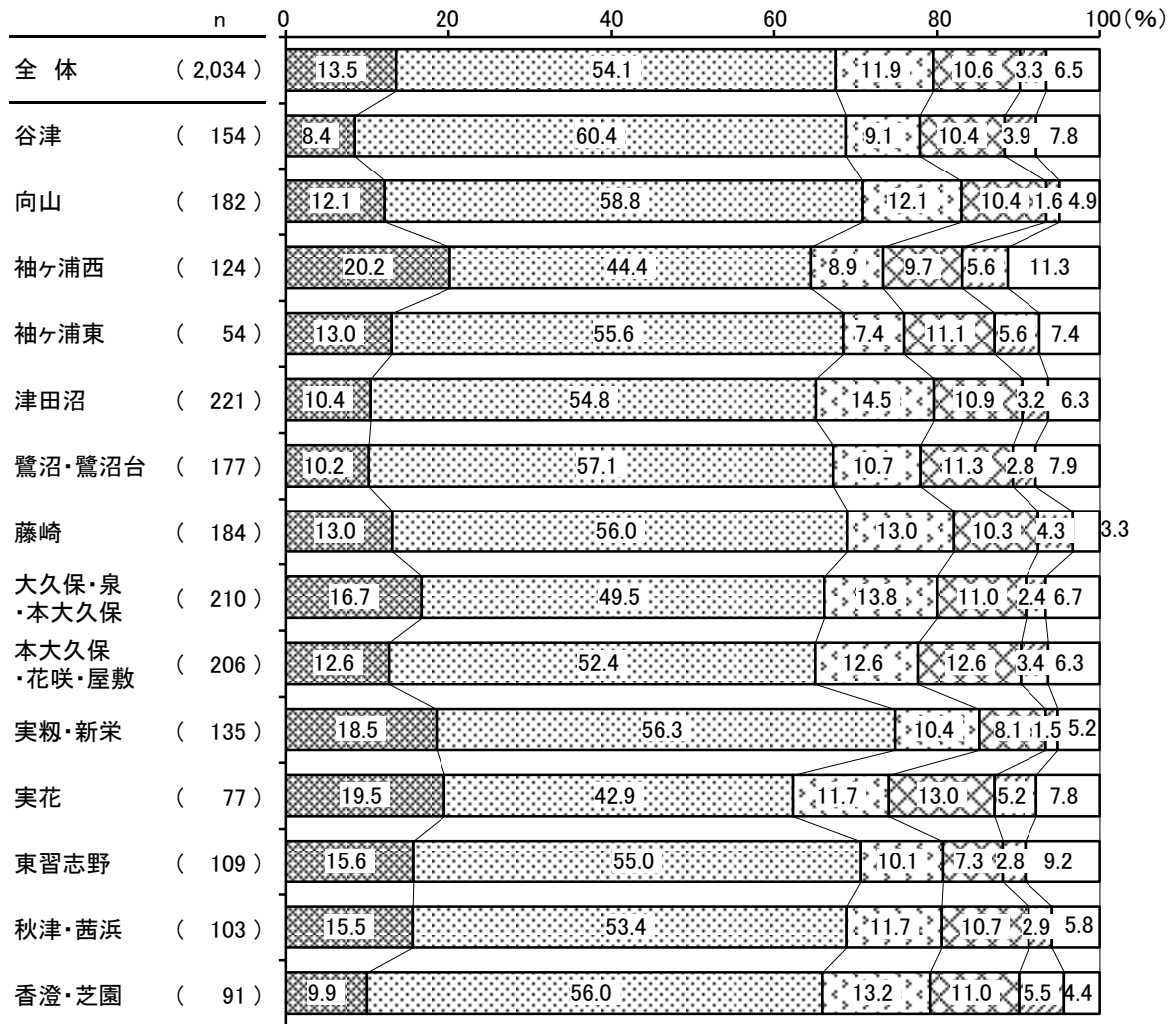
年齢別にみると、「民間移行を含め適切に対応して欲しい」は20代から50代で6割前後となっている。「公設公営を維持して欲しい」は70歳以上で2割となっている。

図3-2-2 公共施設の民間移行：性別・年齢別



居住地区別にみると、「公営公設を維持して欲しい」は袖ヶ浦西と実花で 2 割前後、「民間移行を含め適切に対応して欲しい」は谷津と向山で 6 割前後と多くなっている。また、津田沼では「公設民営、民設民営として欲しい」が、実花では「統廃合を進めて欲しい」が多くなっている。

図 3-2-3 行政サービスと費用負担：居住地区別



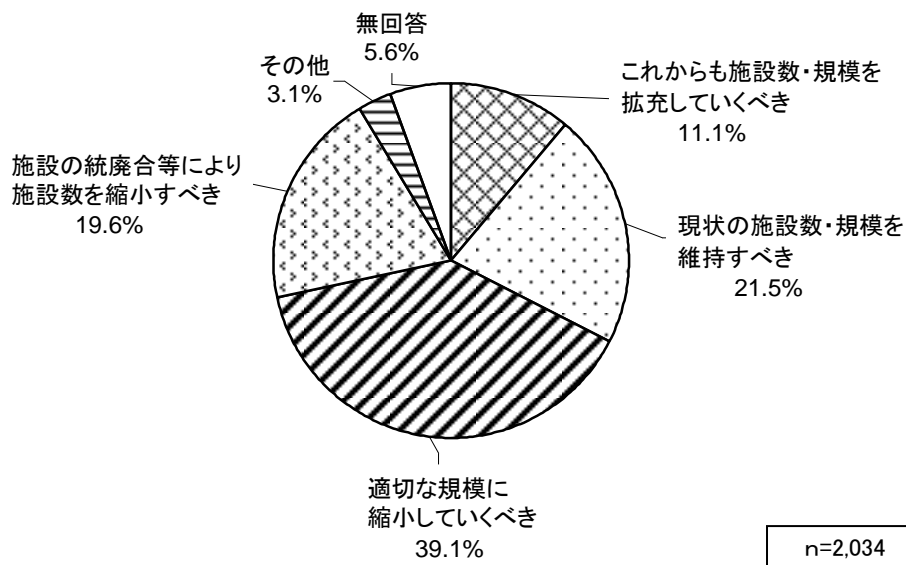
3-3 公共施設の施設数・規模についての考え方

◎ 「適切な規模に縮小していくべき」が4割。

問20. 「習志野市公共施設マネジメント白書」等の分析により、本市の公共施設の耐震化の遅れや、老朽化の問題が明らかになってきました。現在の施設数・規模を維持したまま、改修・改築を行っていくと、今後多大な費用負担となることが見込まれます。この対策について、あなたはどのようにお考えになりますか（1つだけに○）

公共施設の施設数・規模を維持したまま改修・改築を行なうべきかについて聞いたところ、「適切な規模に縮小していくべき」が39.1%で最も多く、次いで、「現状の施設数・規模を維持すべき」が21.5%、「施設の統廃合等により施設数を縮小すべき」が19.6%、「これからも施設数・規模を拡充していくべき」が11.1%となっている。

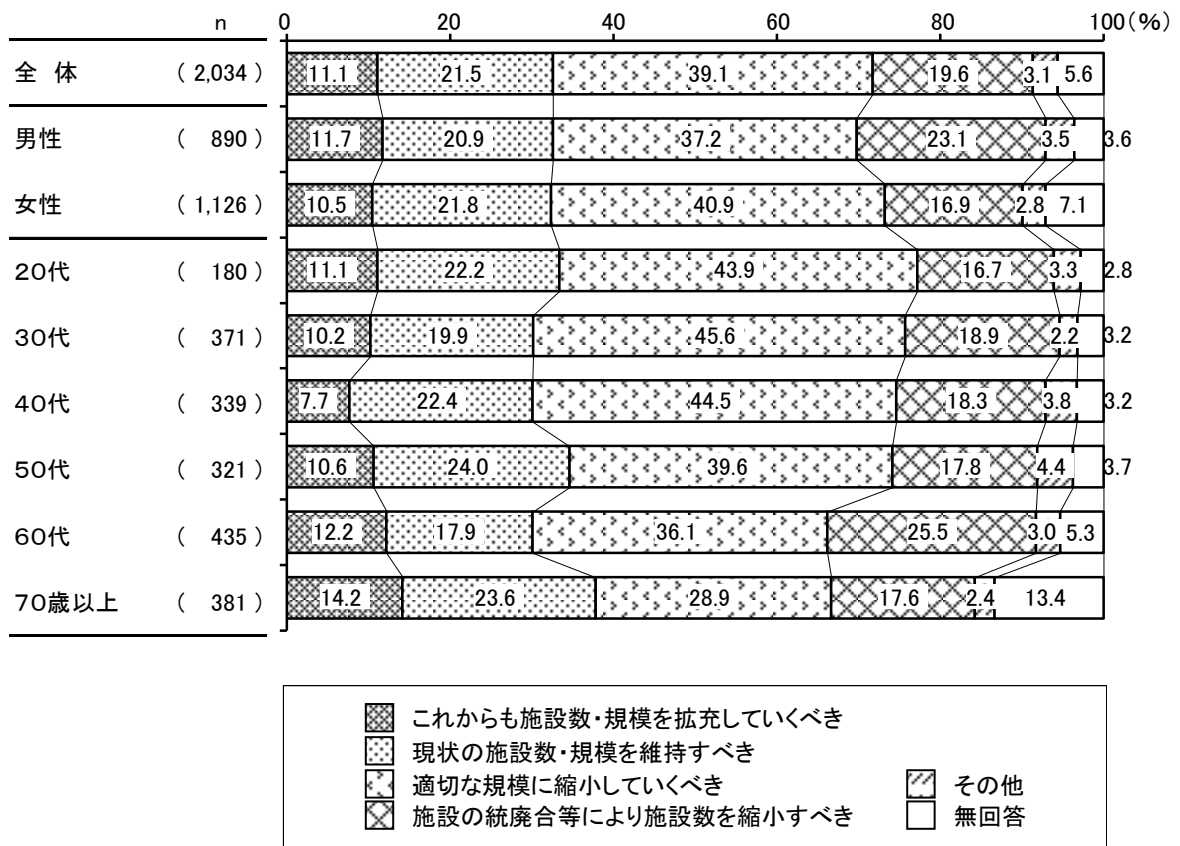
図 3-3-1



性別にみると、男性は「施設の統廃合等により施設数を縮小すべき」が 6.2 ポイント高くなっている。

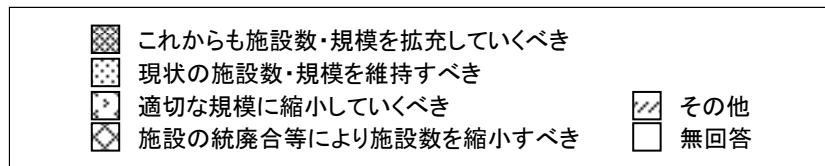
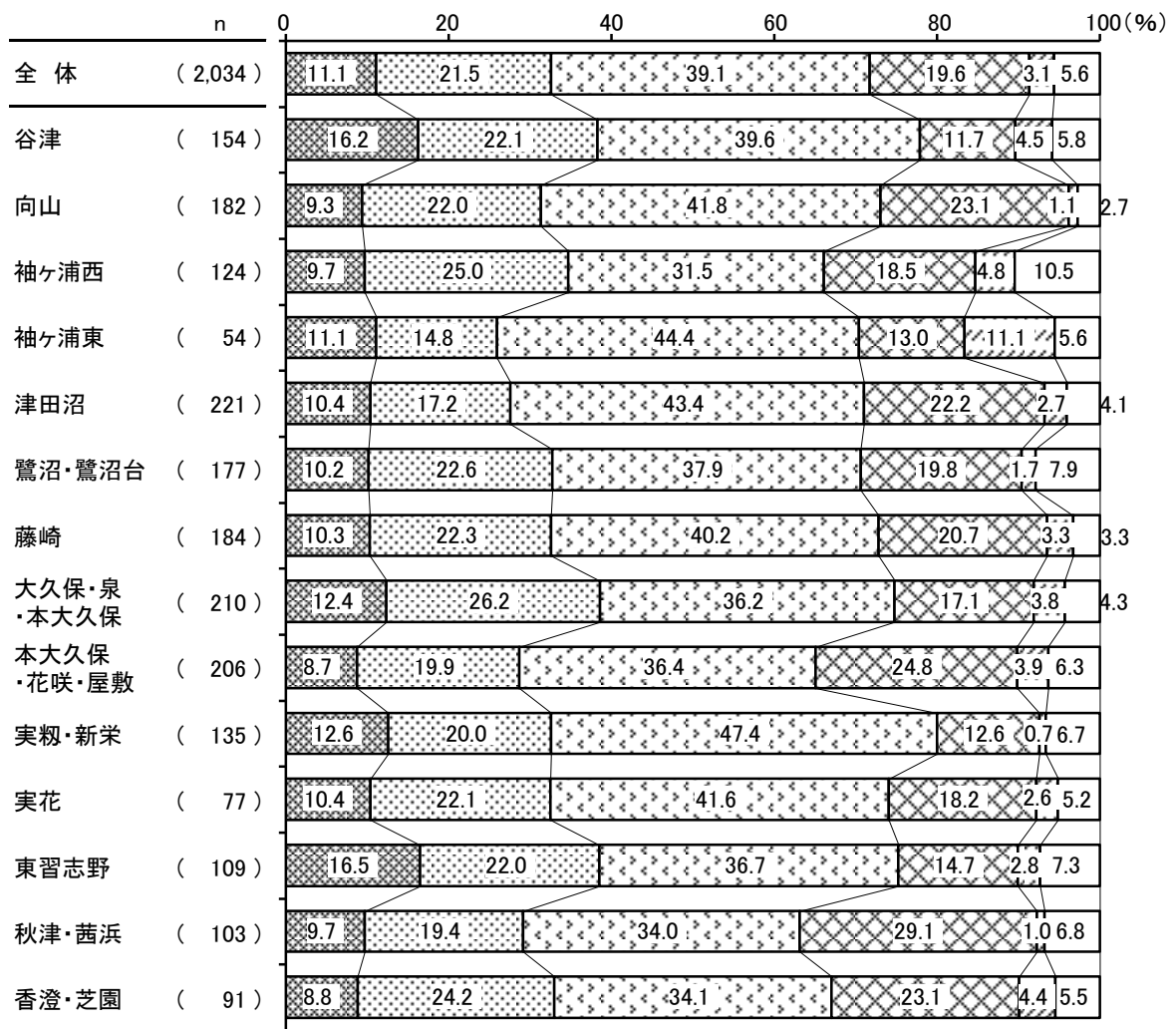
年齢別にみると、「適切な規模に縮小していくべき」は 20 代から 40 代で 4 割以上であるが、年齢が高くなるにつれて減少傾向となっている。「施設の統廃合等により施設数を縮小すべき」は 60 代で 2 割半ば、「これからも施設数・規模を拡充していくべき」は 70 歳以上で 1 割半ばとなっている。

図 3-3-2 公共施設の施設数・規模：性別・年齢別



居住地区別にみると、「これからも施設数・規模を拡充していくべき」は谷津と東習志野で1割半ば、「現状の施設数・規模を維持すべき」は袖ヶ浦西と大久保・泉・本大久保で2割半ばとなっている。「適切な規模に縮小していくべき」は実籾・新栄で4割後半、「施設の統廃合等により施設数を縮小すべき」は秋津・茜浜で3割弱となっている。

図 3-3-3 公共施設の施設数・規模：居住地区別



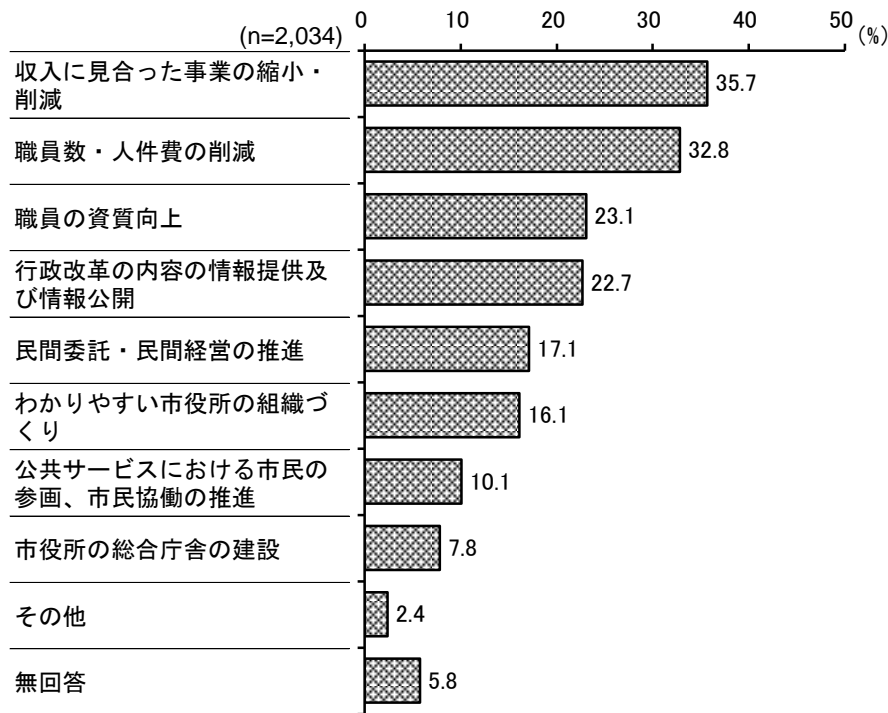
3-4 今後取り組むべき行政改革の施策

◎ 「収入に見合った事業の縮小・削減」が3割半ば。

問21. 行政改革の施策として今後も特に取り組むべきだと思うものは何ですか。
(○は2つまで)

今後取り組むべき行政改革の施策を聞いたところ、「収入に見合った事業の縮小・削減」が最も多く 35.7%となっている。次いで、「職員数・人件費の削減」が 32.8%、「職員の資質向上」が 23.1%、「行政改革の内容の情報提供及び情報公開」が 22.7%の順となっている。

図 3-4-1



性別にみると、男性と女性との差はあまりみられないが、男性の「民間委託・民間経営の推進」が5.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「収入に見合った事業の縮小・削減」は20代から30代で4割、「職員数・人件費の削減」は60代で4割半ば、「行政改革の内容の情報提供及び情報公開」は20代で2割後半、「わかりやすい市役所の組織づくり」は70歳以上で2割前半となっている。

居住地区別にみると、「収入に見合った事業の縮小・削減」及び「職員数・人件費の削減」は実花で4割と多く、「行政改革の内容の情報提供及び情報公開」は香澄・芝園で3割弱、「職員の資質向上」は秋津・茜浜と向山で2割後半、「わかりやすい市役所の組織づくり」は東習志野で2割半ばとなっている。

居住年数別にみると、「職員の資質向上」は5～10年未満で3割前半を占め、「職員数・人件費の削減」は年数が長くなるにつれて増加傾向となっている。

表3-4-1 行政改革の施策：性別・年齢別、居住地区別、居住年数別

		(%)											
		全 体	提 行 政 及 び 改 革 の 情 報 開 示 の 情 報	縮 小 入 に 見 合 っ た 事 業 の 削 減	組 わ か り や す い 市 役 所 の 組 織 づ く り	職 員 の 資 質 向 上	職 員 数 ・ 人 件 費 の 削 減	設 市 役 所 の 総 合 庁 舎 の 建 設	の 推 進 の 参 画 、 市 民 協 働	公 民 の サ ー ビ ス に お け る 推 進	民 間 委 託 ・ 民 間 経 営 の 推 進	そ の 他	無 回 答
全 体		2,034	22.7	35.7	16.1	23.1	32.8	7.8	10.1	17.1	2.4	5.8	
性別・年齢別	男性	890	24.4	36.6	14.3	21.9	33.7	8.5	10.8	20.2	3.4	4.0	
	女性	1,126	21.4	35.2	17.4	24.2	32.3	7.2	9.6	14.6	1.6	6.8	
	20代	180	28.3	41.7	15.0	23.3	22.8	10.6	8.9	17.8	1.1	4.4	
	30代	371	20.2	42.9	14.8	24.0	26.7	8.6	8.6	20.5	2.7	3.2	
	40代	339	21.8	39.8	12.1	24.5	26.5	5.9	9.1	18.0	3.5	5.9	
	50代	321	22.1	37.4	12.5	28.0	38.9	5.3	10.3	17.4	1.9	3.4	
	60代	435	22.3	30.6	17.0	20.2	45.5	7.4	12.0	18.6	2.3	5.1	
	70歳以上	381	24.1	27.0	23.4	20.2	30.2	10.0	10.5	10.2	2.1	11.3	
居住地区別	谷津	154	27.9	31.8	13.0	25.3	26.6	7.1	9.1	14.3	5.8	7.1	
	向山	182	22.5	36.3	17.6	27.5	31.9	9.3	8.8	18.1	2.2	2.7	
	袖ヶ浦西	124	27.4	30.6	14.5	21.0	28.2	6.5	8.1	16.1	4.0	9.7	
	袖ヶ浦東	54	24.1	27.8	7.4	20.4	31.5	9.3	18.5	18.5	1.9	11.1	
	津田沼	221	23.5	36.2	19.5	18.6	35.3	7.7	10.0	18.1	1.4	5.0	
	鷺沼・鷺沼台	177	20.9	38.4	13.6	19.2	32.8	10.2	11.3	20.3	1.7	4.5	
	藤崎	184	23.4	39.7	18.5	23.9	34.8	8.2	9.2	14.7	2.7	1.6	
	大久保・泉・本大久保	210	21.4	32.4	15.7	25.2	33.3	8.1	11.4	14.3	1.9	5.7	
	本大久保・花咲・屋敷	206	20.4	35.4	16.5	23.8	33.0	7.3	8.7	18.4	1.9	7.3	
	実花・新栄	135	23.7	35.6	14.1	24.4	39.3	8.1	10.4	14.8	3.0	5.2	
	実花	77	15.6	42.9	15.6	19.5	40.3	6.5	9.1	18.2	1.3	6.5	
	東習志野	109	19.3	36.7	24.8	20.2	32.1	9.2	11.0	11.9	0.9	6.4	
	秋津・茜浜	103	17.5	43.7	14.6	28.2	35.0	2.9	9.7	22.3	1.9	4.9	
	香澄・芝園	91	29.7	31.9	13.2	25.3	24.2	6.6	13.2	20.9	2.2	8.8	
居住年数別	1年未満	70	25.7	44.3	20.0	17.1	10.0	4.3	15.7	15.7	4.3	5.7	
	1～5年未満	260	20.0	47.7	13.1	20.0	27.7	11.2	9.6	20.0	0.8	4.2	
	5～10年未満	212	24.1	39.2	13.2	32.5	28.3	4.7	9.9	18.4	2.4	4.2	
	10～20年未満	364	23.4	37.4	14.6	23.1	33.5	6.3	9.1	17.0	2.2	5.5	
	20年以上	909	22.2	30.7	18.5	22.4	35.4	8.3	10.9	16.2	2.8	6.6	
	生まれてからずっと	204	25.0	32.8	14.7	23.0	38.2	8.8	7.8	15.7	2.5	5.9	

第4節 行政情報について

4-1 情報の入手方法

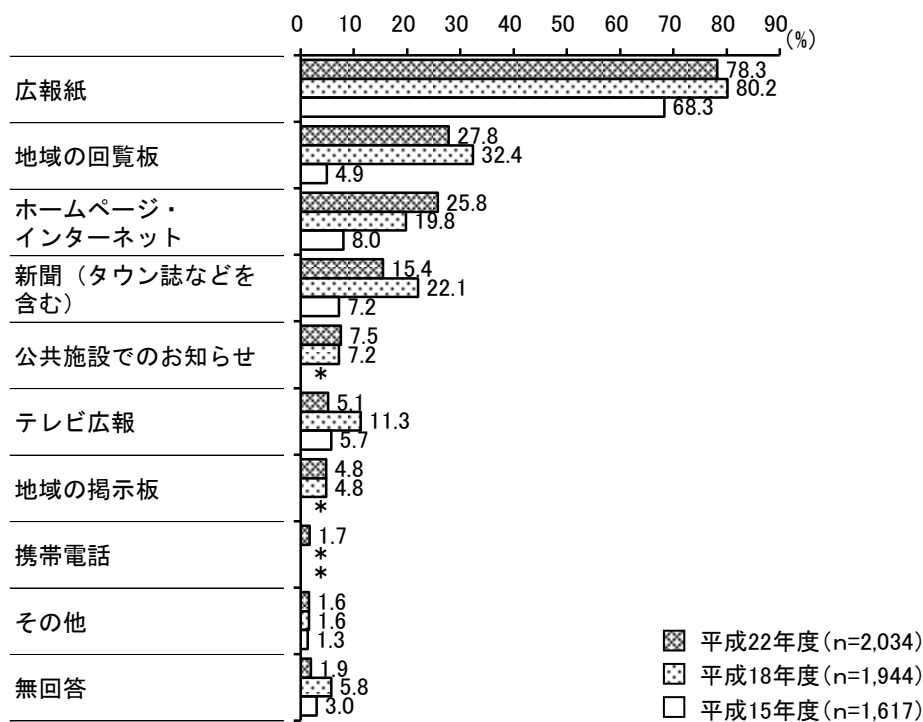
◎ 「広報紙」が7割後半。

問22. あなたは、市からの情報を得る手段として、どのような方法を利用しますか。(〇は2つまで)

市からの情報取得の手段を聞いたところ、「広報紙」が群を抜いて最も多く78.3%となっている。次いで、「地域の回覧板」が27.8%、「ホームページ・インターネット」が25.8%、「新聞(タウン誌などを含む)」が15.4%の順となっている。

前回調査との推移をみると、「ホームページ・インターネット」は6.0ポイント増加しているが、「新聞(タウン誌などを含む)」は6.7ポイント、「テレビ広報」は6.2ポイント減少している。

図4-1-1



※平成15年度は情報取得の手段の主なものを1つだけ聞いた

※平成15年度は「公共施設でのお知らせ」と「地域の掲示板」は分割されておらず「公共施設や地域の掲示板」1.6%であった

※「携帯電話」は平成22年度より追加

性別にみると、男性は「ホームページ・インターネット」が 8.5 ポイント高く、女性は「広報紙」が 7.9 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「地域の回覧板」は 20 代で 1 割前半であるが、年齢が高くなるにつれて増加傾向となり、70 歳以上では 4 割となっている。一方、「ホームページ・インターネット」は年齢が低いほど割合が多く 20 代から 30 代で 4 割以上となっている。「新聞（タウン誌を含む）」は 60 代で 2 割前半となっている。

居住地区別にみると、「地域の回覧板」は実花で 4 割後半、「ホームページ・インターネット」は向山、津田沼及び秋津・茜浜で 3 割以上、「新聞（タウン誌を含む）」は袖ヶ浦西で 2 割前半と多くなっている。

表 4-1-1 情報の入手方法：性別・年齢別、居住地区別

		(%)										
		全 体	広 報 紙	ホ ー ム ペ ー ジ 、 イ ン タ ー ネ ッ ト	地 域 の 回 覧 板	地 域 の 掲 示 板	公 共 施 設 で の お 知 ら せ	テ レ ビ 広 報	新 聞 （ タ ウ ン 誌 な ど を 含 む）	携 帯 電 話	そ の 他	無 回 答
全 体		2,034	78.3	25.8	27.8	4.8	7.5	5.1	15.4	1.7	1.6	1.9
性別・年齢別	男性	890	73.9	30.6	23.7	5.1	7.4	5.1	17.6	1.9	1.9	1.8
	女性	1,126	81.8	22.1	31.0	4.6	7.6	5.1	13.8	1.6	1.3	1.9
	20代	180	58.3	41.1	13.3	5.6	7.8	8.9	10.0	6.1	2.8	1.1
	30代	371	68.7	45.8	16.4	3.0	7.3	5.4	14.8	2.7	1.6	0.3
	40代	339	79.1	38.1	21.2	5.0	5.0	3.2	11.8	2.7	1.5	2.4
	50代	321	83.2	24.9	26.8	4.0	7.2	6.2	17.1	0.9	2.5	1.9
	60代	435	84.8	11.0	38.2	4.4	7.8	4.4	22.3	0.5	0.5	1.4
	70歳以上	381	84.3	5.8	40.9	7.3	9.4	4.5	12.6	-	1.3	4.2
居住地区別	谷津	154	72.7	29.9	26.0	5.8	8.4	3.2	14.9	2.6	1.9	0.6
	向山	182	76.9	31.9	11.5	4.9	10.4	7.1	19.2	2.2	1.1	0.5
	袖ヶ浦西	124	75.0	14.5	12.9	8.1	14.5	9.7	23.4	-	1.6	6.5
	袖ヶ浦東	54	85.2	18.5	37.0	16.7	3.7	1.9	7.4	1.9	-	3.7
	津田沼	221	76.0	32.6	21.7	3.2	5.4	4.1	15.8	0.9	2.7	2.7
	鷺沼・鷺沼台	177	76.3	25.4	26.6	2.3	9.0	6.8	11.9	2.8	0.6	2.8
	藤崎	184	78.8	22.3	34.2	3.3	6.0	2.7	16.3	1.1	1.1	0.5
	大久保・泉・本大久保	210	79.0	25.2	25.2	5.2	6.2	4.8	19.0	1.0	1.0	1.4
	本大久保・花咲・屋敷	206	83.0	25.7	31.1	6.8	4.9	4.4	12.1	1.9	2.4	1.0
	実籾・新栄	135	77.0	18.5	41.5	3.0	6.7	8.1	15.6	2.2	0.7	2.2
	実花	77	80.5	22.1	48.1	1.3	5.2	2.6	10.4	-	-	2.6
	東習志野	109	77.1	28.4	35.8	7.3	6.4	8.3	14.7	1.8	0.9	2.8
	秋津・茜浜	103	82.5	30.1	30.1	3.9	8.7	2.9	11.7	1.0	4.9	-
	香澄・芝園	91	82.4	23.1	31.9	2.2	9.9	2.2	14.3	5.5	2.2	2.2

4-2 知りたい情報

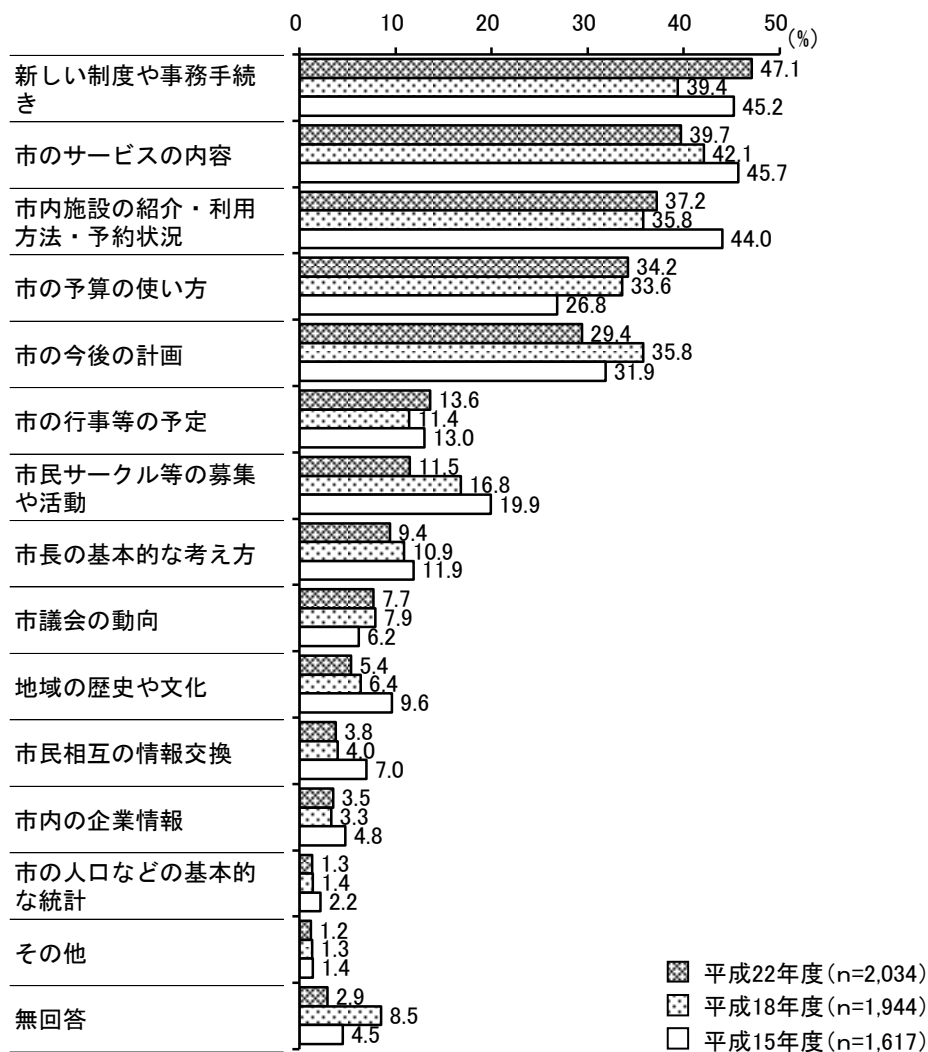
◎ 「新しい制度や事務手続き」が4割後半。

問23. あなたが、市民として知りたい情報は何か。(〇は3つまで)

市民として知りたい情報を聞いたところ、「新しい制度や事務手続き」が最も多く47.1%となっている。次いで、「市のサービスの内容」が39.7%、「市内施設の紹介・利用方法・予約状況」が37.2%、「市の予算の使い方」が34.2%の順となっている。

前回調査との推移をみると、「新しい制度や事務手続き」は7.7ポイント増加している。一方、「市の今後の計画」は6.4ポイント、「市民サークル等の募集や活動」は5.3ポイント減少している。

図 4-2-1



第3章. 調査結果の分析

性別にみると、男性は「市の予算の使い方」が 12.1、「市の今後の計画」が 9.7 ポイント、「市長の基本的な考え方」が 5.1 ポイント高く、女性は「市のサービス内容」が 9.5 ポイント、「新しい制度や事務手続き」が 5.9 ポイント、「市民サークル等の募集」が 5.5 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「新しい制度や事務手続き」は 30 代から 50 代で 5 割以上、「市のサービスの内容」は 30 代から 50 代で 4 割前半以上、「市内施設の紹介・利用方法・予約状況」は 30 代で 4 割半ば、「市の予算の使い方」は 60 代で 4 割となっている。

居住地区別にみると、「市内施設の紹介・利用方法・予約状況」は袖ヶ浦東で 5 割、「市のサービスの内容」は鷺沼・鷺沼台と東習志野で 4 割前半、「市の予算の使い方」は東習志野で 4 割、「市の行事等の予定」は袖ヶ浦東と東習志野で 2 割となっている。

表 4-2-1 知りたい情報：性別・年齢別、居住地区別

		(%)																	
		全 体	新 し い 制 度 や 事 務 手 続 き	法 市 内 施 設 の 紹 介 ・ 利 用 方 法	市 長 の 基 本 的 な 考 え 方	市 議 会 の 動 向	市 の 予 算 の 使 い 方	市 の サ ー ビ ス の 内 容	市 の 今 後 の 計 画	統 計	市 の 人 口 な ど の 基 本 的 な	市 の 行 事 等 の 予 定	地 域 の 歴 史 や 文 化	市 内 の 企 業 情 報	市 民 相 互 の 情 報 交 換	活 動	市 民 サ ー ク ル 等 の 募 集 や	そ の 他	無 回 答
全体		2,034	47.1	37.2	9.4	7.7	34.2	39.7	29.4	1.3	13.6	5.4	3.5	3.8	11.5	1.2	2.9		
性別・年齢別	男性	890	44.0	35.2	12.2	9.9	41.1	34.5	34.9	2.2	12.8	5.4	4.5	3.7	8.4	1.5	2.5		
	女性	1,126	49.9	38.9	7.1	5.9	29.0	44.0	25.2	0.5	14.3	5.2	2.6	3.9	13.9	1.0	3.0		
	20代	180	45.6	36.1	6.1	5.6	38.3	39.4	28.9	2.2	12.2	5.6	3.3	3.9	13.9	2.2	0.6		
	30代	371	56.1	43.9	6.2	4.0	30.7	43.9	24.0	1.3	19.1	2.4	4.0	1.6	15.6	1.6	0.8		
	40代	339	54.0	38.1	3.5	7.1	31.3	43.7	31.0	1.2	14.5	5.6	1.8	4.4	10.3	0.9	1.8		
	50代	321	51.7	33.3	5.6	5.6	33.0	49.2	27.1	1.6	11.8	4.4	3.4	4.0	9.3	0.9	2.8		
	60代	435	39.1	34.9	13.8	11.3	41.6	34.9	32.2	1.1	10.3	7.1	3.7	4.1	14.7	0.7	2.8		
	70歳以上	381	38.3	36.5	17.6	10.2	31.0	29.1	32.5	1.0	13.4	6.6	4.2	4.7	5.5	1.3	7.3		
居住地区別	谷津	154	46.8	31.2	9.1	3.9	34.4	40.9	29.9	0.6	13.0	3.9	3.9	7.8	14.3	3.2	2.6		
	向山	182	56.0	40.1	8.8	9.3	35.2	40.1	31.3	2.2	8.8	6.0	2.2	2.7	9.3	1.1	0.5		
	袖ヶ浦西	124	48.4	38.7	4.0	9.7	34.7	39.5	31.5	0.8	11.3	4.8	3.2	4.8	9.7	1.6	5.6		
	袖ヶ浦東	54	51.9	51.9	11.1	7.4	29.6	40.7	25.9	-	20.4	3.7	5.6	7.4	7.4	-	1.9		
	津田沼	221	43.4	38.5	11.8	3.6	31.7	41.2	29.9	1.4	18.1	3.6	3.2	3.2	13.6	1.4	3.2		
	鷺沼・鷺沼台	177	44.6	34.5	6.2	7.3	31.6	44.6	26.6	2.3	13.6	5.6	4.0	6.8	11.3	-	4.0		
	藤崎	184	44.0	38.0	10.3	6.0	35.9	42.4	29.9	1.1	13.0	4.3	3.8	3.8	15.8	1.1	1.6		
	大久保・泉・本大久保	210	48.1	33.3	9.5	9.0	36.7	38.1	29.0	1.9	12.4	7.6	4.3	1.9	9.5	1.0	2.9		
	本大久保・花咲・屋敷	206	51.0	34.0	8.7	10.2	35.9	31.6	30.6	1.9	12.6	4.9	2.9	3.9	9.2	1.5	2.4		
	実籾・新栄	135	43.0	35.6	14.1	10.4	30.4	40.7	29.6	-	11.9	3.0	3.7	3.0	9.6	-	5.9		
	実花	77	55.8	42.9	10.4	7.8	35.1	40.3	24.7	-	10.4	5.2	5.2	2.6	10.4	-	2.6		
	東習志野	109	41.3	43.1	8.3	4.6	41.3	43.1	27.5	0.9	20.2	5.5	4.6	2.8	9.2	0.9	2.8		
	秋津・茜浜	103	44.7	35.9	10.7	8.7	28.2	38.8	33.0	-	15.5	9.7	2.9	2.9	17.5	1.0	2.9		
	香澄・芝園	91	45.1	39.6	8.8	9.9	34.1	35.2	28.6	3.3	15.4	7.7	-	1.1	13.2	3.3	2.2		

第5節 仕事や家庭以外での活動について

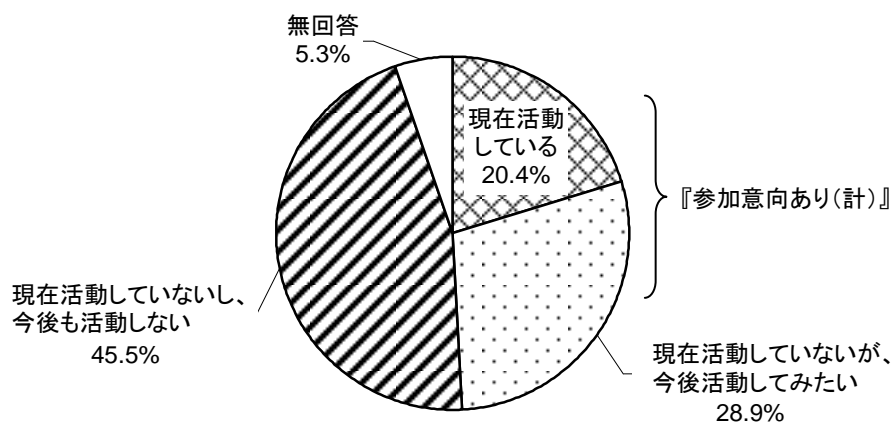
5-1 活動への参加状況

◎ 「現在も活動していないし、今後も活動しない」が4割半ば。

問24. あなたは現在、仕事や家庭以外で何か活動をしていますか。(1つだけに○)

仕事や家庭以外での活動について聞いたところ、「現在も活動していないし、今後も活動しない」が45.5%で最も多くなっている。「現在活動している」の20.4%と「現在活動していないが、今後活動してみたい」の28.9%を合わせた『参加意向あり(計)』は49.3%と約半数を占めている。

図 5-1-1

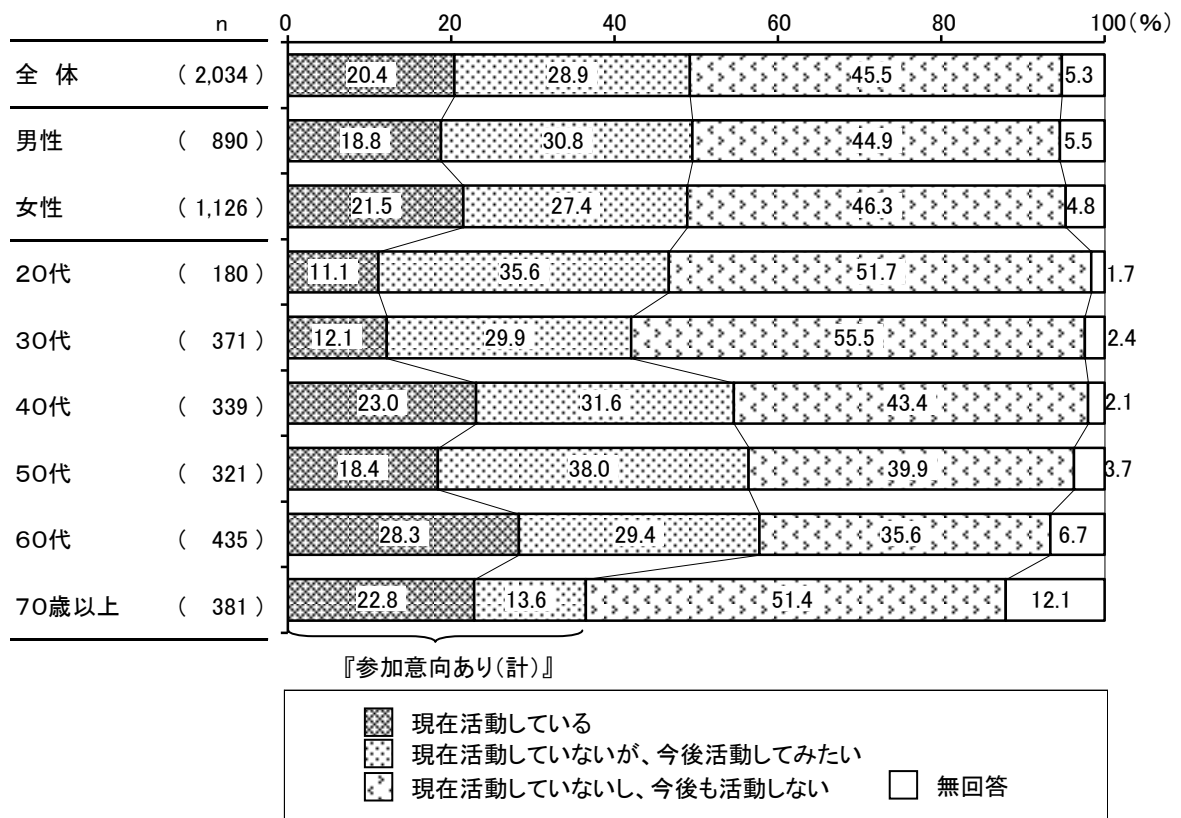


n=2,034

性別にみると、男性と女性との差はあまりみられず、『参加意向あり（計）』は約5割となっている。

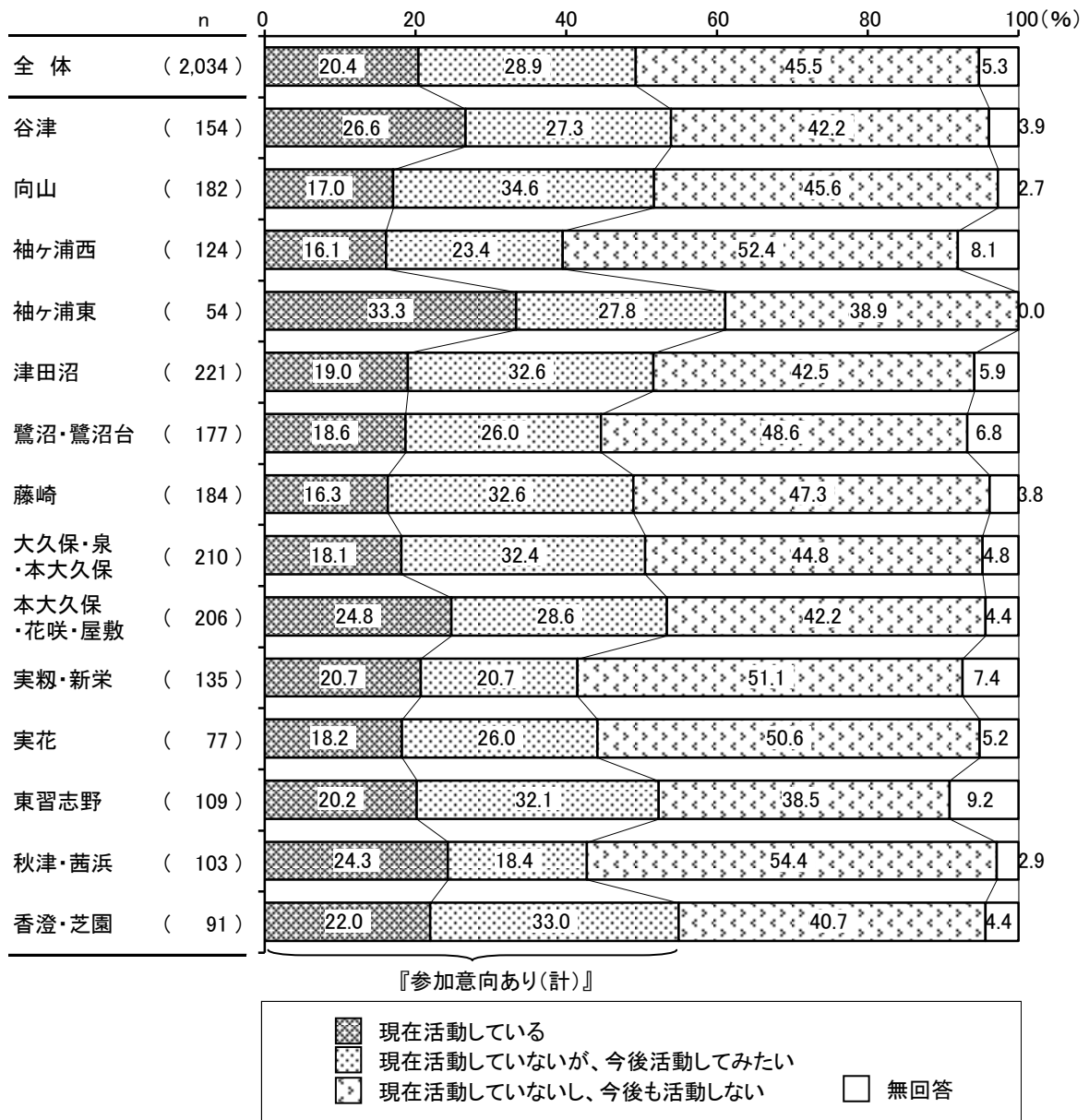
年齢別にみると、『参加意向あり（計）』は40代から60代で5割半ばと多くなっている。一方、20代から30代では「現在活動していないし、今後も活動しない」が5割以上となっている。

図 5-1-2 活動への参加状況：性別・年齢別



居住地区別にみると、『参加意向あり(計)』は袖ヶ浦東で61.1%、香澄・芝園で55.0%、谷津で53.9%、大久保・花咲・屋敷で53.4%、東習志野で52.3%、向山と津田沼で51.6%、大久保・泉・本大久保で50.5%となっている。

図 5-1-3 活動への参加状況：居住地区別



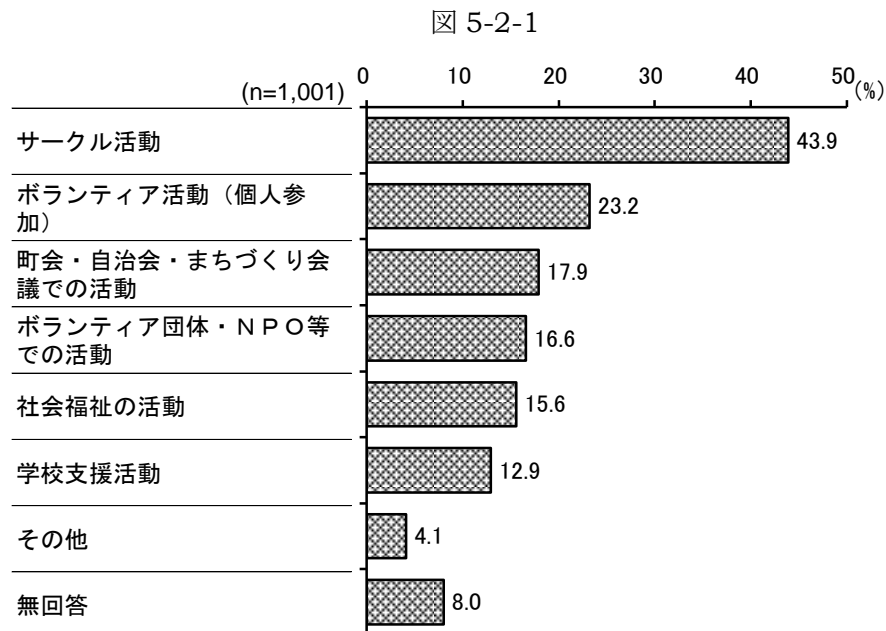
5-2 活動する団体

◎ 「サークル活動」が4割前半。

【問24で「現在活動している」「現在活動していないが、今後活動してみたい」と答えた方に対して】

問24-1. どのような団体での活動ですか。(〇はいくつでも)

仕事や家庭以外で活動しているまたは活動したいと答えた 1,001 人に活動している団体を聞いたところ、「サークル活動」が最も多く 43.9%となっている。次いで、「ボランティア活動（個人参加）」が 23.2%、「町会・自治会・まちづくり会議での参加」が 17.9%の順となっている。



性別にみると、男性は「町会・自治会・まちづくり会議での活動」が 11.8 ポイント高く、女性は「社会福祉の活動」が 7.3 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「サークル活動」は 60 代で 5 割を占め、「ボランティア活動（個人参加）」は 60 代で 3 割弱、「ボランティア団体・NPO 等での活動」は 40 代で 2 割となっている。

居住地区別にみると、「サークル活動」は実花で 5 割後半、「ボランティア活動（個人参加）」は津田沼で 3 割、「社会福祉の活動」は実花で 2 割半ば、「学校支援活動」は藤崎で 2 割となっている。

表 5-2-1 活動する団体：性別・年齢別、居住地区別

		(%)								
		全 体	N ボ ラン テイ ア活 動団 体・	ボ ラン テイ ア活 動（個 人参 加）	く 町 会・ 自 治 会・ ま ち づ り 会 議 で の 活 動	学 校 支 援 活 動	社 会 福 祉 の 活 動	サ ー ク ル 活 動	そ の 他	無 回 答
全 体		1,001	16.6	23.2	17.9	12.9	15.6	43.9	4.1	8.0
性別・ 年齢別	男性	441	16.6	22.2	24.5	11.3	11.6	41.3	4.5	7.3
	女性	551	16.5	24.1	12.7	14.2	18.9	45.6	3.6	8.7
	20代	84	17.9	20.2	13.1	7.1	11.9	48.8	3.6	14.3
	30代	156	12.8	16.7	17.3	19.9	13.5	47.4	5.1	6.4
	40代	185	22.7	20.5	14.6	22.7	17.8	31.9	6.5	6.5
	50代	181	19.3	24.3	17.1	13.3	17.1	37.6	3.3	9.9
	60代	251	14.3	29.1	20.3	6.0	16.7	50.6	4.0	6.0
	70歳以上	139	12.9	23.7	23.0	7.2	13.7	47.5	1.4	9.4
居住 地区 別	谷津	83	14.5	18.1	22.9	13.3	12.0	43.4	4.8	1.2
	向山	94	18.1	27.7	12.8	11.7	17.0	46.8	3.2	8.5
	袖ヶ浦西	49	14.3	28.6	16.3	12.2	14.3	40.8	-	10.2
	袖ヶ浦東	33	18.2	24.2	15.2	15.2	15.2	42.4	3.0	12.1
	津田沼	114	21.9	30.7	14.9	13.2	18.4	40.4	1.8	7.9
	鷺沼・鷺沼台	79	19.0	21.5	19.0	10.1	13.9	41.8	7.6	6.3
	藤崎	90	17.8	18.9	15.6	20.0	15.6	40.0	5.6	6.7
	大久保・泉・本大久保	106	15.1	26.4	18.9	6.6	19.8	48.1	1.9	3.8
	本大久保・花咲・屋敷	110	17.3	19.1	20.9	17.3	12.7	39.1	4.5	10.9
	実籾・新栄	56	19.6	16.1	21.4	10.7	12.5	48.2	5.4	10.7
	実花	34	5.9	17.6	23.5	11.8	23.5	58.8	5.9	-
	東習志野	57	10.5	26.3	22.8	14.0	17.5	49.1	3.5	12.3
	秋津・茜浜	44	6.8	18.2	11.4	11.4	13.6	45.5	6.8	13.6
香澄・芝園	50	22.0	24.0	16.0	12.0	12.0	40.0	6.0	14.0	

5-3 活動している内容

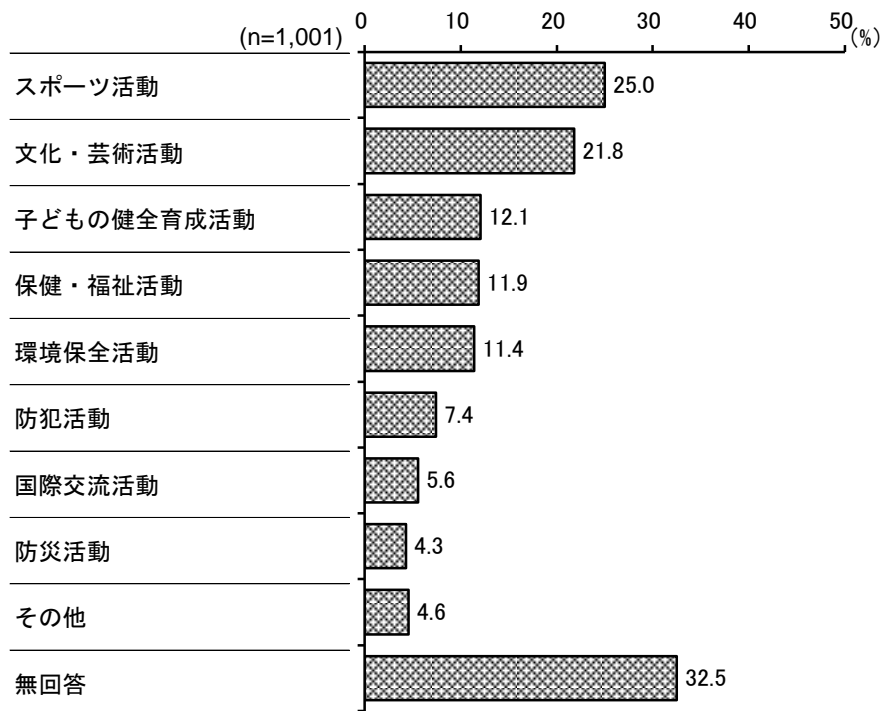
◎ 「スポーツ活動」が2割半ば。

【問24で「現在活動している」「現在活動していないが、今後活動してみたい」と答えた方に対して】

問24-2. 活動されている内容は、どれにあてはまりますか。(〇はいくつでも)

同様に、仕事や家庭以外で活動しているまたは活動したいと答えた1,001人に活動内容を聞いたところ、「スポーツ活動」が25.0%で最も多く、次いで、「文化・芸術活動」が21.8%、「子どもの健全育成活動」が12.1%、「保健・福祉活動」が11.9%、「環境保全活動」が11.4%の順となっている。

図 5-3-1



性別にみると、男性は「環境保全活動」が 8.3 ポイント、「スポーツ活動」が 6.8 ポイント高く、女性は「保健・福祉活動」が 6.7 ポイント、「文化・芸術活動」が 6.9 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「スポーツ活動」は 20 代で 4 割、「文化・芸術活動」は 70 歳以上で 3 割弱と多くなっている。

居住地区別にみると、「スポーツ活動」は実花と向山で 3 割半ば以上、「文化・芸術活動」は袖ヶ浦東で 3 割半ば、「保健・福祉活動」は袖ヶ浦西で 2 割、「環境保全活動」と「子どもの健全育成活動」は実花で 2 割となっている。

表 5-3-1 活動している内容：性別・年齢別、居住地区別

		(%)										
		全 体	保 健 ・ 福 祉 活 動	文 化 ・ 芸 術 活 動	ス ポ ー ツ 活 動	環 境 保 全 活 動	防 災 活 動	防 犯 活 動	国 際 交 流 活 動	子 ど も の 健 全 育 成 活 動	そ の 他	無 回 答
全 体		1,001	11.9	21.8	25.0	11.4	4.3	7.4	5.6	12.1	4.6	32.5
性別・年齢別	男性	441	8.2	18.1	28.6	15.9	7.3	10.4	5.0	11.1	4.8	29.3
	女性	551	14.9	25.0	21.8	7.6	1.8	5.1	6.2	13.1	4.4	35.2
	20代	84	13.1	15.5	40.5	6.0	3.6	3.6	4.8	14.3	4.8	29.8
	30代	156	12.8	19.2	32.7	11.5	3.8	9.0	14.7	18.6	6.4	25.6
	40代	185	9.7	16.8	23.2	11.9	3.2	7.6	6.5	17.3	2.7	31.9
	50代	181	9.9	22.7	19.3	12.7	3.9	6.6	4.4	9.9	3.3	40.3
	60代	251	12.7	24.3	23.5	11.2	5.2	6.4	2.4	6.0	5.2	35.9
	70歳以上	139	14.4	29.5	20.1	12.2	5.8	10.8	2.2	10.8	5.8	25.2
居住地区別	谷津	83	9.6	22.9	21.7	12.0	3.6	6.0	4.8	13.3	7.2	28.9
	向山	94	13.8	19.1	34.0	8.5	5.3	2.1	9.6	12.8	3.2	28.7
	袖ヶ浦西	49	20.4	26.5	16.3	14.3	6.1	10.2	6.1	10.2	6.1	30.6
	袖ヶ浦東	33	18.2	36.4	27.3	12.1	3.0	9.1	-	6.1	-	36.4
	津田沼	114	11.4	27.2	26.3	13.2	4.4	6.1	12.3	11.4	2.6	28.9
	鷺沼・鷺沼台	79	10.1	25.3	24.1	11.4	5.1	12.7	10.1	13.9	6.3	25.3
	藤崎	90	10.0	8.9	26.7	4.4	4.4	10.0	3.3	14.4	5.6	42.2
	大久保・泉・本大久保	106	10.4	18.9	21.7	12.3	2.8	3.8	0.9	7.5	4.7	41.5
	本大久保・花咲・屋敷	110	15.5	20.0	19.1	13.6	5.5	10.9	7.3	16.4	4.5	31.8
	実花・新栄	56	7.1	19.6	21.4	8.9	5.4	7.1	1.8	8.9	7.1	37.5
	実花	34	14.7	26.5	38.2	20.6	-	8.8	2.9	20.6	2.9	14.7
	東習志野	57	7.0	14.0	22.8	14.0	5.3	5.3	1.8	14.0	3.5	42.1
	秋津・茜浜	44	11.4	29.5	27.3	13.6	-	9.1	2.3	13.6	4.5	20.5
	香澄・芝園	50	12.0	26.0	30.0	6.0	6.0	6.0	4.0	4.0	4.0	34.0

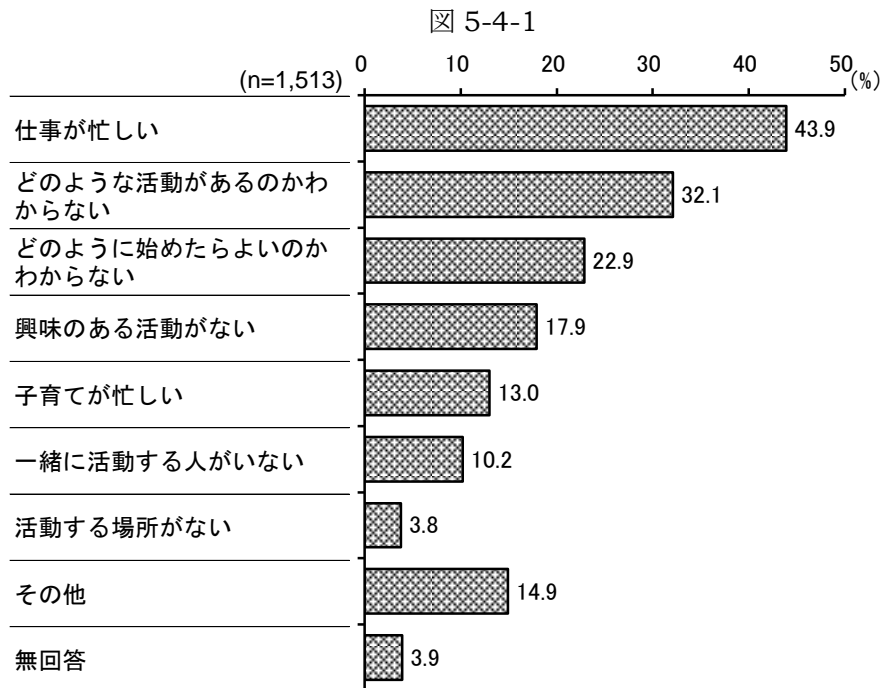
5-4 市民活動に参加していない理由

◎ 「仕事が忙しい」が4割を超える。

【問24で「現在活動していないが、今後活動してみたい」「現在活動していないし、今後も活動しない」と答えた方に対して】

問24-3. 現在活動していないのは、どのような理由ですか。(〇はいくつでも)

仕事や家庭以外で今後活動してみたい、または今後も活動しないと答えた 1,513 人に活動しない理由を聞いたところ、「仕事が忙しい」が 43.9%で最も多くなっている。次いで、「どのような活動があるのかわからない」が 32.1%、「どのように始めたらよいかかわからない」が 22.9%、「興味のある活動がない」が 17.9%の順となっている。



性別にみると、男性は「仕事が忙しい」が 14.8 ポイント高く、女性は「子育てが忙しい」が 9.6 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「仕事が忙しい」は 30 代から 50 代で 5 割を超え、50 代では 6 割を占めている。「どのような活動があるのかわからない」は 20 代で 4 割半ば、「子育てが忙しい」は 30 代で 3 割後半となっている。

居住地区別にみると、「興味のある活動がない」は香澄・芝園で 2 割半ば、「どのような活動があるのかわからない」は向山で 4 割弱、「どのように始めたらよいかかわからない」は大久保・泉・本大久保で 3 割と多くなっている。

表 5-4-1 参加していない理由：性別・年齢別、居住地区別

		全 体	興 味 の あ る 活 動 が な い	仕 事 が 忙 し い	子 育 て が 忙 し い	の ど の か の よ う な 活 動 が あ る の か わ か ら な い	な い 一 緒 に 活 動 す る 人 が い ない	活 動 す る 場 所 が な い	い ど の か の よ う に 始 め た ら よ い か わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全 体		1,513	17.9	43.9	13.0	32.1	10.2	3.8	22.9	14.9	3.9
性別・年齢別	男性	674	19.6	52.1	7.7	33.2	11.4	5.3	21.8	12.8	3.6
	女性	830	16.5	37.3	17.3	31.2	9.2	2.4	23.7	16.7	4.1
	20代	157	22.9	45.9	8.9	44.6	12.7	2.5	27.4	8.3	1.9
	30代	317	17.4	55.2	37.2	35.0	13.6	4.7	24.9	4.1	2.2
	40代	254	17.7	55.5	21.3	29.1	6.7	2.4	20.1	5.9	3.9
	50代	250	17.2	60.4	2.4	32.0	9.6	3.6	20.0	10.4	1.6
	60代	283	20.5	33.2	0.7	36.7	9.5	3.5	28.6	17.7	4.6
	70歳以上	248	13.7	11.7	0.8	17.3	9.3	5.6	16.9	44.0	8.9
居住地区別	谷津	107	21.5	46.7	16.8	24.3	12.1	6.5	17.8	12.1	4.7
	向山	146	11.0	46.6	8.9	39.7	7.5	6.8	23.3	15.8	4.1
	袖ヶ浦西	94	22.3	43.6	7.4	33.0	6.4	1.1	18.1	16.0	3.2
	袖ヶ浦東	36	19.4	38.9	13.9	25.0	8.3	-	19.4	25.0	5.6
	津田沼	166	21.7	39.8	11.4	33.7	12.0	4.2	26.5	13.9	3.6
	鷺沼・鷺沼台	132	15.9	48.5	10.6	36.4	13.6	6.1	19.7	15.2	4.5
	藤崎	147	17.7	46.3	18.4	32.0	8.8	1.4	23.8	10.2	4.1
	大久保・泉・本大久保	162	17.3	38.9	11.1	36.4	13.6	2.5	30.9	13.6	1.2
	本大久保・花咲・屋敷	146	13.7	46.6	15.8	28.8	8.9	1.4	21.9	16.4	3.4
	実籾・新栄	97	19.6	36.1	10.3	23.7	10.3	3.1	21.6	18.6	4.1
	実花	59	15.3	45.8	13.6	28.8	5.1	3.4	18.6	22.0	5.1
	東習志野	77	18.2	48.1	18.2	32.5	13.0	3.9	19.5	13.0	5.2
	秋津・茜浜	75	18.7	42.7	10.7	29.3	8.0	10.7	26.7	17.3	4.0
香澄・芝園	67	25.4	44.8	17.9	31.3	9.0	1.5	20.9	11.9	6.0	

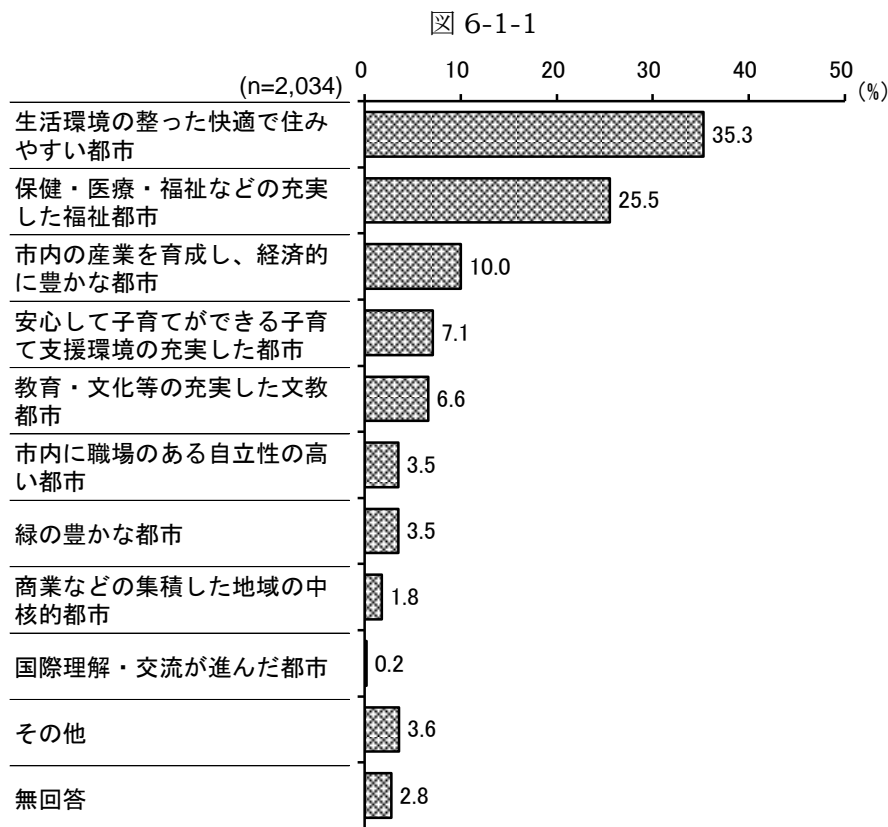
第6節 都市イメージ（将来像）について

6-1 希望する習志野市の都市イメージ

◎ 「生活環境の整った快適で住みやすい都市」が3割半ば。

問25. あなたは、習志野市がどのようなまちになって欲しいと思いますか。（1つだけに○）

習志野市の都市としてのありかたについて聞いたところ、「生活環境の整った快適で住みやすい都市」が35.3%で最も多く、次いで「保健・医療・福祉などの充実した福祉都市」が25.5%の順となっている。



性別にみると、男性は「生活環境の整った快適で住みやすい都市」が 5.0 ポイント高く、女性は「保健・医療・福祉などの充実した福祉都市」が 8.8 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「保健・医療・福祉などの充実した福祉都市」は 20 代で 1 割であるが、年齢が高くなるにつれて増加傾向となり、70 歳以上では 3 割半ばとなっている。「生活環境の整った快適で住みやすい都市」は 50 代で 4 割となっている。

居住地区別にみると、「生活環境の整った快適で住みやすい都市」は香澄・芝園で 5 割弱、「保健・医療・福祉などの充実した福祉都市」は袖ヶ浦西で 3 割後半となっている。「教育・文化等の充実した文教都市」は本大久保・花咲・屋敷で若干多くなっている。

表 6-1-1 習志野市のイメージ：性別・年齢別、居住地区別

(%)

		全 体	済市 内的 に豊 かな 都市	商 業 核 心 地 域	市 内 に 職 場 の あ る 自 立 性	住 生 活 環 境 の 整 つ た 快 適 で	文 教 育 ・ 文 化 等 の 充 実 し た	充 実 し た 福 祉 ・ 福 祉 な ど の	緑 の 豊 か な 都 市	都 国 際 理 解 ・ 交 流 が 進 ん だ	た 子 安 心 し て 支 援 環 境 の 充 実 し る	そ の 他	無 回 答
全 体		2,034	10.0	1.8	3.5	35.3	6.6	25.5	3.5	0.2	7.1	3.6	2.8
性別・年齢別	男性	890	10.6	2.4	4.0	38.1	7.9	20.6	4.5	0.3	5.8	2.8	3.0
	女性	1,126	9.6	1.4	3.1	33.1	5.6	29.4	2.6	0.1	8.3	4.4	2.5
	20代	180	8.9	2.8	7.8	37.8	8.3	15.0	4.4	-	11.1	3.3	0.6
	30代	371	8.1	2.7	2.4	33.7	8.1	17.0	4.6	0.3	18.1	3.2	1.9
	40代	339	8.6	2.1	2.7	37.2	9.7	23.9	3.2	-	7.7	2.9	2.1
	50代	321	10.0	1.2	4.4	40.5	6.2	25.2	2.5	0.3	4.4	3.4	1.9
	60代	435	11.0	1.6	3.2	35.9	5.3	30.8	3.2	0.2	2.5	4.8	1.4
70歳以上	381	12.6	1.0	2.9	28.9	3.4	34.1	3.4	0.3	1.8	3.7	7.9	
居住地区別	谷津	154	7.1	1.9	0.6	37.0	8.4	24.0	8.4	-	7.1	3.2	1.9
	向山	182	9.3	1.6	5.5	38.5	4.9	24.7	3.8	0.5	6.6	1.1	3.3
	袖ヶ浦西	124	12.1	2.4	4.0	21.0	7.3	37.9	2.4	-	4.0	6.5	2.4
	袖ヶ浦東	54	11.1	1.9	1.9	37.0	9.3	25.9	-	1.9	1.9	3.7	5.6
	津田沼	221	9.0	4.1	4.5	38.0	3.6	27.6	1.8	0.5	6.8	2.7	1.4
	鷺沼・鷺沼台	177	11.9	1.1	3.4	27.7	5.1	26.6	5.1	0.6	9.6	5.1	4.0
	藤崎	184	8.7	3.3	3.3	37.5	6.5	23.4	3.8	-	9.2	2.2	2.2
	大久保・泉・本大久保	210	9.5	2.9	4.3	43.3	6.7	20.5	2.4	-	7.1	2.4	1.0
	本大久保・花咲・屋敷	206	11.7	0.5	2.4	31.6	10.2	26.7	1.5	-	8.7	3.4	3.4
	実籾・新栄	135	9.6	-	5.9	30.4	7.4	24.4	4.4	-	7.4	5.2	5.2
	実花	77	11.7	1.3	3.9	33.8	5.2	27.3	5.2	-	3.9	3.9	3.9
	東習志野	109	9.2	-	2.8	32.1	3.7	30.3	2.8	-	10.1	4.6	4.6
	秋津・茜浜	103	11.7	1.9	1.9	36.9	7.8	25.2	3.9	-	3.9	4.9	1.9
香澄・芝園	91	9.9	-	2.2	49.5	7.7	14.3	3.3	-	5.5	5.5	2.2	

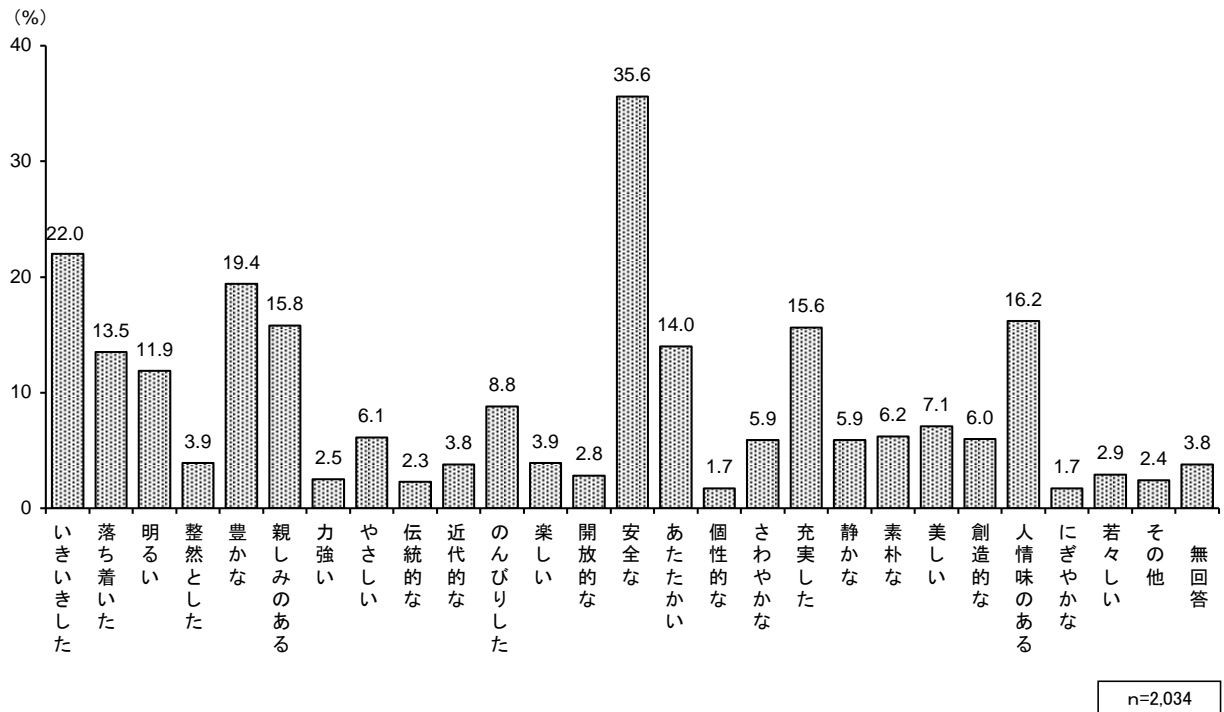
6-2 習志野市のイメージとしてふさわしい言葉

◎ 「安全な」習志野市が3割半ば。

問26. 将来の習志野市のイメージとしてどの言葉がふさわしいと思いますか。
(〇は3つまで)

将来の習志野市のイメージについて聞いたところ、「安全な」が35.6%で最も多くなっている。次いで、「いきいきした」が22.0%、「豊かな」が19.4%、「人情味のある」が16.2%、「親しみのある」が15.8%、「充実した」が15.6%の順となっている。

図 6-2-1



性別にみると、男性は「落ち着いた」が 3.4 ポイント高く、女性は「いきいきした」が 4.6 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「安全な」は 50 代で 4 割となっている。「人情味のある」は 70 歳以上で 2 割後半、「いきいきした」は 60 代以上で 2 割半ば、「豊かな」は 40 代で 2 割前半、「充実した」は 30 代で 2 割、「のんびりした」は 20 代で 2 割となっている。

居住地区別にみると、「安全な」は袖ヶ浦東と実花で 4 割以上、「いきいきした」は袖ヶ浦東で 3 割前半、「豊かな」は実花で 3 割前半、「親しみのある」は実花・新栄で 2 割となっている。

表 6-2-1 将来の習志野市のイメージ：性別・年齢別、居住地区別（上位 10 位）

		(%)										
		全 体	安全 な	いき いき した	豊 か な	人 情 味 の あ る	親 し み の あ る	充 実 し た	あ た た か い	落 ち 着 い た	明 る い	の ん び り し た
全 体		2,034	35.6	22.0	19.4	16.2	15.8	15.6	14.0	13.5	11.9	8.8
性別・ 年齢別	男性	890	35.8	19.6	18.2	15.3	16.5	14.5	11.8	15.5	10.8	9.3
	女性	1,126	35.6	24.2	20.2	17.1	15.4	16.5	15.7	12.1	12.7	8.3
	20代	180	30.6	20.6	18.9	10.6	18.9	15.0	15.6	13.9	9.4	20.6
	30代	371	33.4	17.3	19.4	8.1	16.4	20.2	13.7	13.7	9.4	15.1
	40代	339	34.8	23.6	22.4	10.3	13.9	18.3	14.5	14.7	9.7	7.7
	50代	321	41.7	20.6	18.1	13.4	14.6	14.6	15.6	13.4	10.6	8.7
	60代	435	37.7	24.1	20.5	21.4	14.3	14.3	14.5	15.4	13.1	3.7
	70歳以上	381	33.6	25.2	17.1	28.9	18.6	11.3	11.3	10.0	16.8	3.4
居住地区 別	谷津	154	36.4	18.2	14.3	12.3	14.9	19.5	16.9	13.6	11.0	11.7
	向山	182	32.4	18.7	18.1	10.4	10.4	13.2	15.4	13.7	14.3	7.7
	袖ヶ浦西	124	35.5	21.8	21.8	20.2	16.9	17.7	14.5	8.1	12.1	7.3
	袖ヶ浦東	54	42.6	33.3	20.4	20.4	14.8	14.8	9.3	16.7	7.4	3.7
	津田沼	221	33.9	21.3	18.1	15.4	19.0	17.2	12.2	14.9	9.0	10.0
	鷺沼・鷺沼台	177	36.7	19.2	21.5	16.4	14.7	15.3	10.2	8.5	10.2	7.3
	藤崎	184	37.5	19.0	21.2	13.6	14.7	16.3	13.6	11.4	10.3	10.3
	大久保・泉・本大久保	210	34.8	28.1	15.7	20.5	14.8	14.3	15.7	17.6	18.1	7.1
	本大久保・花咲・屋敷	206	39.3	21.8	19.9	15.0	18.4	14.1	14.6	17.0	10.7	8.7
	実花・新栄	135	37.0	27.4	23.0	23.0	20.7	14.8	9.6	10.4	11.1	11.1
	実花	77	40.3	26.0	32.5	14.3	15.6	19.5	14.3	9.1	13.0	3.9
	東習志野	109	37.6	20.2	20.2	18.3	15.6	15.6	19.3	11.0	13.8	10.1
	秋津・茜浜	103	28.2	22.3	19.4	15.5	11.7	15.5	14.6	17.5	11.7	6.8
香澄・芝園	91	29.7	20.9	13.2	17.6	16.5	13.2	14.3	18.7	11.0	11.0	

第4章. 調査結果のまとめ

1. 住みよさと定住意向について

(1) 居住年数

- ・習志野市での居住年数は、20 年以上（生まれてからずっとを含む）の『長期居住者』が 54.7%となっている。前回調査（平成 18 年度）より 3.4 ポイント増加し、年々増加傾向にある。5 年未満の『短期居住者』は 16.2%、5 年以上 20 年未満の『中期居住者』は 28.3%となっている。『長期居住者』が多いのは、袖ヶ浦西、袖ヶ浦東、秋津・茜浜、実籾・新栄地区で 6 割以上となっている。
- ・習志野市に居住する理由は、「通勤・通学が便利」が最も多く 22.9%、次いで「居住環境がよい」が 20.3%、「家族の都合」や「仕事（職場）の都合」が 17%台となっている。
- ・習志野市に住む前の居住地は「東京都内」が最も多く 25.0%となっている。また、半数は『千葉県内』（50.1%）からの転入であり、「千葉市」が 13.9%、「船橋市」が 17.3%となっている。20 代から 40 代では「その他の道府県」からの転入が、50 代以上では「東京都内」からの転入が多くなっている。

(2) 住みよさ

- ・習志野市が『住みよい』と感じている人は 79.2%で、前回調査より 0.9 ポイント減少したものの、ほぼ横ばいで推移している。特に、津田沼、香澄・芝園、秋津・茜浜、向山地区の満足度が高く 8 割以上となっている。
- ・住みやすいと感じる理由として、「交通が便利である」が 69.0%で最も多く、次いで「災害が少ない」が 31.2%、「自然環境に恵まれている」が 24.5%、「住宅事情がよい」が 21.9%の順となっている。「交通が便利である」は津田沼地区が 9 割を占めている。香澄・芝園地区は「自然環境に恵まれている」と「街並みが整備されている」の割合が多くなっている。
- ・住みにくいと感じる理由として、「交通が不便である」が 37.2%で最も多く、次いで「街に活気が乏しい」が 22.0%、「福祉・医療が充実していない」と「生活基盤が遅れている」が共に 19.9%となっている。「交通が不便である」は香澄・芝園地区で 7 割半ば、東習志野地区で 6 割半ばを占めている。「街並みが整備されていない」は藤崎地区で、「住宅事情が悪い」は実籾・新栄地区で多くなっている。

(3) 定住意向

- ・習志野市に今後も「住み続けたい」と思っている人は 54.8%で、前回調査より 0.8 ポイント増加している。一方、『転出したい』と思っている人は 17.1%で、前回調査より 6.3 ポイント減少している。特に、低年齢層では転出したい傾向

が多くみられる。

- ・定住したい理由として、「愛着がある」が 31.8%で最も多くなっている。「自然環境がよい」は香澄・芝園地区で、「通勤・通学が便利」と「買い物・遊びに便利」は津田沼地区で多くなっている。
- ・転出したい理由として、「家族の都合」が 23.9%、「仕事の都合」が 21.0%の順となっている。「家族の都合」は向山と袖ヶ浦東地区で 4 割、「仕事の都合」は袖ヶ浦東地区で 4 割、「住宅の都合」は東習志野地区で 3 割半ばを占めている。

2. 市政全般について

(1) 力を入れるべき施策

- ・習志野市として力を入れるべき施策については、「高齢者施策」が 66.9%、「安心で安全なまちづくり」が 58.5%、「子育て支援施策」が 41.2%、「都市整備（交通関係の施策を含む）」が 35.1%、「環境の施策」が 35.0%の順となっている。
- ・「高齢者施策」は袖ヶ浦西地区で最も多く 8 割を占めている。「都市整備（交通関係の施策を含む）」は谷津、実花地区で 4 割半ば、「子育て支援施策」は藤崎、東習志野地区で 4 割半ば、「環境の施策」は向山地区で 4 割以上となっている。
- ・「子育て支援施策」は 20 代から 30 代で、「高齢者施策」は 40 代以上で割合が多くなっている。

(2) 具体的に取り組むべき施策

【高齢者施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「福祉・介護施設等の整備」が 35.5%、「高齢者医療など経済的支援の充実」が 34.4%となっている。施設面や医療負担に対する経済面への要望が高くなっている。
- ・「高齢者医療など経済的支援の充実」は 60 代で 4 割、「働く場の確保」は 30 代で 3 割と多くなっている。

【障害者（児）施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「雇用対策・就労機会の充実」が 39.5%で最も多く、「生活機能向上のための支援」が 25.3%、「施設福祉サービスの充実」が 20.1%となっている。就労の機会や社会参加の支援への要望が高くなっている。
- ・「雇用対策・就労機会の充実」は働き世代である 40 代 50 代で 4 割半ばを占め、「生活機能向上のための支援」は 20 代で 3 割弱となっている。

【子育て支援施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「子育てと就労の両立支援」が 40.4%、「乳幼児の保育教育施設の整備」が 31.0%、「夜間保育や短期の一時預りなど保育メニューの充実」が 22.6%となっている。子育てと仕事を両立させたいものの子どもを預ける施設数が少ないことへの対策に要望が高くなっている。
- ・「夜間保育や短期の一時預りなど保育メニューの充実」は 20 代から 50 代で 2 割後半から 3 割を占めている。「乳幼児医療など経済的支援の充実」は 20 代と 30 代の若い世代で割合が多くなっている。

【健康づくりの施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「救急診療、休日・夜間診療等の充実」が 45.1%、「医療施設の充実」が 37.6%、「がん検診等健康診査の充実」が 23.1%となっている。休日や夜間診療の実施に対する要望や、健康管理を支援する施策への要望が高くなっている。
- ・「救急診療、休日・夜間診療等の充実」は 20 代 30 代で 5 割以上、「医療施設の充実」は 50 代で 4 割半ば、「小児救急医療体制の整備」は 30 代で 3 割前半となっている。

【学校教育の施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「いじめ・不登校を生まない教育の推進」が 39.9%、「教職員の資質の向上」が 37.2%、「確かな学力を培う教育の推進」が 27.9%となっている。いじめや不登校に対する対応策や学力定着への施策に関する要望が高くなっている。
- ・「教職員の資質の向上」は 40 代 50 代で 4 割、「確かな学力を培う教育の推進」は 40 代と 60 代で 3 割と多くなっている。

【生涯学習・生涯スポーツの施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「スポーツ施設の整備・充実」が 27.3%、「図書館の整備・充実」が 26.2%、「生涯学習施設の整備」が 20.0%となっている。各種施設の整備に関する要望が高くなっている。
- ・「スポーツ施設の整備・充実」や「図書館の整備・充実」は若い世代で割合が多く 3 割を超えている。一方、「各種公民館講座の充実」は年齢が高くなるにつれて割合が多く 2 割となっている。

【市民協働の施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「市民協働にかかわる市民、市民活動団体、企業・学校と市の連携、交流」が 29.0%、「町会、自治会活動の支援」が

第4章. 調査結果のまとめ

27.0%となっている。市との連携や交流、活動への支援に関する要望が高くなっている。

- ・「町会、自治会活動の支援」は70歳以上で3割前半、「まちづくりへの市民参画（まちづくり会議等）の促進」は20代で2割半ば、「ボランティア活動（個人）の支援」は40代で2割前半となっている。

【環境の施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「公園や緑地の整備」が29.6%、「ごみの減量化・リサイクルの推進」が25.6%、「自然環境の保全」が24.5%、「路上喫煙・ポイ捨て等の防止の強化」が24.3%となっている。自然環境の整備に付随する環境保護やゴミ問題に関する要望が高くなっている。
- ・「公園や緑地の整備」や「自然環境の保全」は男性の割合が多く、「地球温暖化防止対策の推進」や「ごみの減量化・リサイクルの推進」は女性の割合が多くなっている。

【都市整備の施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「身近な生活道路の整備」が26.1%、「バス路線の利便性の拡大・充実」が20.7%、「良好な住環境の維持、保全」が19.0%となっている。生活に密着した道路の整備やバス路線の充実に要望が高くなっている。
- ・「幹線道路の整備」や「踏切道の改善・解消」、「良好な住環境の維持、保全」は男性の割合が多く、「バス路線の利便性の拡大・充実」は女性の割合が多くなっている。
- ・「身近な生活道路の整備」は藤崎地区で4割、「バス路線の利便性の拡大・充実」は東習志野、香澄・芝園地区で3割半ば、「踏切道の改善・解消」は津田沼地区で3割前半となっている。

【安全で安心なまちづくりの施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「防犯に配慮した都市環境整備」が29.8%、「消防・救急体制の整備・充実」が27.7%、「減災対策の推進」が24.3%、「地域防犯活動の推進」が22.7%となっている。防犯体制や消防・救急体制が整備されたまちづくりへの要望が高くなっている。
- ・「消防・救急体制の整備・充実」は50代で3割半ば、「防犯に配慮した都市環境整備」は30代40代で3割後半となっている。

【産業振興の施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「商店街の活性化」が44.4%、「雇用・

就業の支援（雇用の場の創出・確保）」が 34.2%となっている。まちの活性化と働ける場の提供への要望が高くなっている。

- ・「雇用・就業の支援（雇用の場の創出・確保）」は 20 代と 50 代で 4 割を超えている。
- ・「雇用・就業の支援（雇用の場の創出・確保）」は香澄・芝園地区で 4 割後半、「地産地消の推進」は袖ヶ浦東地区で 3 割、「中小企業の育成」は大久保・泉・本大久保地区で 2 割となっている。

（3）施策の満足度

- ・習志野市が取り組んでいる施策について、満足度が高かった施策は、「都市整備の施策」（32.5%）、「産業振興の施策」（25.9%）、「高齢者施策」（22.8%）、「子育て支援施策」（22.8%）となっている。
- ・不満足度が高かった施策は、「安全で安心なまちづくり」（15.9%）、「健康づくりの施策」（12.9%）、「環境の施策」（12.9%）、「学校教育の施策」（12.3%）となっている。防犯体制、医療体制の施策、環境問題、自然環境を整備する施策、いじめや不登校に関する施策に対する検討が必要と思われる。

3. 経営改革について

（1）行政サービスと費用負担の関係についての考え方

- ・行政サービスと費用負担の関係については、現状維持を望む声が多く、「今の行政サービスのままでよいので、負担も今のままがよい」が 43.2%で最も多くなっている。次いで、「今の行政サービスが充実するのなら、負担は増えてもよい」が 21.7%で、行政サービスの充実と負担は比例すると考える人が多いと思われる。
- ・20 代では負担増に関して消極的であり、「今の行政サービスのままでよいので、負担も今のままがよい」が他の世代よりも多くなっている。
- ・「今の行政サービスが充実するのなら、負担は増えてもよい」は実花地区が 3 割前半で最も多く、「今の行政サービスのままでよいので、負担も今のままがよい」は東習志野地区が 5 割、「今よりも行政サービスを縮小してもよいので、負担を減らして欲しい」は谷津、袖ヶ浦西、香澄・芝園地区が 2 割半ばとなっている。

（2）公共施設の民間移行についての考え方

- ・公共施設の民間移行については、「民間移行を含め適切に対応して欲しい」が 54.1%と最も多く、市の適切な対応を期待していると思われる。次いで、「公設

第4章 調査結果のまとめ

公営を維持して欲しい」が 13.5%、「公設民営、民設民営として欲しい」が 11.9%となっている。

- ・「民間移行を含め適切に対応して欲しい」は 20 代から 50 代で 6 割前後と多くなっている。
- ・「公設公営を維持して欲しい」は袖ヶ浦西地区で 2 割、「公設民営、民設民営として欲しい」は津田沼地区で、「統廃合を進めて欲しい」は実花地区で多くなっている。

(3) 公共施設の施設数・規模についての考え方

- ・公共施設の施設数や規模を維持したまま改修・改築を行なうべきかどうかについては、「適切な規模に縮小していくべき」が 39.1%、「現状の施設数・規模を維持すべき」が 21.5%、「施設の統廃合等により施設数を縮小すべき」が 19.6%、「これからも施設数・規模を拡充していくべき」が 11.1%となっている。公共施設の施設数や規模を縮小すべきであると考えてる人は 5 割以上を占めている。
- ・「施設の統廃合等により施設数を縮小すべき」は 60 代で割合が多くなっている。
- ・「これからも施設数・規模を拡充していくべき」は谷津、東習志野地区で、「現状の施設数・規模を維持すべき」は袖ヶ浦西、大久保・泉・本大久保地区で、「適切な規模に縮小していくべき」は実籾・新栄地区で、「施設の統廃合等により施設数を縮小すべき」は秋津・茜浜地区で割合が多くなっている。

(4) 今後取り組むべき行政改革の施策

- ・今後取り組むべき行政改革の施策については、「収入に見合った事業の縮小・削減」が 35.7%と最も多く、事業予算の見直しを期待する意見がみられる。次いで、「職員数・人件費の削減」が 32.8%、「職員の資質向上」が 23.1%、「行政改革の内容の情報提供及び情報公開」が 22.7%となっている。
- ・「収入に見合った事業の縮小・削減」は 20 代 30 代で 4 割、「職員数・人件費の削減」は 60 代で 4 割半ばと多くなっている。
- ・「行政改革の内容の情報提供及び情報公開」は香澄・芝園地区で 3 割弱、「わかりやすい市役所の組織づくり」は東習志野地区で 2 割半ばとなっている。

4. 行政情報について

(1) 情報の入手方法

- ・市からの情報取得の手段については、「広報紙」が 78.3%で最も多くなっている。次いで、「地域の回覧板」が 27.8%、「ホームページ・インターネット」が 25.8%、「新聞（タウン誌を含む）」が 15.4%の順となっており、紙媒体からの

入手が多い。

- ・「地域の回覧板」は年齢が高くなるにつれて割合が増加傾向にあり、「ホームページ・インターネット」は年齢が低いほど、割合が多くなっている。

(2) 知りたい情報

- ・市民として知りたい情報については、「新しい制度や事務手続き」が 47.1%と最も多く、次いで、「市のサービスの内容」が 39.7%、「市内施設の紹介・利用方法・予約状況」が 37.2%、「市の予算の使い方」が 34.2%となっている。生活と関わりのある制度や手続き方法、サービスの一環としての市内施設の利用方法等に関心が高くなっている。
- ・男性は市政に関心が高く、「市の予算の使い方」「市の今後の計画」「市長の基本的な考え方」の割合が多く、女性は提供されるサービス内容に関心があり、「市のサービス内容」「新しい制度や事務手続き」「市民サークル等の募集」の割合が多くなっている。
- ・「市内施設の紹介・利用方法・予約状況」は袖ヶ浦東地区で5割、「市の予算の使い方」は東習志野地区で4割となっている。

5. 仕事や家庭以外での活動について

(1) 活動への参加状況

- ・仕事や家庭以外での活動については、「現在も活動していないし、今後も活動しない」が 45.5%で最も多くなっている。次いで、「現在活動していないが今後活動してみたい」が 28.9%、「現在活動している」が 20.4%となっている。『参加意向あり』は 49.3%となっている。
- ・『参加意向あり』は 40代から 60代で多く、5割半ばとなっている。一方、「現在も活動していないし、今後も活動しない」は 20代 30代で5割となっている。
- ・活動している（してみたい）団体として、「サークル活動」が 43.9%で最も多く、次いで、「ボランティア活動（個人参加）」が 23.2%となっている。
- ・活動している（してみたい）内容として、「スポーツ活動」が 25.0%、「文化・芸術活動」が 21.8%となっている。男性は「環境保全活動」「スポーツ活動」、女性は「保健・福祉活動」「文化芸術活動」の割合が多くなっている。

(2) 市民活動に参加しない理由

- ・仕事や家庭以外で現在活動していない理由については、「仕事が忙しい」が 43.9%で最も多くなっている。次いで、「どのような活動があるのかわからない」が 32.1%、「どのように始めたらよいのかわからない」が 22.9%、「興味の

ある活動がない」が 17.9%、「子育てが忙しい」が 13.0%となっている。

- ・男性は「仕事が忙しい」、女性は「子育てが忙しい」の割合が多く、日常の忙しさが活動できない理由となっている。

6. 都市イメージ（将来像）について

（1）希望する習志野市の都市イメージ

- ・習志野市の都市としてのありかたについては、「生活環境の整った快適で住みやすい都市」が 35.3%で最も多く、次いで、「保健・医療・福祉などの充実した福祉都市」が 25.5%となっている。福祉や生活基盤の整った都市が望まれている。
- ・男性は「生活環境の整った快適で住みやすい都市」、女性は「保健・医療・福祉などの充実した福祉都市」の割合が多くなっている。

（2）習志野市のイメージとしてふさわしい言葉

- ・将来の習志野市のイメージとしてふさわしい言葉については、「安全な」が 35.6%で最も多くなっている。次いで、「いきいきした」が 22.0%、「豊かな」が 19.4%、「人情味のある」が 16.2%、「親しみのある」が 15.8%、「充実した」が 15.6%となっている。
- ・男性は「落ち着いた」、女性は「いきいきした」の割合が多くなっている。

習志野市市民意識調査
結果報告書

平成 22 年 11 月発行

発行 習志野市 企画政策部 企画政策課
習志野市鷺沼 1 丁目 1 番 1 号
電話：0 4 7 - 4 5 1 - 1 1 5 1 (代表)